

三重県
「犯罪から県民を守るアクションプログラム
(仮称)」に係る県民意識調査
調査結果報告書

平成 28 年 4 月

三 重 県

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
(1)	回答者属性	2
(2)	治安について	4
(3)	地域での防犯について	36
(4)	犯罪に対する意識について	46
(5)	交通安全について	69
(6)	テロについて	88
(7)	インターネット犯罪について	96
(8)	違法薬物・危険ドラッグ等について	102

I 調査の概要

1 調査の目的

三重県では、県民のみなさんとともに、県を挙げて犯罪をなくすための取組を進めるための総合的な計画「犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）」の策定に向けた準備を進めています。今回の調査は、この計画の策定について、県民のみなさんの防犯に対する意識や安全で安心なまちづくりに対する意識を把握するための基礎として、調査を実施するものです。

2 調査対象

三重県在住の20歳以上を無作為抽出

3 調査期間

平成28年1月28日から平成28年2月15日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000通	1,530通	51.0%

6 調査結果の表示方法

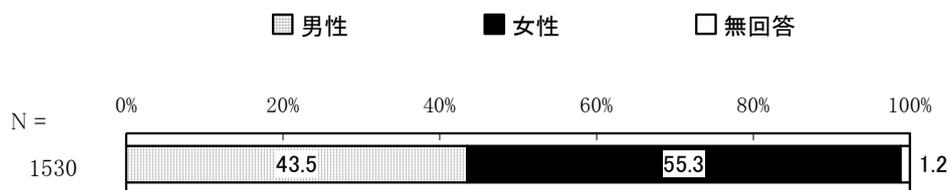
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

(1) 回答者属性

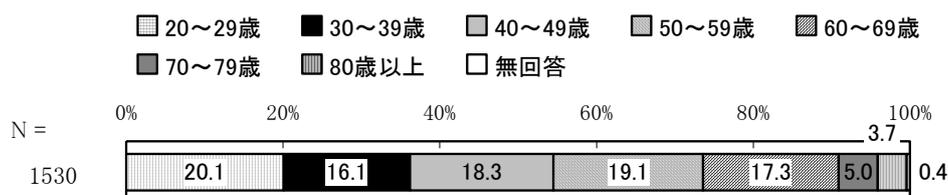
問1 あなたの性別はどちらですか。

「男性」の割合が43.5%、「女性」の割合が55.3%となっています。



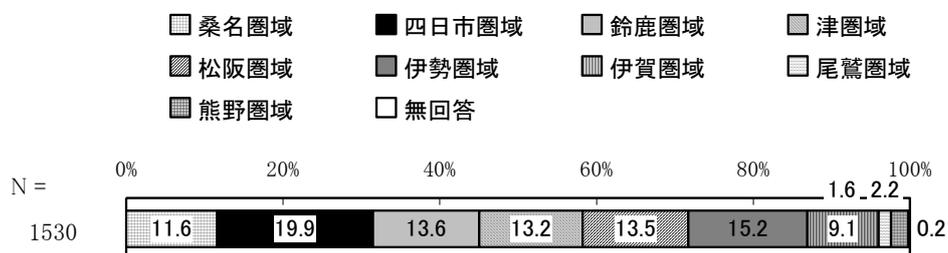
問2 あなたの年齢をお答えください。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「20～29歳」の割合が20.1%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が19.1%、「40～49歳」の割合が18.3%となっています。



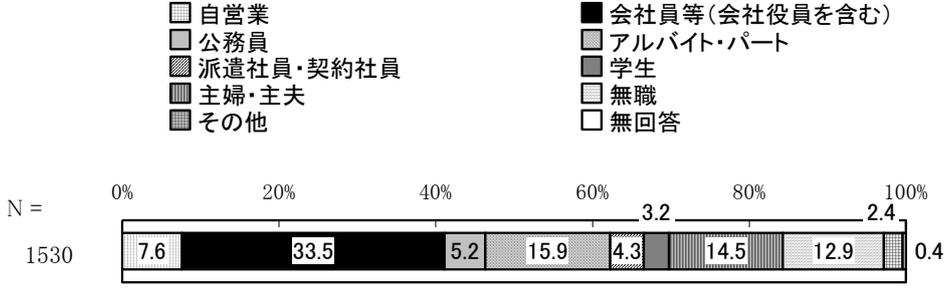
問3 お住まいの住居地はどちらですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「四日市圏域」の割合が19.9%と最も高く、次いで「伊勢圏域」の割合が15.2%、「鈴鹿圏域」の割合が13.6%となっています。



問4 あなたの現在の職業は次のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「会社員等（会社役員を含む）」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「アルバイト・パート」の割合が 15.9%、「主婦・主夫」の割合が 14.5%となっています。



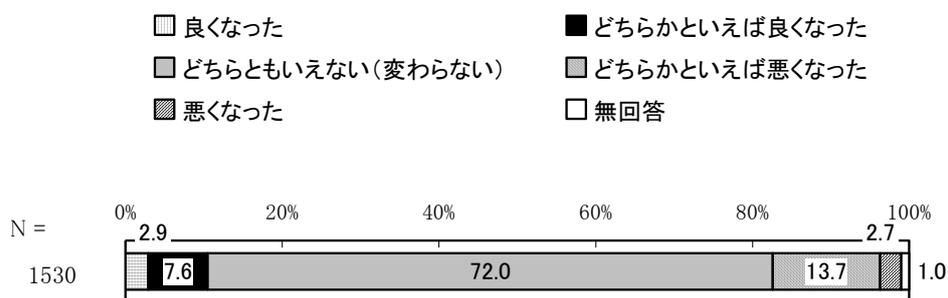
(2) 治安について

問5 あなたの住む地域では、3年前と比較して、治安はどのようになったと思いますか。
(もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。)

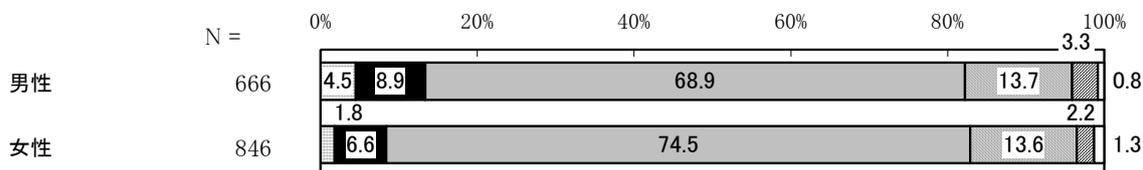
「良くなった」と「どちらかといえば良くなった」をあわせた“良くなった”の割合が10.5%、「どちらともいえない(変わらない)」の割合が72.0%、「どちらかといえば悪くなった」と「悪くなった」をあわせた“悪くなった”の割合が16.4%となっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「どちらともいえない(変わらない)」の割合が高くなっています。

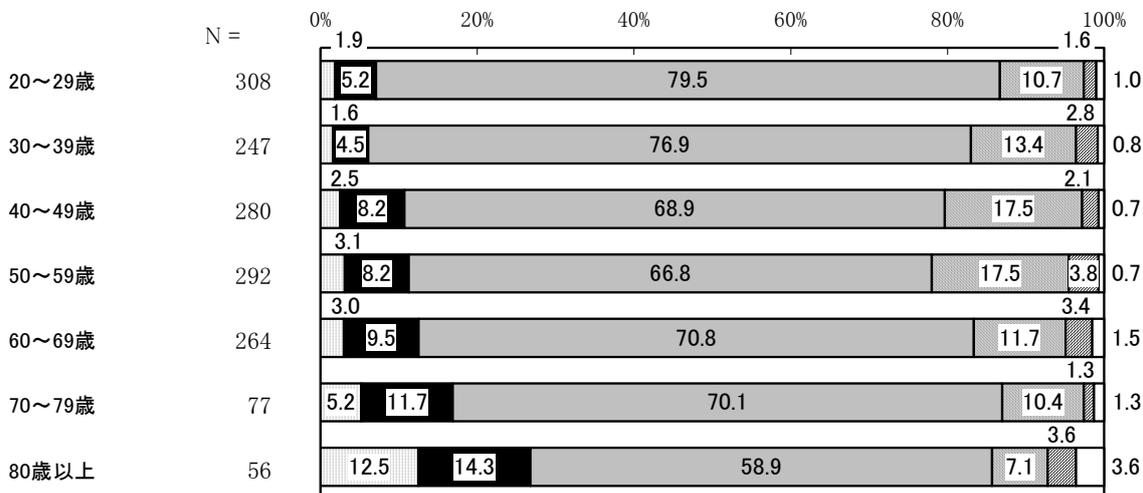
年代別でみると、年代が高くなるにつれ“良くなった”の割合が高くなる傾向がみられます。地域別でみると、他の地域に比べ、鈴鹿圏域で“良くなった”の割合が高くなっています。



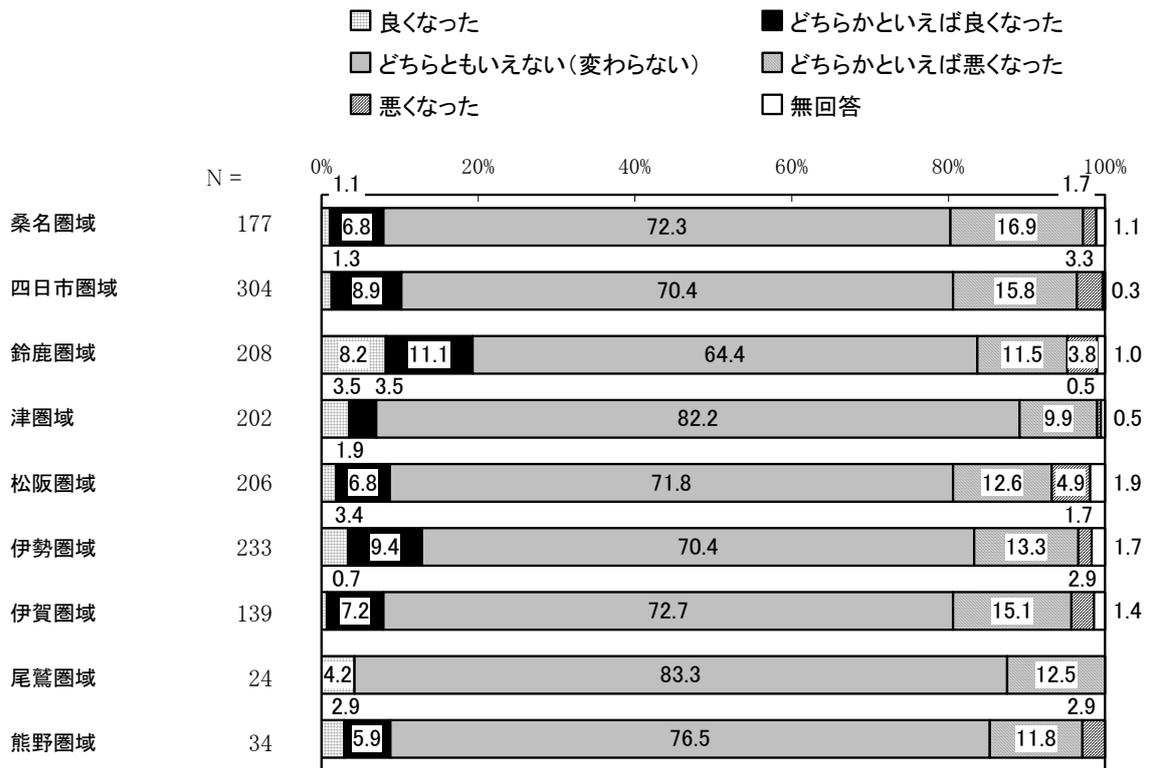
【性別】



【年代別】



【地域別】



問5で「1. 良くなった」「2. どちらかといえば良くなった」に○をつけた方におたずねします。

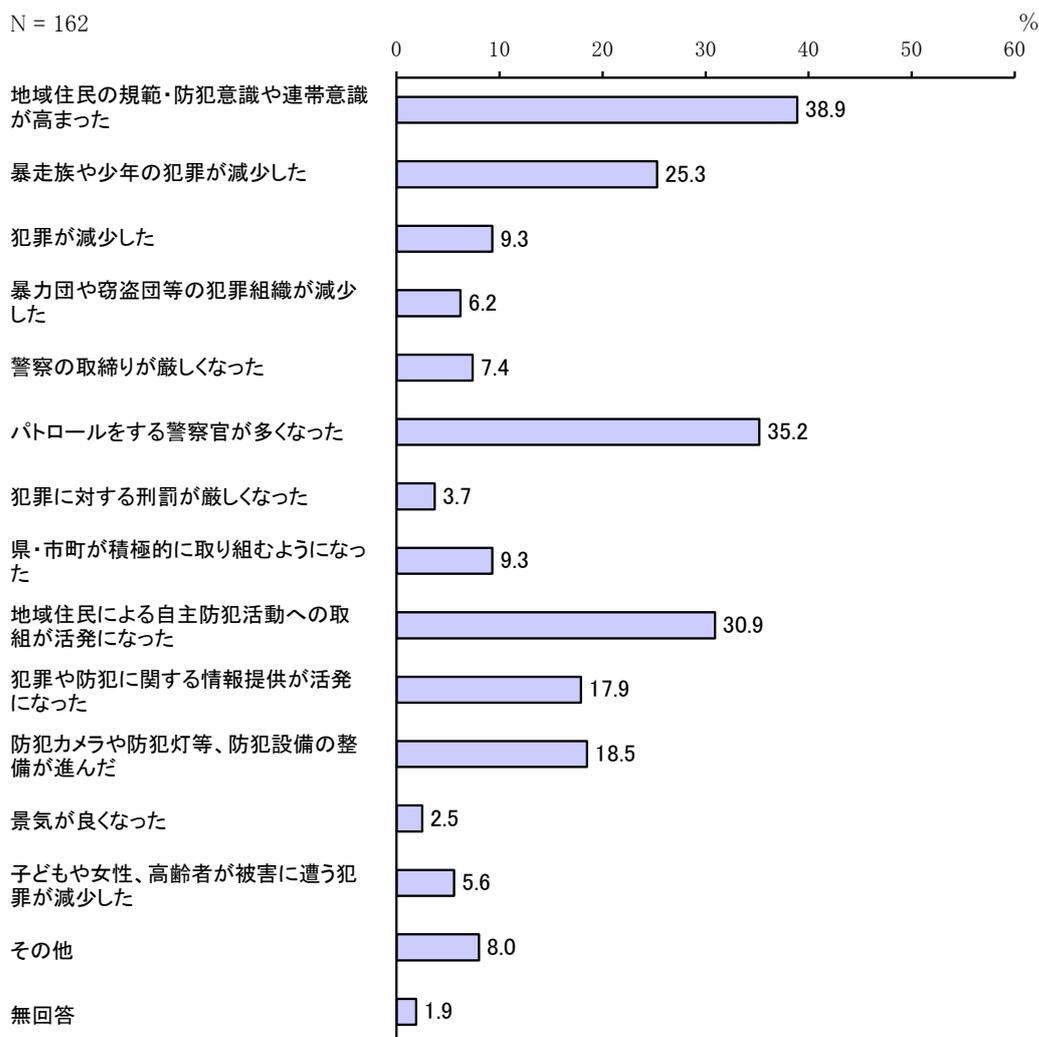
問5-1 治安が良くなったと思う理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が高まった」の割合が38.9%と最も高く、次いで「パトロールをする警察官が多くなった」の割合が35.2%、「地域住民による自主防犯活動への取組が活発になった」の割合が30.9%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が高まった」「暴走族や少年の犯罪が減少した」「犯罪が減少した」「暴力団や窃盗団等の犯罪組織が減少した」「パトロールをする警察官が多くなった」「県・市町が積極的に取り組むようになった」「地域住民による自主防犯活動への取組が活発になった」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、80歳以上で「地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が高まった」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、四日市圏域で「地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が高まった」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が高まった	暴走族や少年の犯罪が減少した	犯罪が減少した	暴力団や窃盗団等の犯罪組織が減少した	警察の取締りが厳しくなった	パトロールをする警察官が多くなった	犯罪に対する刑罰が厳しくなった
男性	89	43.8	29.2	15.7	9.0	9.0	38.2	6.7
女性	71	33.8	21.1	1.4	2.8	5.6	31.0	—

区分	県・市町が積極的に取り組むようになった	地域住民による自主防犯活動への取組が活発になった	犯罪や防犯に関する情報提供が活発になった	防犯カメラや防犯灯等、防犯設備の整備が進んだ	景気が良くなった	子どもや女性、高齢者が被害に遭う犯罪が減少した	その他	無回答
男性	14.6	33.7	19.1	19.1	3.4	5.6	3.4	—
女性	2.8	28.2	16.9	16.9	1.4	5.6	14.1	4.2

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が高まった	暴走族や少年の犯罪が減少した	犯罪が減少した	暴力団や窃盗団等の犯罪組織が減少した	警察の取締りが厳しくなった	パトロールをする警察官が多くなった	犯罪に対する刑罰が厳しくなった
20～29 歳	22	36.4	36.4	13.6	9.1	9.1	27.3	9.1
30～39 歳	15	33.3	26.7	—	—	—	40.0	—
40～49 歳	30	33.3	23.3	13.3	6.7	10.0	33.3	6.7
50～59 歳	33	27.3	24.2	6.1	3.0	9.1	36.4	—
60～69 歳	33	51.5	21.2	15.2	12.1	6.1	45.5	3.0
70～79 歳	13	30.8	23.1	7.7	7.7	—	23.1	7.7
80 歳以上	15	66.7	26.7	—	—	13.3	26.7	—

区分	県・市町が積極的に取り組むようになった	地域住民による自主防犯活動への取組が活発になった	犯罪や防犯に関する情報提供が活発になった	防犯カメラや防犯灯等、防犯設備の整備が進んだ	景気が良くなった	子どもや女性、高齢者が被害に遭う犯罪が減少した	その他	無回答
20～29 歳	4.5	18.2	13.6	13.6	—	4.5	13.6	—
30～39 歳	—	26.7	6.7	20.0	—	—	13.3	—
40～49 歳	6.7	30.0	16.7	16.7	3.3	3.3	3.3	—
50～59 歳	9.1	24.2	24.2	24.2	6.1	3.0	12.1	—
60～69 歳	15.2	42.4	21.2	27.3	—	6.1	6.1	—
70～79 歳	15.4	38.5	15.4	15.4	—	15.4	7.7	23.1
80 歳以上	13.3	40.0	20.0	—	6.7	13.3	—	—

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が高まった	暴走族や少年の犯罪が減少した	犯罪が減少した	暴力団や窃盗団等の犯罪組織が減少した	警察の取締りが厳しくなった	パトロールをする警察官が多くなった	犯罪に対する刑罰が厳しくなった
桑名圏域	14	28.6	35.7	14.3	—	—	14.3	7.1
四日市圏域	31	54.8	19.4	—	6.5	3.2	41.9	—
鈴鹿圏域	40	40.0	32.5	7.5	5.0	7.5	30.0	2.5
津圏域	14	28.6	14.3	—	—	7.1	42.9	—
松阪圏域	18	38.9	38.9	5.6	5.6	11.1	44.4	—
伊勢圏域	30	36.7	20.0	20.0	13.3	13.3	33.3	13.3
伊賀圏域	11	27.3	—	9.1	—	9.1	45.5	—
尾鷲圏域	1	—	100.0	100.0	100.0	—	—	—
熊野圏域	3	33.3	33.3	33.3	—	—	33.3	—

区分	県・市町が積極的に取り組むようになった	地域住民による自主防犯活動への取組が活発になった	犯罪や防犯に関する情報提供が活発になった	防犯カメラや防犯灯等、防犯設備の整備が進んだ	景気が良くなった	子どもや女性、高齢者が被害に遭う犯罪が減少した	その他	無回答
桑名圏域	7.1	42.9	7.1	14.3	—	21.4	7.1	—
四日市圏域	3.2	38.7	22.6	22.6	6.5	—	12.9	—
鈴鹿圏域	7.5	22.5	15.0	17.5	—	5.0	5.0	5.0
津圏域	—	7.1	14.3	21.4	—	—	14.3	—
松阪圏域	16.7	27.8	5.6	5.6	5.6	16.7	—	5.6
伊勢圏域	16.7	40.0	26.7	30.0	3.3	3.3	—	—
伊賀圏域	9.1	36.4	18.2	9.1	—	—	18.2	—
尾鷲圏域	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—
熊野圏域	—	33.3	33.3	—	—	—	66.7	—

問5で「4. どちらかといえば悪くなった」「5. 悪くなった」に○をつけた方におたずねします。

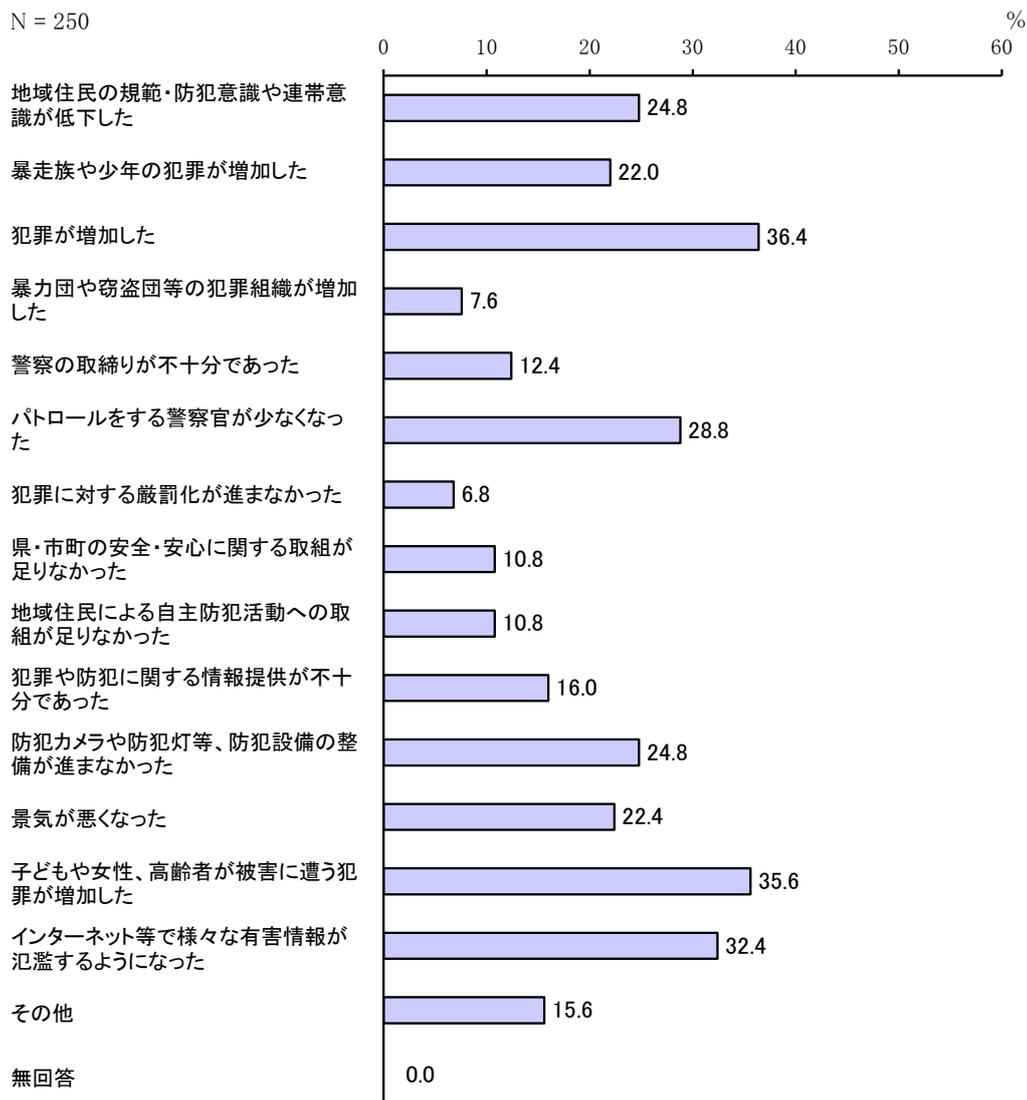
問5-2 治安が悪くなったと思う理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「犯罪が増加した」の割合が36.4%と最も高く、次いで「子どもや女性、高齢者が被害に遭う犯罪が増加した」の割合が35.6%、「インターネット等で様々な有害情報が氾濫するようになった」の割合が32.4%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が低下した」「暴走族や少年の犯罪が増加した」「犯罪に対する厳罰化が進まなかった」「景気が悪くなった」の割合が高くなっています。また、女性で「パトロールをする警察官が少なくなった」「子どもや女性、高齢者が被害に遭う犯罪が増加した」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～39歳で「子どもや女性、高齢者が被害に遭う犯罪が増加した」の割合が、50～59歳で「インターネット等で様々な有害情報が氾濫するようになった」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、四日市圏域で「犯罪が増加した」の割合が、松阪圏域で「パトロールをする警察官が少なくなった」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が低下した	暴走族や少年の犯罪が増加した	犯罪が増加した	暴力団や窃盗団等の犯罪組織が増加した	警察の取締りが不十分であった	パトロールをする警察官が少なくなった	犯罪に対する厳罰化が進まなかった	県・市町の安全・安心に関する取組が足りなかった
男性	113	30.1	25.7	35.4	8.0	15.0	24.8	9.7	13.3
女性	134	20.1	18.7	38.1	7.5	10.4	31.3	4.5	9.0

区分	地域住民による自主防犯活動への取組が足りなかった	犯罪や防犯に関する情報提供が不十分であった	防犯カメラや防犯灯等、防犯設備の整備が進まなかった	景気が悪くなった	子どもや女性、高齢者が被害に遭う犯罪が増加した	インターネット等で様々な有害情報が氾濫するようになった	その他	無回答
男性	11.5	15.9	23.9	25.7	30.1	31.9	15.9	—
女性	10.4	16.4	26.1	19.4	41.0	32.8	15.7	—

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が低下した	暴走族や少年の犯罪が増加した	犯罪が増加した	暴力団や窃盗団等の犯罪組織が増加した	警察の取締りが不十分であった	パトロールをする警察官が少なくなった	犯罪に対する厳罰化が進まなかった	県・市町の安全・安心に関する取組が足りなかった
20～29 歳	38	15.8	26.3	28.9	5.3	7.9	18.4	2.6	5.3
30～39 歳	40	25.0	22.5	45.0	10.0	7.5	27.5	5.0	12.5
40～49 歳	55	29.1	25.5	34.5	5.5	16.4	30.9	7.3	3.6
50～59 歳	62	14.5	14.5	41.9	11.3	11.3	25.8	8.1	14.5
60～69 歳	40	25.0	22.5	40.0	5.0	17.5	32.5	12.5	17.5
70～79 歳	9	66.7	11.1	11.1	—	—	44.4	—	22.2
80 歳以上	6	83.3	50.0	—	16.7	33.3	66.7	—	—

区分	地域住民による自主防犯活動への取組が足りなかった	犯罪や防犯に関する情報提供が不十分であった	防犯カメラや防犯灯等、防犯設備の整備が進まなかった	景気が悪くなった	子どもや女性、高齢者が被害に遭う犯罪が増加した	インターネット等での様々な有害情報が氾濫するようになった	その他	無回答
20～29 歳	2.6	13.2	23.7	21.1	31.6	26.3	18.4	—
30～39 歳	15.0	20.0	20.0	22.5	45.0	20.0	17.5	—
40～49 歳	5.5	14.5	18.2	20.0	34.5	34.5	10.9	—
50～59 歳	16.1	19.4	29.0	22.6	32.3	40.3	19.4	—
60～69 歳	12.5	12.5	37.5	27.5	40.0	32.5	15.0	—
70～79 歳	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	44.4	11.1	—
80 歳以上	16.7	—	16.7	33.3	33.3	33.3	—	—

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が低下した	暴走族や少年の犯罪が増加した	犯罪が増加した	暴力団や窃盗団等の犯罪組織が増加した	警察の取締りが不十分であった	パトロールをする警察官が少なくなった	犯罪に対する厳罰化が進まなかった	県・市町の安全・安心に関する取組が足りなかった
桑名圏域	33	21.2	18.2	42.4	3.0	12.1	21.2	3.0	9.1
四日市圏域	58	29.3	27.6	53.4	10.3	8.6	22.4	6.9	13.8
鈴鹿圏域	32	31.3	28.1	40.6	9.4	9.4	40.6	6.3	9.4
津圏域	21	19.0	19.0	28.6	—	14.3	28.6	9.5	4.8
松阪圏域	36	36.1	33.3	27.8	13.9	19.4	47.2	13.9	11.1
伊勢圏域	35	14.3	14.3	34.3	8.6	17.1	17.1	5.7	11.4
伊賀圏域	25	20.0	12.0	20.0	4.0	8.0	28.0	4.0	16.0
尾鷲圏域	3	33.3	—	—	—	—	—	—	—
熊野圏域	5	—	—	—	—	20.0	40.0	—	—

区分	地域住民による自主防犯活動への取組が足りなかった	犯罪や防犯に関する情報提供が不十分であった	防犯カメラや防犯灯等、防犯設備の整備が進まなかった	景気が悪くなった	子どもや女性、高齢者が被害に遭う犯罪が増加した	インターネット等で様々な有害情報が氾濫するようになった	その他	無回答
桑名圏域	12.1	18.2	39.4	12.1	24.2	33.3	18.2	—
四日市圏域	13.8	15.5	24.1	20.7	41.4	27.6	13.8	—
鈴鹿圏域	6.3	25.0	25.0	18.8	31.3	37.5	9.4	—
津圏域	9.5	9.5	14.3	38.1	23.8	33.3	28.6	—
松阪圏域	16.7	13.9	25.0	36.1	25.0	36.1	5.6	—
伊勢圏域	8.6	11.4	20.0	17.1	48.6	22.9	11.4	—
伊賀圏域	8.0	24.0	24.0	16.0	36.0	44.0	32.0	—
尾鷲圏域	—	—	—	33.3	66.7	66.7	33.3	—
熊野圏域	—	—	40.0	40.0	60.0	—	20.0	—

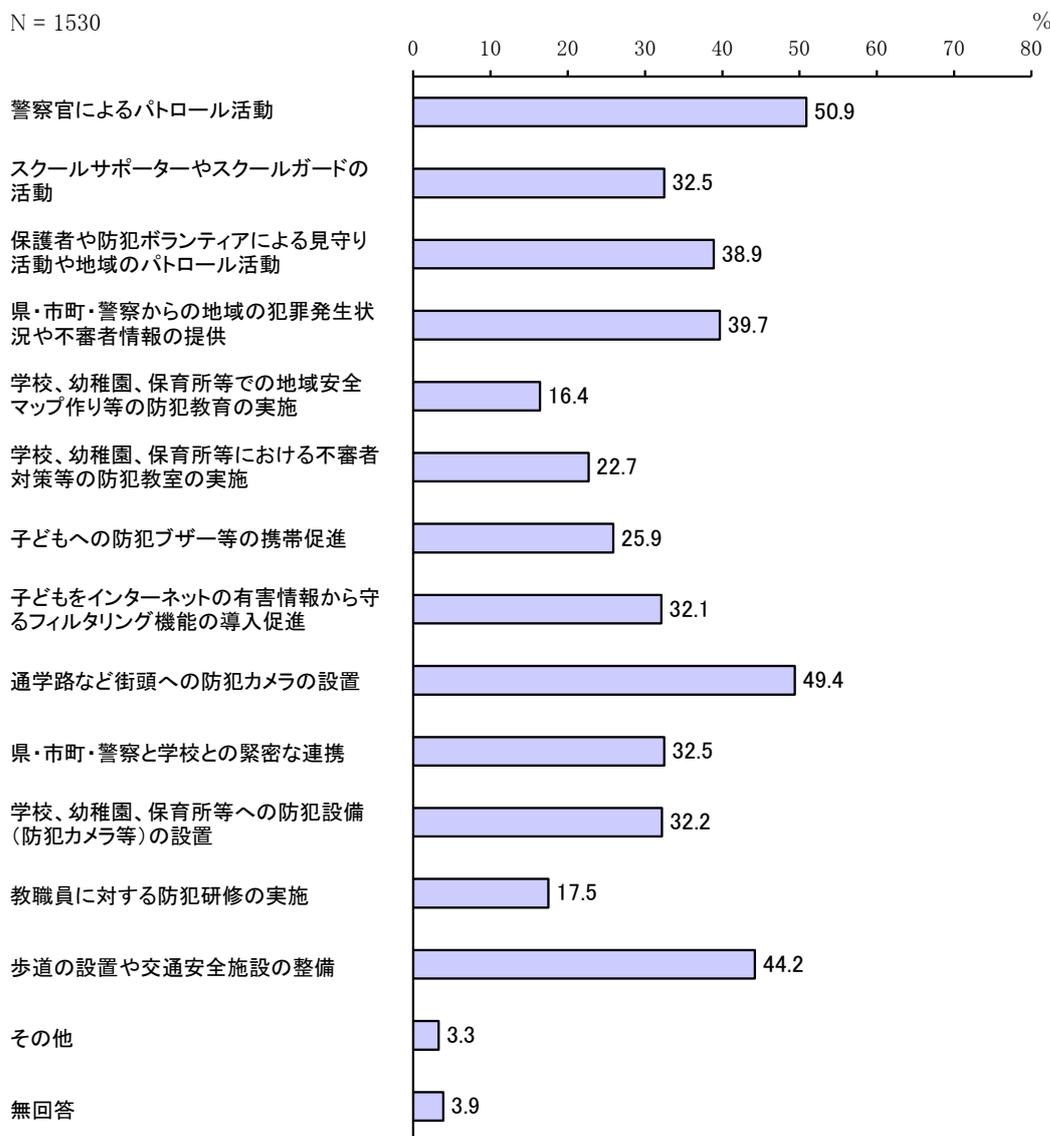
問6 子どもを守る対策として、どのようなことを強化してほしいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「警察官によるパトロール活動」の割合が50.9%と最も高く、次いで「通学路など街頭への防犯カメラの設置」の割合が49.4%、「歩道の設置や交通安全施設の整備」の割合が44.2%となっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「県・市町・警察からの地域の犯罪発生状況や不審者情報の提供」「学校、幼稚園、保育所等における不審者対策等の防犯教室の実施」「子どもをインターネットの有害情報から守るフィルタリング機能の導入促進」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～39歳、40～49歳で「警察官によるパトロール活動」の割合が、30～39歳で「歩道の設置や交通安全施設の整備」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、鈴鹿圏域で「スクールサポーターやスクールガードの活動」の割合が、尾鷲圏域で「歩道の設置や交通安全施設の整備」の割合が低くなっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	警察官によるパトロール活動	スクールサポーターやスクールガードの活動	保護者や防犯ボランティアによる見守り活動や地域のパトロール活動	県・市町・警察からの地域の犯罪発生状況や不審者情報の提供	学校、幼稚園、保育所等での地域安全マップ作り等の防犯教育の実施	学校、幼稚園、保育所等における不審者対策等の防犯教室の実施	子どもへの防犯ブザー等の携帯促進
男性	666	51.4	30.9	39.2	36.0	17.4	19.4	25.1
女性	846	50.5	33.6	39.0	42.9	15.6	25.5	26.7

区分	子どもをインターネットの有害情報から守るフィルタリング機能の導入促進	通学路など街頭への防犯カメラの設置	県・市町・警察と学校との緊密な連携	学校、幼稚園、保育所等への防犯設備(防犯カメラ等)の設置	教職員に対する防犯研修の実施	歩道の設置や交通安全施設の整備	その他	無回答
男性	29.0	47.6	29.9	31.8	16.1	42.8	3.9	2.6
女性	34.9	51.3	34.8	32.6	18.8	45.7	2.8	4.8

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	警察官によるパトロール活動	スクールサポーターやスクールガードの活動	保護者や防犯ボランティアによる見守り活動や地域のパトロール活動	県・市町・警察からの地域の犯罪発生状況や不審者情報の提供	学校、幼稚園、保育所等での地域安全マップ作り等の防犯教育の実施	学校、幼稚園、保育所等における不審者対策等の防犯教室の実施	子どもへの防犯ブザー等の携帯促進
20～29 歳	308	45.5	29.9	32.5	36.4	14.0	22.4	26.6
30～39 歳	247	58.3	40.5	39.7	45.7	21.5	28.3	30.8
40～49 歳	280	58.6	33.2	35.0	43.9	11.4	23.2	23.9
50～59 歳	292	52.1	39.0	42.8	41.4	18.8	21.2	23.6
60～69 歳	264	46.6	27.3	41.3	33.0	18.6	21.2	24.6
70～79 歳	77	32.5	16.9	42.9	35.1	14.3	23.4	20.8
80 歳以上	56	50.0	19.6	51.8	33.9	12.5	12.5	28.6

区分	子どもをインターネットの有害情報から守るフィルタリング機能の導入促進	通学路など街頭への防犯カメラの設置	県・市町・警察と学校との緊密な連携	学校、幼稚園、保育所等への防犯設備(防犯カメラ等)の設置	教職員に対する防犯研修の実施	歩道の設置や交通安全施設の整備	その他	無回答
20～29 歳	27.6	45.8	34.7	32.1	16.9	45.8	4.5	1.3
30～39 歳	31.2	53.8	34.8	41.3	23.1	53.4	4.5	5.3
40～49 歳	36.4	46.8	33.2	27.9	15.7	39.3	3.2	2.1
50～59 歳	35.6	55.1	32.2	33.6	15.1	48.6	3.4	2.4
60～69 歳	39.0	52.3	32.6	31.8	18.9	37.9	1.9	5.3
70～79 歳	16.9	37.7	15.6	20.8	13.0	36.4	1.3	14.3
80 歳以上	8.9	37.5	32.1	23.2	16.1	37.5	—	8.9

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	警察官によるパトロール活動	スクールサポーターやスクールガードの活動	保護者や防犯ボランティアによる見守り活動や地域のパトロール活動	県・市町・警察からの地域の犯罪発生状況や不審者情報の提供	学校、幼稚園、保育所等での地域安全マップ作り等の防犯教育の実施	学校、幼稚園、保育所等における不審者対策等の防犯教室の実施	子どもへの防犯ブザー等の携帯促進
桑名圏域	177	53.7	33.3	39.5	37.9	13.0	24.3	24.3
四日市圏域	304	54.6	30.3	35.5	36.8	15.5	22.4	23.4
鈴鹿圏域	208	45.2	24.0	44.7	38.5	15.4	24.5	25.5
津圏域	202	52.0	39.1	38.1	39.1	18.8	20.8	29.7
松阪圏域	206	51.0	30.1	38.3	45.1	19.4	18.9	27.7
伊勢圏域	233	46.8	35.6	40.3	40.3	17.2	27.5	26.6
伊賀圏域	139	54.7	38.1	40.3	41.0	18.0	21.6	24.5
尾鷲圏域	24	45.8	29.2	25.0	33.3	4.2	25.0	20.8
熊野圏域	34	50.0	35.3	35.3	50.0	14.7	14.7	32.4

区分	子どもをインターネットの有害情報から守るフィルタリング機能の導入促進	通学路など街頭への防犯カメラの設置	県・市町・警察と学校との緊密な連携	学校、幼稚園、保育所等への防犯設備（防犯カメラ等）の設置	教職員に対する防犯研修の実施	歩道の設置や交通安全施設の整備	その他	無回答
桑名圏域	25.4	46.9	27.1	29.4	12.4	36.2	4.0	5.6
四日市圏域	32.2	51.3	33.6	32.9	15.8	47.4	2.6	2.6
鈴鹿圏域	27.4	51.0	27.4	31.3	15.4	45.2	2.4	3.4
津圏域	35.6	47.5	37.1	32.2	17.8	46.5	5.0	3.5
松阪圏域	27.2	48.5	32.0	29.1	20.4	50.0	3.9	5.3
伊勢圏域	38.6	51.5	36.5	33.5	19.3	42.9	2.1	3.0
伊賀圏域	39.6	47.5	30.9	33.8	22.3	41.7	2.9	3.6
尾鷲圏域	20.8	41.7	41.7	37.5	16.7	20.8	4.2	12.5
熊野圏域	35.3	52.9	35.3	41.2	20.6	44.1	5.9	5.9

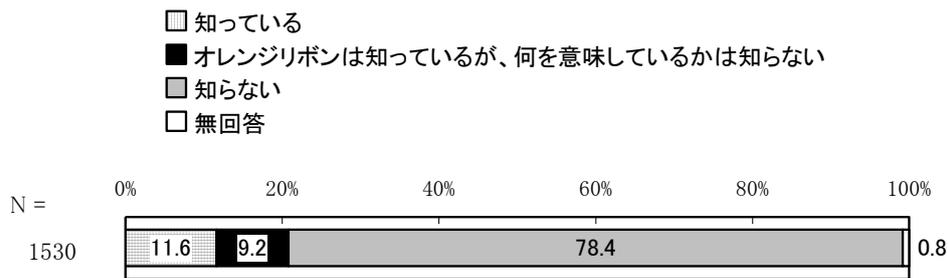
**問7 児童虐待防止のシンボルマークである「オレンジリボン」を知っていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)**

「知らない」の割合が78.4%と最も高く、次いで「知っている」の割合が11.6%となっています。

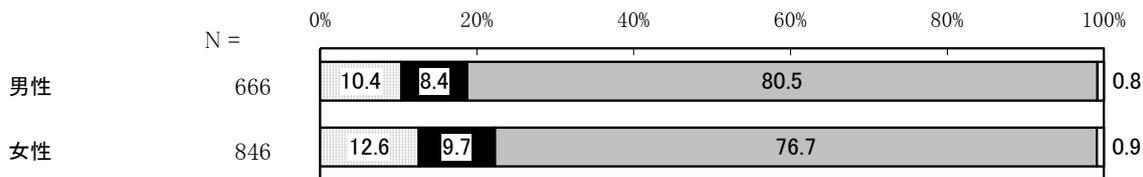
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、70～79歳、80歳以上で「知っている」の割合が低くなっています。

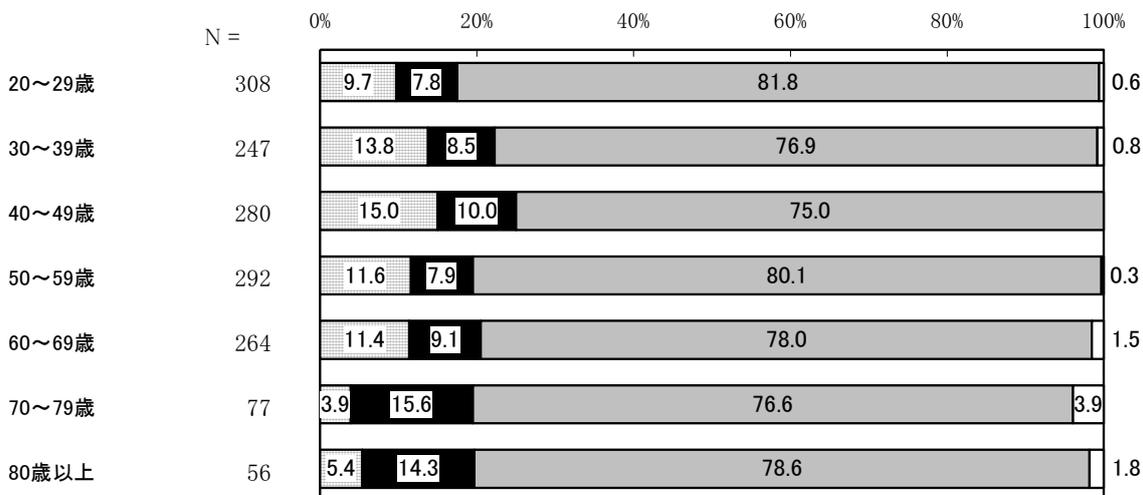
地域別でみると、他の地域に比べ、伊賀圏域、尾鷲圏域で「知っている」の割合が高くなっています。



【性別】

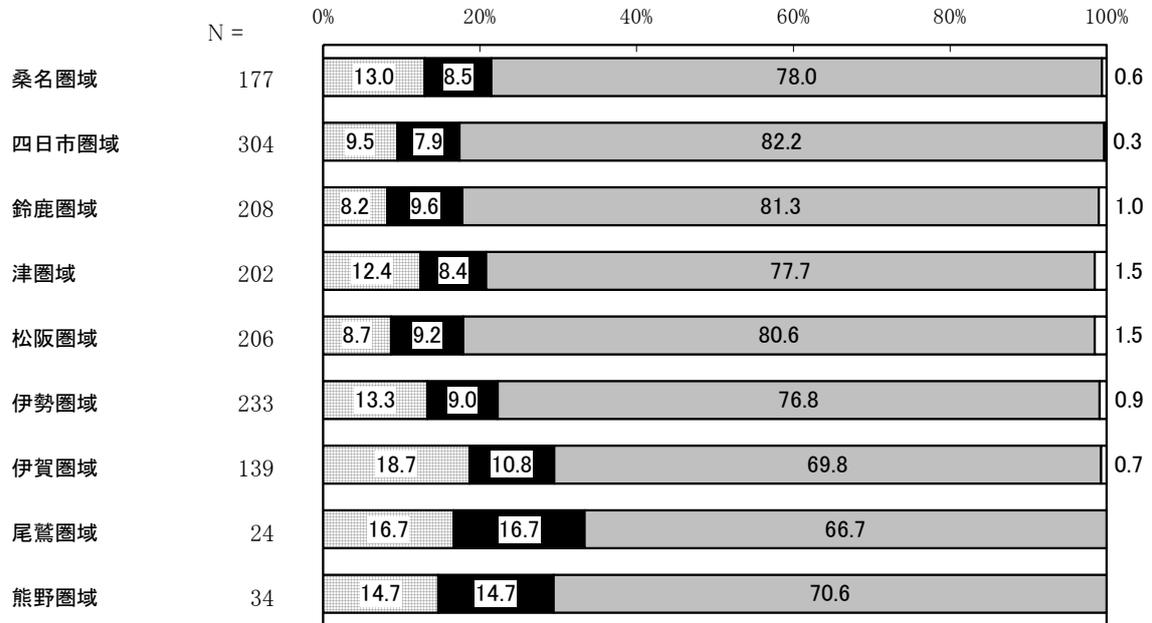


【年代別】



【地域別】

- 知っている
- オレンジリボン知っているが、何を意味しているかは知らない
- 知らない
- 無回答



**問8 児童虐待を防ぐためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)**

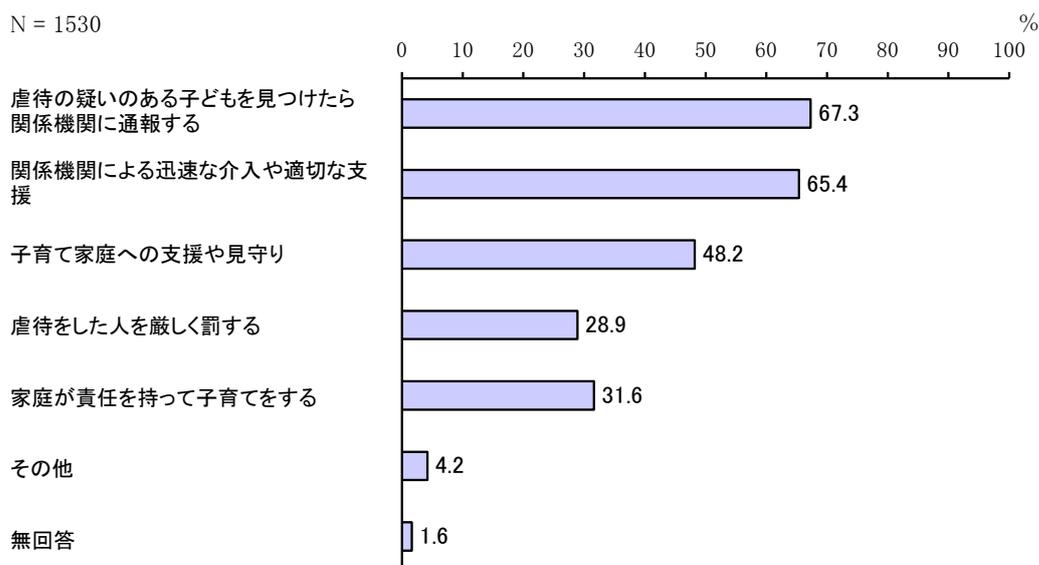
「虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関に通報する」の割合が67.3%と最も高く、次いで「関係機関による迅速な介入や適切な支援」の割合が65.4%、「子育て家庭への支援や見守り」の割合が48.2%となっています。

性別で見ると、女性に比べ男性で「虐待をした人を厳しく罰する」「家庭が責任を持って子育てをする」の割合が高くなっています。また、女性で「虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関に通報する」「子育て家庭への支援や見守り」の割合が高くなっています。

年代別で見ると、他の年代に比べ、30～39歳、40～49歳、50～59歳で「関係機関による迅速な介入や適切な支援」の割合が高くなっています。また、30～39歳で「子育て家庭への支援や見守り」の割合が、70～79歳で「家庭が責任を持って子育てをする」の割合が高くなっています。

地域別で見ると、他の地域に比べ、津圏域で「関係機関による迅速な介入や適切な支援」の割合が高くなっています。

オレンジリボンの認知度別で見ると、知らないに比べ、知っているで「虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関に通報する」「関係機関による迅速な介入や適切な支援」「子育て家庭への支援や見守り」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関に通報する	関係機関による迅速な介入や適切な支援	子育て家庭への支援や見守り	虐待をした人を厳しく罰する	家庭が責任を持って子育てをする	その他	無回答
男性	666	64.1	64.4	41.4	32.7	36.9	4.4	0.9
女性	846	70.0	66.7	53.9	26.0	27.2	4.0	2.2

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関に通報する	関係機関による迅速な介入や適切な支援	子育て家庭への支援や見守り	虐待をした人を厳しく罰する	家庭が責任を持って子育てをする	その他	無回答
20～29 歳	308	68.8	65.9	52.6	29.5	29.2	4.2	1.0
30～39 歳	247	70.4	69.6	58.3	31.2	27.1	5.7	0.8
40～49 歳	280	63.9	69.6	43.9	28.6	27.1	4.6	—
50～59 歳	292	70.9	71.6	47.6	30.1	32.2	4.8	0.7
60～69 歳	264	67.4	62.1	47.0	25.4	34.5	3.0	2.3
70～79 歳	77	58.4	41.6	32.5	19.5	51.9	1.3	6.5
80 歳以上	56	53.6	39.3	32.1	37.5	44.6	1.8	12.5

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関に通報する	関係機関による迅速な介入や適切な支援	子育て家庭への支援や見守り	虐待をした人を厳しく罰する	家庭が責任を持って子育てをする	その他	無回答
桑名圏域	177	67.2	67.2	45.8	26.0	28.8	4.5	4.0
四日市圏域	304	62.8	70.1	49.3	28.6	25.3	4.6	1.0
鈴鹿圏域	208	65.9	53.8	46.6	31.7	41.3	3.4	1.4
津圏域	202	71.8	74.3	49.5	29.7	26.2	5.0	1.0
松阪圏域	206	66.0	58.3	44.2	28.6	38.3	4.9	2.4
伊勢圏域	233	71.2	66.1	51.9	33.5	32.2	3.0	1.3
伊賀圏域	139	65.5	69.1	51.1	21.6	26.6	3.6	1.4
尾鷲圏域	24	79.2	58.3	45.8	29.2	45.8	4.2	—
熊野圏域	34	70.6	58.8	47.1	26.5	41.2	5.9	—

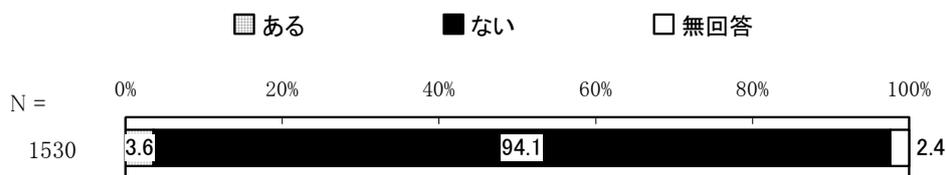
【オレンジリボンの認知度別】

単位：％

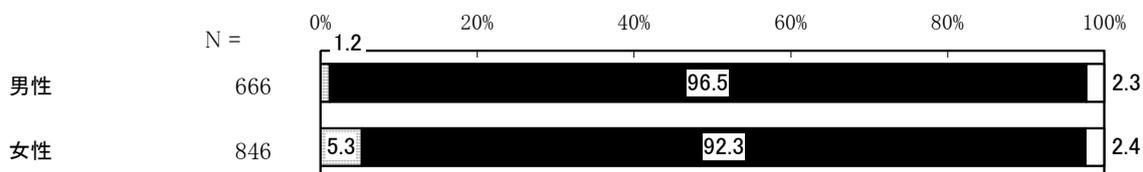
区分	有効回答数（件）	虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関に通報する	関係機関による迅速な介入や適切な支援	子育て家庭への支援や見守り	虐待をした人を厳しく罰する	家庭が責任を持って子育てをする	その他	無回答
知っている	178	74.7	73.0	53.9	25.3	31.5	8.4	1.1
オレンジリボンは知っているが、何を意味しているかは知らない	140	65.0	67.9	47.1	33.6	30.0	2.9	0.7
知らない	1199	66.6	64.1	47.6	29.0	31.8	3.7	1.4

問9 ドメスティック・バイオレンス（DV）被害に遭った経験がありますか。（どちらかあてはまる番号に○をつけてください。）

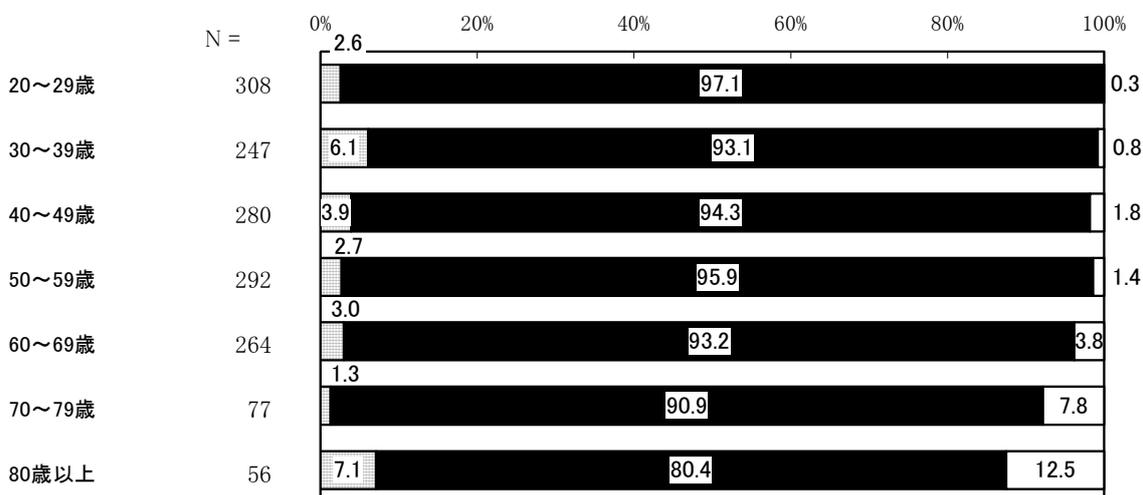
「ある」の割合が3.6%、「ない」の割合が94.1%となっています。
 性別で見ると、男性に比べ女性で「ある」の割合が5.3%と高くなっています。
 年代別で見ると、他の年代に比べ、80歳以上で「ある」の割合が高くなっています。
 地域別で見ると、大きな差異はみられません。



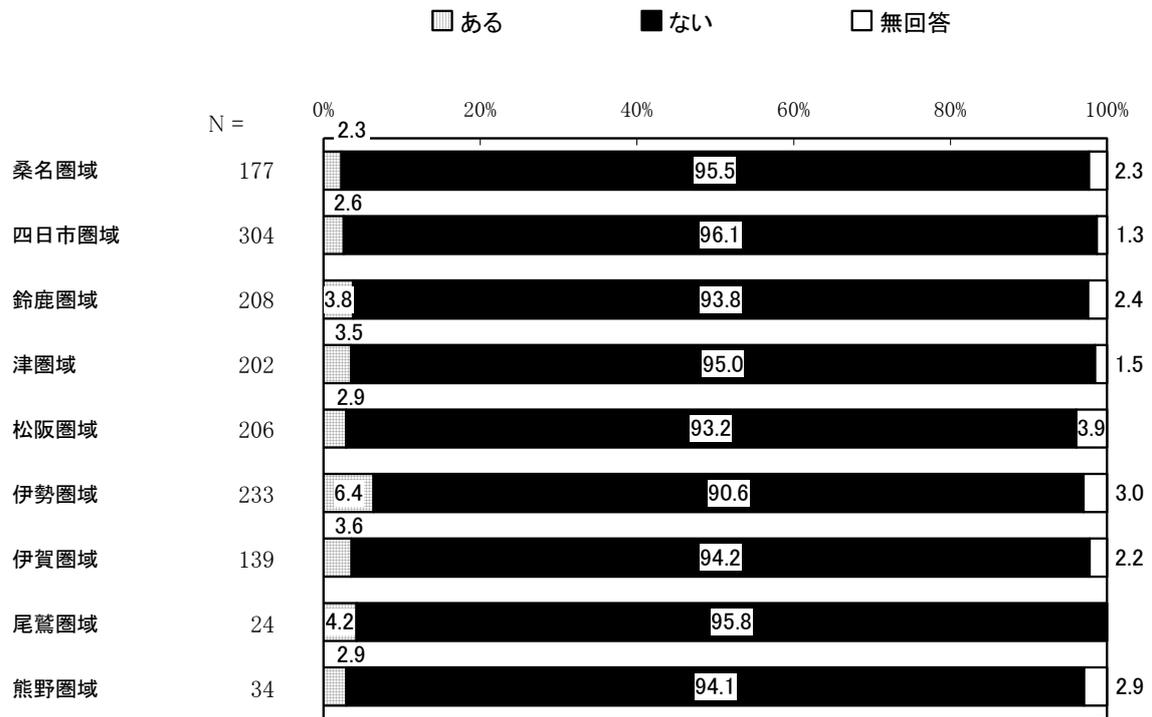
【性別】



【年代別】



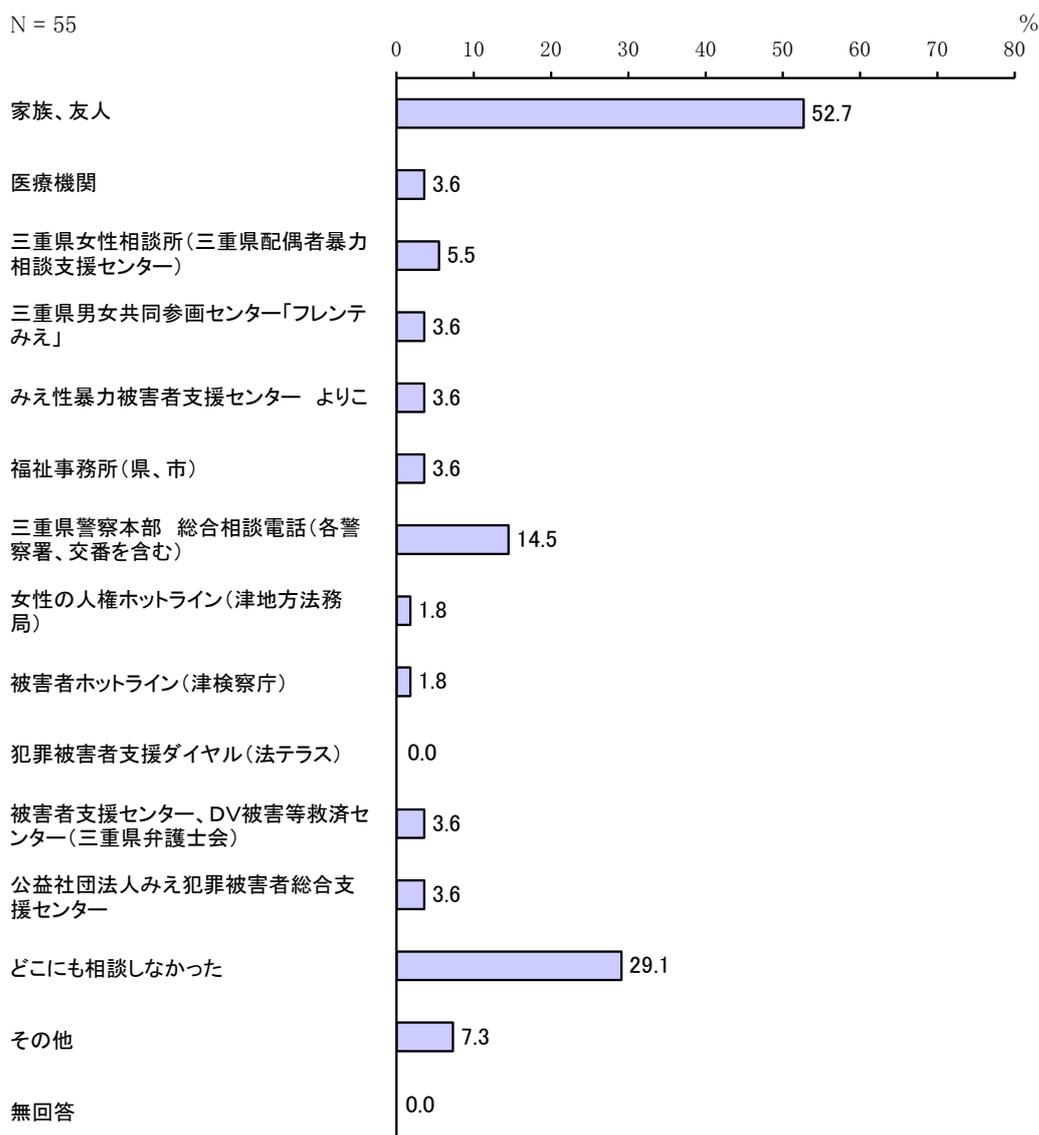
【地域別】



問9で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。

問9-1 ドメスティック・バイオレンス（DV）被害についてどこ（誰）へ相談しましたか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

「家族、友人」の割合が52.7%と最も高く、次いで「どこにも相談しなかった」の割合が29.1%、「三重県警察本部 総合相談電話（各警察署、交番を含む）」の割合が14.5%となっています。性別、年代別、地域別については、有効回答数が少ないため参考とします。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	家族、友人	医療機関	三重県女性相談所(三重県配偶者暴力相談支援センター)	三重県男女共同参画センター「フレんてみえ」	みえ性暴力被害者支援センター「よりこ」	福祉事務所(県、市)	三重県警察本部 総合相談電話(各警察署、交番を含む)
男性	8	50.0	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5
女性	45	55.6	2.2	2.2	2.2	—	2.2	11.1

区分	女性の人権ホットライン(津地方法務局)	被害者ホットライン(津検察庁)	犯罪被害者支援ダイヤル(法テラス)	被害者支援センター、DV被害等救済センター(三重県弁護士会)	公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター	どこにも相談しなかった	その他	無回答
男性	12.5	12.5	—	25.0	25.0	25.0	—	—
女性	—	—	—	—	—	28.9	8.9	—

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族、友人	医療機関	三重県女性相談所(三重県配偶者暴力相談支援センター)	三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」	みえ性暴力被害者支援センター「よりこ」	福祉事務所(県、市)	三重県警察本部 総合相談電話(各警察署、交番を含む)
20～29 歳	8	50.0	—	—	—	—	—	25.0
30～39 歳	15	66.7	13.3	13.3	13.3	6.7	—	13.3
40～49 歳	11	45.5	—	9.1	—	—	—	9.1
50～59 歳	8	37.5	—	—	—	—	—	12.5
60～69 歳	8	62.5	—	—	—	—	12.5	—
70～79 歳	1	—	—	—	—	—	—	—
80 歳以上	4	50.0	—	—	—	25.0	25.0	50.0

区分	女性の人権ホットライン(津地方法務局)	被害者ホットライン(津検察庁)	犯罪被害者支援ダイヤル(法テラス)	被害者支援センター、DV被害等救済センター(三重県弁護士会)	公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター	どこにも相談しなかった	その他	無回答
20～29 歳	—	—	—	—	—	37.5	—	—
30～39 歳	—	—	—	6.7	6.7	26.7	—	—
40～49 歳	—	—	—	—	—	27.3	9.1	—
50～59 歳	—	—	—	—	—	37.5	25.0	—
60～69 歳	—	—	—	—	—	25.0	—	—
70～79 歳	—	—	—	—	—	100.0	—	—
80 歳以上	25.0	25.0	—	25.0	25.0	—	25.0	—

【地域別】

単位：％

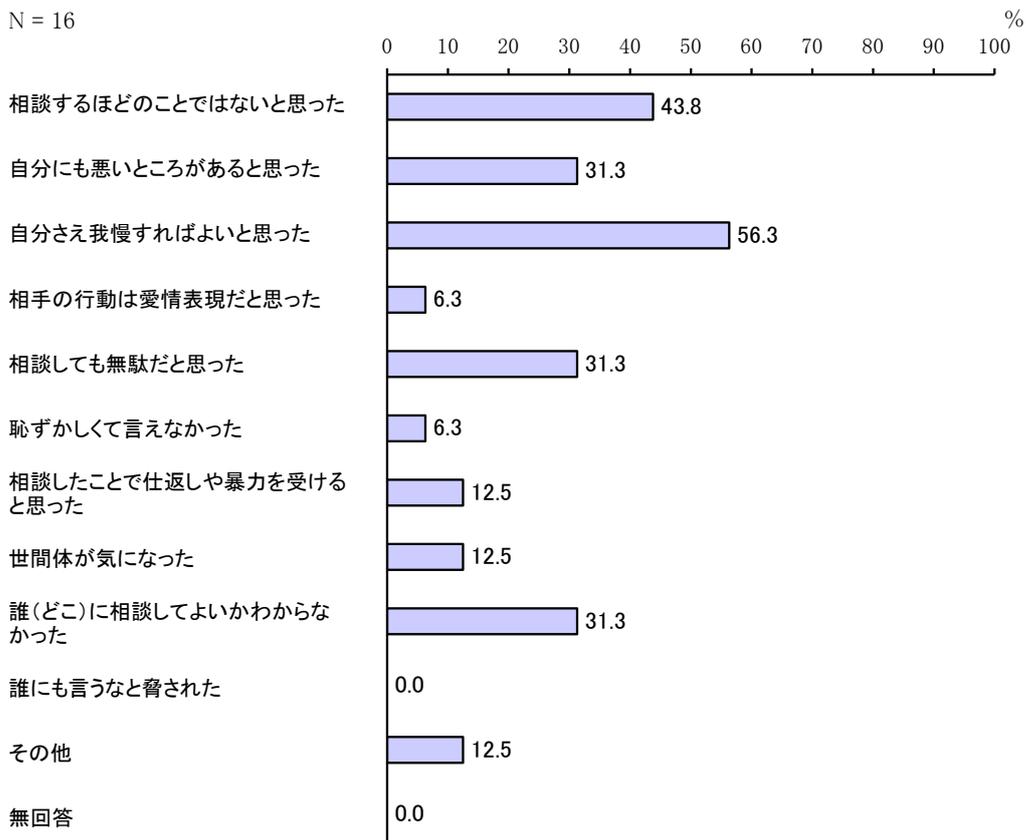
区分	有効回答数(件)	家族、友人	医療機関	三重県女性相談所(三重県配偶者暴力相談支援センター)	三重県男女共同参画センター「フレんてみえ」	みえ性暴力被害者支援センター「よりこ」	福祉事務所(県、市)	三重県警察本部 総合相談電話(各警察署、交番を含む)
桑名圏域	4	25.0	—	—	—	—	—	—
四日市圏域	8	62.5	12.5	12.5	—	—	—	—
鈴鹿圏域	8	25.0	—	—	12.5	12.5	25.0	12.5
津圏域	7	85.7	—	—	—	—	—	—
松阪圏域	6	50.0	—	—	—	—	—	16.7
伊勢圏域	15	60.0	6.7	13.3	6.7	6.7	—	20.0
伊賀圏域	5	20.0	—	—	—	—	—	40.0
尾鷲圏域	1	100.0	—	—	—	—	—	—
熊野圏域	1	100.0	—	—	—	—	—	100.0

区分	女性の人権ホットライン(津地方法務局)	被害者ホットライン(津検察庁)	犯罪被害者支援ダイヤル(法テラス)	被害者支援センター、DV被害等救済センター(三重県弁護士会)	公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター	どこにも相談しなかった	その他	無回答
桑名圏域	—	—	—	—	—	75.0	—	—
四日市圏域	—	—	—	—	—	25.0	—	—
鈴鹿圏域	12.5	12.5	—	12.5	12.5	37.5	—	—
津圏域	—	—	—	—	—	14.3	—	—
松阪圏域	—	—	—	—	—	33.3	16.7	—
伊勢圏域	—	—	—	6.7	6.7	26.7	6.7	—
伊賀圏域	—	—	—	—	—	20.0	40.0	—
尾鷲圏域	—	—	—	—	—	—	—	—
熊野圏域	—	—	—	—	—	—	—	—

問9-1で「13. どもにも相談しなかった」に○をつけた方におたずねします。

問9-2 どこにも相談しなかった理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「自分さえ我慢すればよいと思った」の割合が56.3%と最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思った」の割合が43.8%、「自分にも悪いところがあると思った」、「相談しても無駄だと思った」、「誰(どこ)に相談してよいかわからなかった」の割合が31.3%となっています。



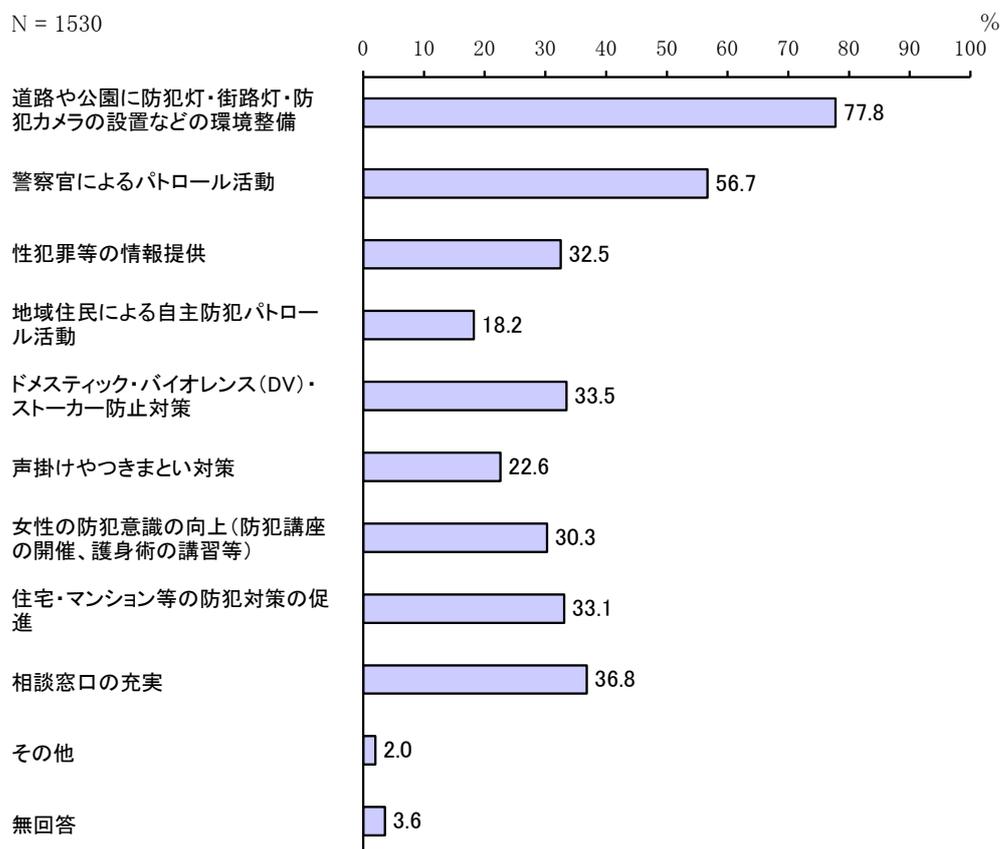
問10 女性を犯罪から守るためには、どのようなことを強化してほしいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「道路や公園に防犯灯・街路灯・防犯カメラの設置などの環境整備」の割合が77.8%と最も高く、次いで「警察官によるパトロール活動」の割合が56.7%、「相談窓口の充実」の割合が36.8%となっています。

性別で見ると、女性に比べ男性で「地域住民による自主防犯パトロール活動」の割合が高くなっています。また、女性で「ドメスティック・バイオレンス (DV)・ストーカー防止対策」「相談窓口の充実」の割合が高くなっています。

年代別で見ると、年代が低くなるにつれ「ドメスティック・バイオレンス (DV)・ストーカー防止対策」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、30～39歳、40～49歳、50～59歳で「警察官によるパトロール活動」の割合が高くなっています。

地域別で見ると、他の地域に比べ、熊野圏域で「ドメスティック・バイオレンス (DV)・ストーカー防止対策」「相談窓口の充実」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	道路や公園に防犯灯・街路灯・防犯カメラの設置などの環境整備	警察官によるパトロール活動	性犯罪等の情報提供	地域住民による自主防犯パトロール活動	ドメスティック・バイオレンス(DV)・ストーカー防止対策	声掛けやつきまとい対策	女性の防犯意識の向上(防犯講座の開催、護身術の講習等)	住宅・マンション等の防犯対策の促進	相談窓口の充実	その他	無回答
男性	666	77.3	57.1	31.2	22.7	30.3	21.8	28.4	31.4	33.8	2.3	3.5
女性	846	78.7	56.9	33.9	14.9	35.6	23.3	32.0	35.0	39.1	1.9	3.5

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	道路や公園に防犯灯・街路灯・防犯カメラの設置などの環境整備	警察官によるパトロール活動	性犯罪等の情報提供	地域住民による自主防犯パトロール活動	ドメスティック・バイオレンス(DV)・ストーカー防止対策	声掛けやつきまとい対策	女性の防犯意識の向上(防犯講座の開催、護身術の講習等)	住宅・マンション等の防犯対策の促進	相談窓口の充実	その他	無回答
20～29歳	308	73.1	46.8	26.0	10.7	39.6	26.9	29.5	39.9	36.7	2.3	2.3
30～39歳	247	77.7	61.9	35.6	19.8	42.1	25.9	30.4	42.5	39.7	4.5	4.5
40～49歳	280	79.3	62.5	38.9	15.0	36.8	22.1	26.4	28.9	32.9	1.8	1.4
50～59歳	292	83.6	64.7	37.0	22.6	30.8	21.9	33.6	32.9	40.4	1.0	3.1
60～69歳	264	79.2	54.5	28.0	22.7	27.7	18.2	31.4	28.0	38.6	1.5	3.0
70～79歳	77	76.6	40.3	26.0	16.9	16.9	18.2	26.0	18.2	27.3	—	9.1
80歳以上	56	60.7	51.8	30.4	26.8	12.5	14.3	33.9	19.6	32.1	1.8	16.1

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	道路や公園に防犯灯・街路灯・防犯カメラの設置などの環境整備	警察官によるパトロール活動	性犯罪等の情報提供	地域住民による自主防犯パトロール活動	ドメスティック・バイオレンス(DV)・ストーカー防止対策	声掛けやつきまとい対策	女性の防犯意識の向上(防犯講座の開催、護身術の講習等)	住宅・マンション等の防犯対策の促進	相談窓口の充実	その他	無回答
桑名圏域	177	80.8	52.5	32.8	20.9	31.1	18.1	29.9	28.2	33.9	1.1	6.8
四日市圏域	304	81.9	62.2	30.6	14.5	29.6	24.3	28.9	31.3	33.6	2.0	2.6
鈴鹿圏域	208	77.9	51.9	29.8	19.2	32.7	20.7	30.3	35.6	37.0	1.9	4.3
津圏域	202	78.2	54.5	28.2	11.4	41.6	19.3	29.7	42.1	34.7	3.0	3.0
松阪圏域	206	72.3	59.2	38.8	19.9	27.2	25.2	28.2	27.7	35.9	2.4	3.9
伊勢圏域	233	76.4	54.5	40.3	21.0	35.2	24.5	33.9	33.9	42.5	1.7	2.1
伊賀圏域	139	77.7	60.4	23.7	26.6	35.3	23.0	30.2	34.5	38.1	2.2	2.2
尾鷲圏域	24	62.5	45.8	45.8	8.3	33.3	29.2	37.5	29.2	33.3	—	12.5
熊野圏域	34	76.5	67.6	29.4	14.7	55.9	29.4	32.4	32.4	55.9	2.9	2.9

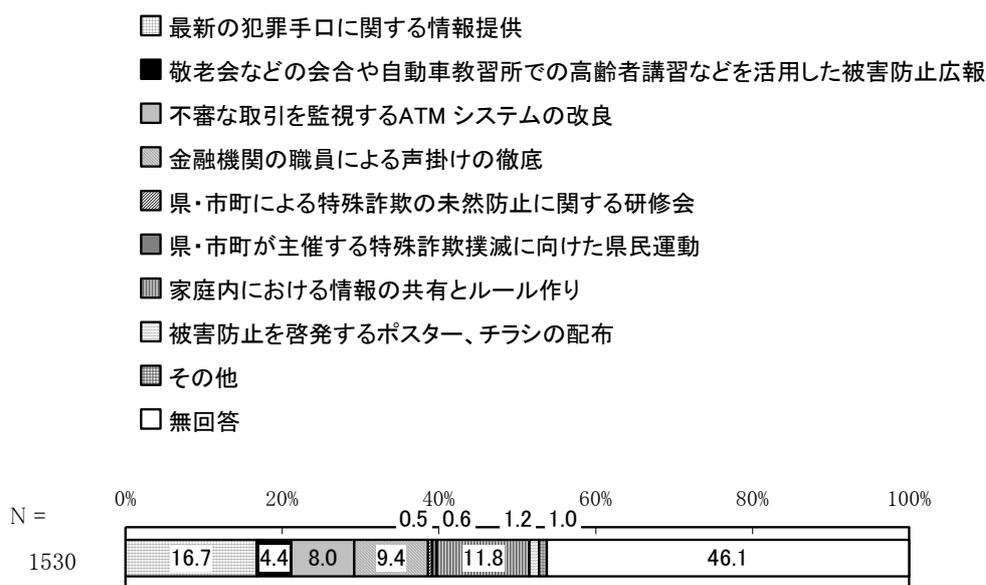
問 11 振り込め詐欺等の特殊詐欺の被害に遭わないために、最も有効であると思うものは何ですか。(もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。)

「最新の犯罪手口に関する情報提供」の割合が16.7%と最も高く、次いで「家庭内における情報の共有とルール作り」の割合が11.8%となっています。

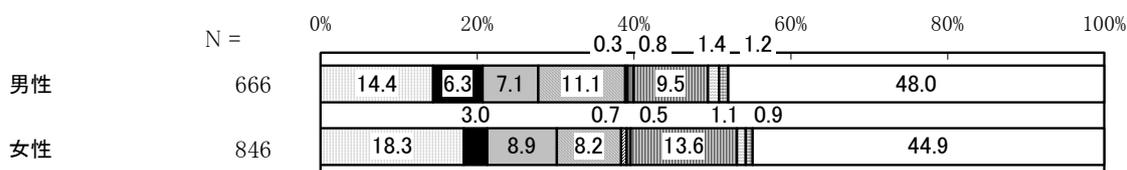
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、60～69歳、70～79歳で「家庭内における情報の共有とルール作り」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、熊野圏域で「最新の犯罪手口に関する情報提供」の割合が低くなっています。防犯ボランティアへの参加別でみると、大きな差異はみられません。

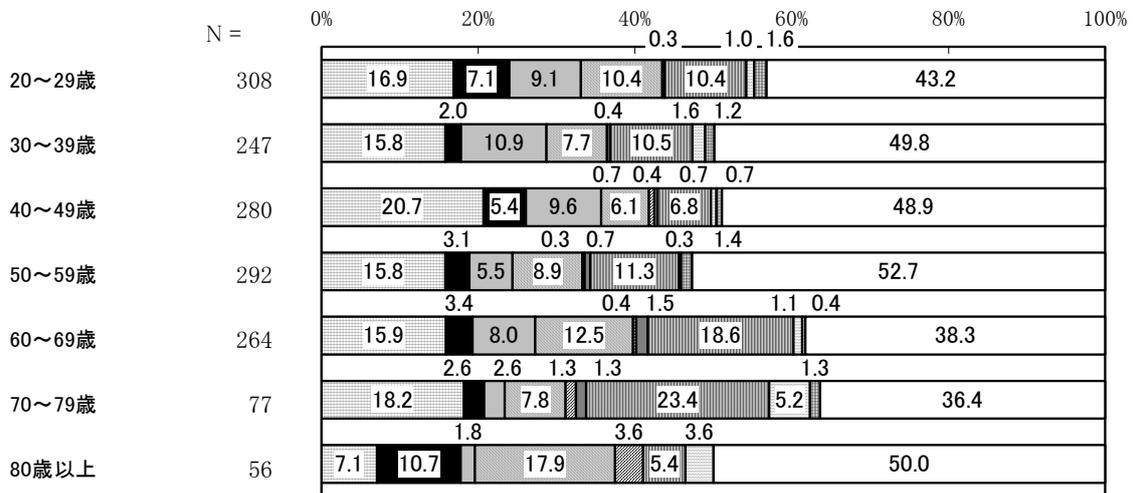


【性別】



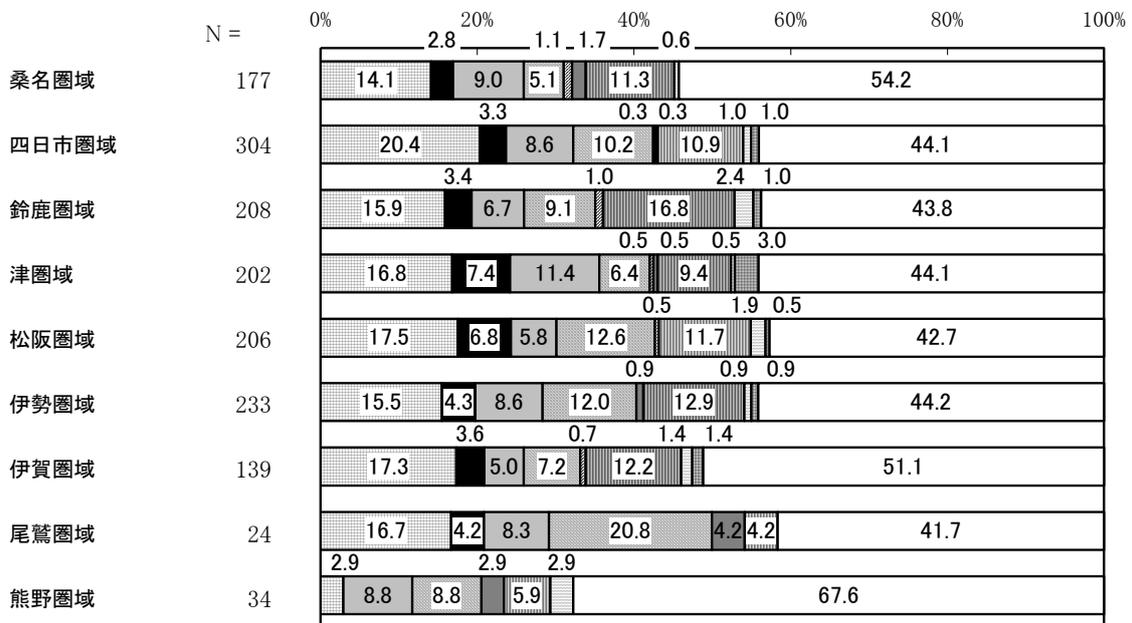
【年代別】

- 最新の犯罪手口に関する情報提供
- 敬老会などの会合や自動車教習所での高齢者講習などを活用した被害防止広報
- 不審な取引を監視するATM システムの改良
- 金融機関の職員による声掛けの徹底
- 県・市町による特殊詐欺の未然防止に関する研修会
- 県・市町が主催する特殊詐欺撲滅に向けた県民運動
- 家庭内における情報の共有とルール作り
- 被害防止を啓発するポスター、チラシの配布
- その他
- 無回答

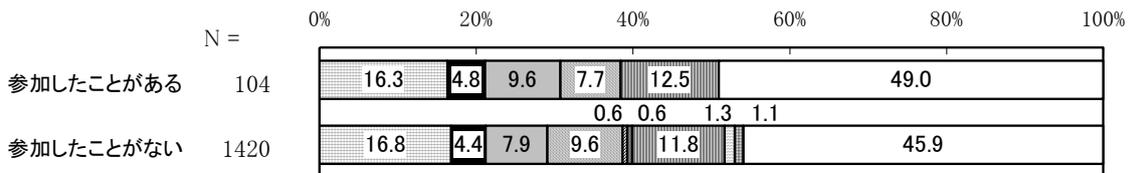


【地域別】

- 最新の犯罪手口に関する情報提供
- 敬老会などの会合や自動車教習所での高齢者講習などを活用した被害防止広報
- 不審な取引を監視するATM システムの改良
- 金融機関の職員による声掛けの徹底
- 県・市町による特殊詐欺の未然防止に関する研修会
- 県・市町が主催する特殊詐欺撲滅に向けた県民運動
- 家庭内における情報の共有とルール作り
- 被害防止を啓発するポスター、チラシの配布
- その他
- 無回答



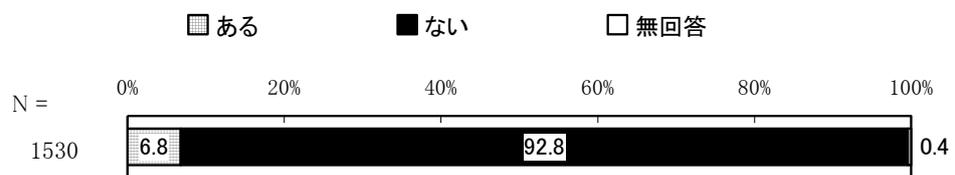
【防犯ボランティアへの参加別】



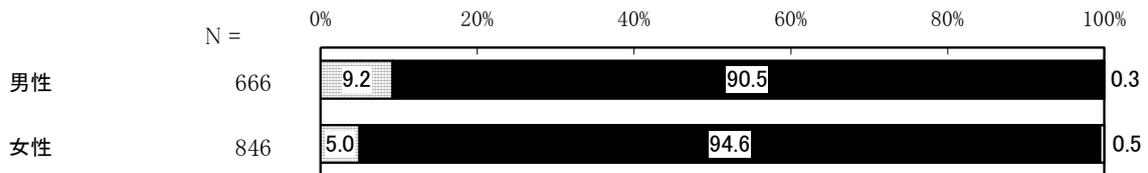
(3) 地域での防犯について

問 12 地域で行われている防犯ボランティア活動に参加されたことはありますか。
 (どちらかあてはまる番号に○をつけてください。)

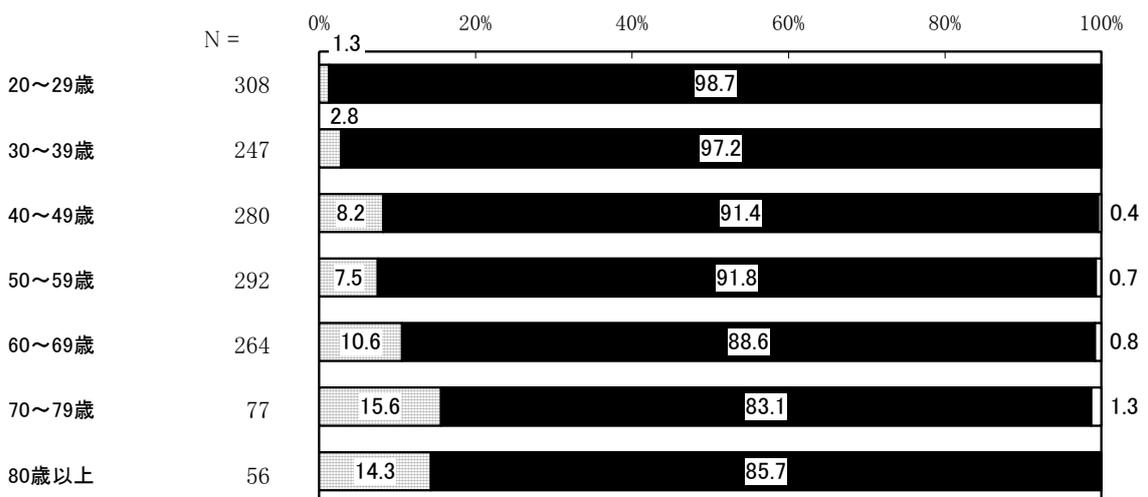
「ある」の割合が6.8%、「ない」の割合が92.8%となっています。
 性別でみると、大きな差異はみられません。
 年代別でみると、年代が高くなるにつれ「ある」の割合が高くなる傾向がみられます。
 地域別でみると、他の地域に比べ、尾鷲圏域で「ある」の割合が高くなっています。
 治安の評価別でみると、他に比べ、どちらともいえない(変わらない)で「ない」の割合が高くなっています。
 職業別でみると、他に比べ、自営業、無職で「ある」の割合が高くなっています。



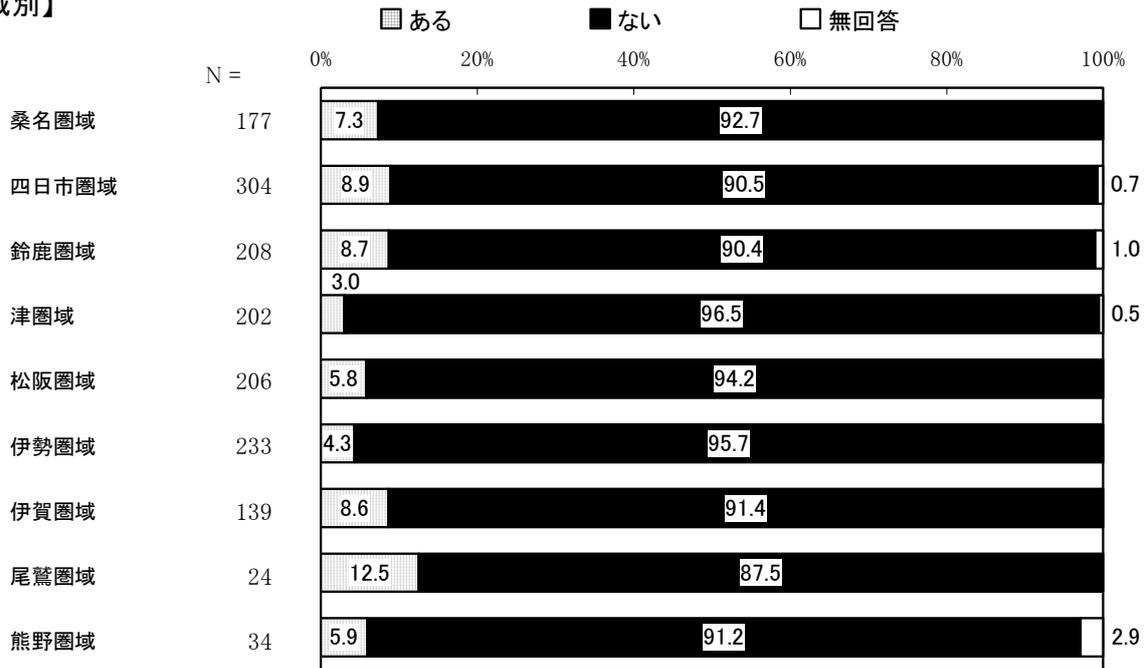
【性別】



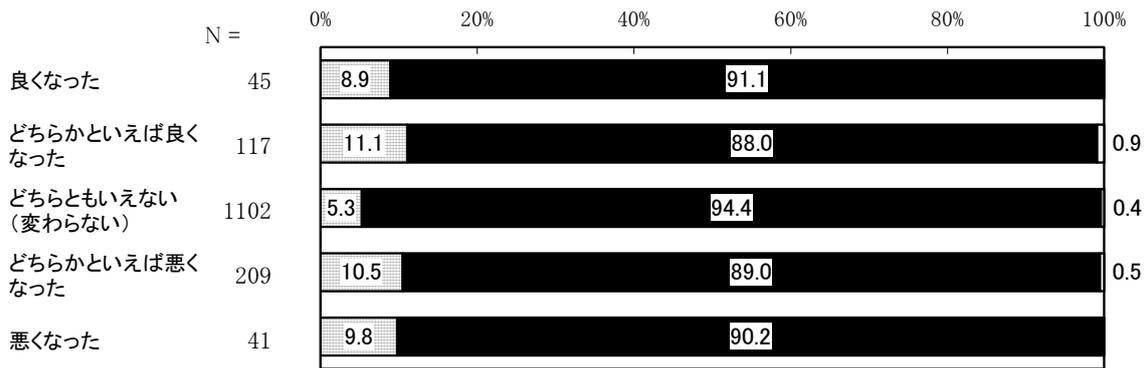
【年代別】



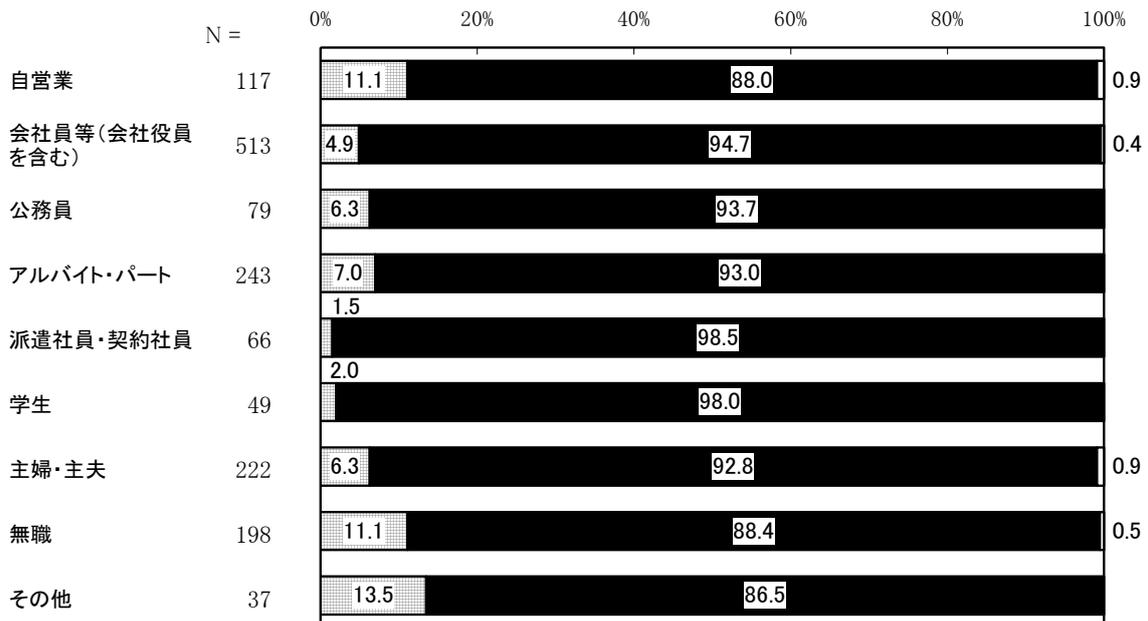
【地域別】



【治安の評価別】



【職業別】



問 12 で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。

問 12-1 防犯ボランティア活動に参加されて感じた問題点は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

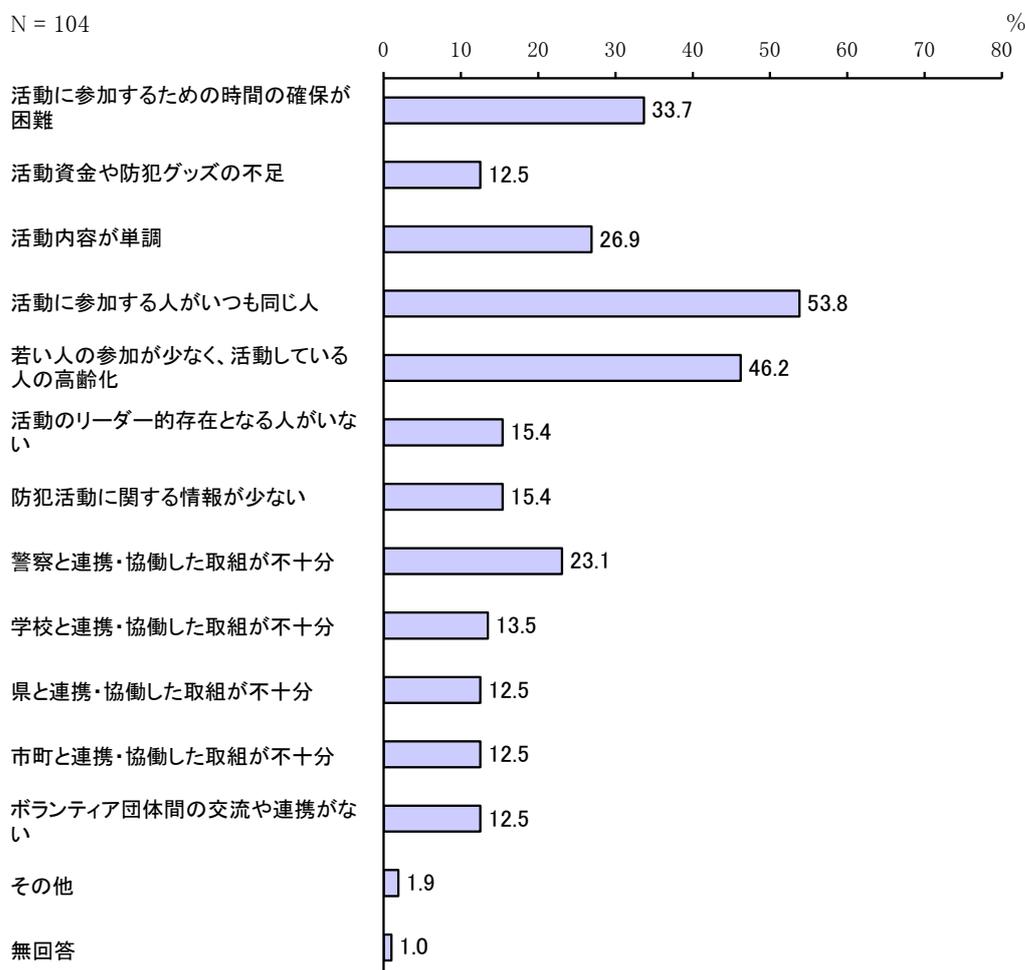
「活動に参加する人がいつも同じ人」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「若い人の参加が少なく、活動している人の高齢化」の割合が 46.2%、「活動に参加するための時間の確保が困難」の割合が 33.7%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「活動資金や防犯グッズの不足」「活動内容が単調」「若い人の参加が少なく、活動している人の高齢化」「活動のリーダー的存在となる人がいない」「警察と連携・協働した取組が不十分」「学校と連携・協働した取組が不十分」「県と連携・協働した取組が不十分」「市町と連携・協働した取組が不十分」の割合が高くなっています。また、女性で「活動に参加するための時間の確保が困難」「活動に参加する人がいつも同じ人」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、70～79 歳で「若い人の参加が少なく、活動している人の高齢化」の割合が、50～59 歳で「活動に参加するための時間の確保が困難」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、桑名圏域、伊勢圏域で「活動に参加する人がいつも同じ人」の割合が高くなっています。

職業別でみると、他に比べ、無職で「若い人の参加が少なく、活動している人の高齢化」の割合が、自営業で「活動に参加するための時間の確保が困難」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	活動に参加するための時間の確保が困難	活動資金や防犯グッズの不足	活動内容が単調	活動に参加する人がいつも同じ人	若い人の参加が少なく、活動している人の高齢化	活動のリーダー的存在となる人がいない	防犯活動に関する情報が少ない
男性	61	29.5	18.0	32.8	50.8	50.8	18.0	16.4
女性	42	40.5	4.8	19.0	57.1	40.5	11.9	14.3

区分	警察と連携・協働した取組が不十分	学校と連携・協働した取組が不十分	県と連携・協働した取組が不十分	市町と連携・協働した取組が不十分	ボランティア団体間の交流や連携がない	その他	無回答
男性	29.5	18.0	16.4	16.4	13.1	3.3	—
女性	14.3	7.1	7.1	7.1	11.9	—	2.4

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	活動に参加するた めの時間の確保が 困難	活動資金や防犯グ ッズの不足	活動内容が単調	活動に参加する人 がいつも同じ人	若い人の参加が少 なく、活動している 人の高齢化	活動のリーダー的 存在となる人がい ない	防犯活動に関する 情報が少ない
20～29 歳	4	50.0	25.0	—	25.0	25.0	25.0	25.0
30～39 歳	7	28.6	14.3	42.9	42.9	14.3	—	14.3
40～49 歳	23	34.8	4.3	39.1	65.2	34.8	21.7	21.7
50～59 歳	22	50.0	13.6	36.4	50.0	40.9	9.1	9.1
60～69 歳	28	35.7	17.9	14.3	53.6	50.0	14.3	17.9
70～79 歳	12	8.3	8.3	25.0	75.0	75.0	16.7	16.7
80 歳以上	8	12.5	12.5	12.5	25.0	75.0	25.0	—

区分	警察と連携・協働し た取組が不十分	学校と連携・協働し た取組が不十分	県と連携・協働した 取組が不十分	市町と連携・協働し た取組が不十分	ボランティア団体 間の交流や連携が ない	その他	無回答
20～29 歳	25.0	25.0	25.0	25.0	—	—	—
30～39 歳	42.9	28.6	57.1	42.9	—	—	—
40～49 歳	17.4	13.0	4.3	4.3	4.3	—	—
50～59 歳	27.3	13.6	18.2	13.6	22.7	4.5	—
60～69 歳	25.0	14.3	7.1	14.3	14.3	3.6	3.6
70～79 歳	—	8.3	8.3	8.3	25.0	—	—
80 歳以上	37.5	—	—	—	—	—	—

【地域別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	活動に参加するた めの時間の確保が 困難	活動資金や防犯グ ッズの不足	活動内容が単調	活動に参加する人 がいつも同じ人	若い人の参加が少 なく、活動している 人の高齢化	活動のリーダー的 存在となる人がい ない	防犯活動に関する 情報が少ない
桑名圏域	13	38.5	15.4	15.4	76.9	46.2	7.7	15.4
四日市圏域	27	37.0	14.8	18.5	44.4	33.3	22.2	11.1
鈴鹿圏域	18	5.6	5.6	27.8	38.9	66.7	11.1	11.1
津圏域	6	66.7	—	50.0	33.3	16.7	—	16.7
松阪圏域	12	25.0	8.3	33.3	58.3	66.7	16.7	16.7
伊勢圏域	10	40.0	20.0	30.0	80.0	60.0	10.0	10.0
伊賀圏域	12	50.0	8.3	25.0	50.0	33.3	25.0	25.0
尾鷲圏域	3	33.3	33.3	66.7	100.0	33.3	33.3	33.3
熊野圏域	2	50.0	50.0	50.0	—	—	—	50.0

区分	警察と連携・協働し た取組が不十分	学校と連携・協働し た取組が不十分	県と連携・協働した 取組が不十分	市町と連携・協働し た取組が不十分	ボランティア団体 間の交流や連携が ない	その他	無回答
桑名圏域	30.8	23.1	15.4	15.4	7.7	—	—
四日市圏域	18.5	7.4	11.1	7.4	18.5	—	—
鈴鹿圏域	16.7	16.7	5.6	11.1	11.1	5.6	5.6
津圏域	—	16.7	16.7	—	—	—	—
松阪圏域	25.0	16.7	16.7	16.7	16.7	—	—
伊勢圏域	30.0	10.0	20.0	20.0	20.0	—	—
伊賀圏域	33.3	8.3	8.3	16.7	—	8.3	—
尾鷲圏域	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	—	—
熊野圏域	—	—	—	—	—	—	—

【職業別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	活動に参加するための時間の確保が困難	活動資金や防犯グッズの不足	活動内容が単調	活動に参加する人がいつも同じ人	若くは高齢化がなく、活動している人の高齢化	活動のリーダー的存在となる人がいない	防犯活動に関する情報が少ない
自営業	13	53.8	23.1	15.4	38.5	46.2	15.4	7.7
会社員等(会社役員を含む)	25	32.0	12.0	36.0	52.0	48.0	20.0	12.0
公務員	5	60.0	—	20.0	40.0	40.0	40.0	—
アルバイト・パート	17	35.3	23.5	29.4	58.8	23.5	17.6	23.5
派遣社員・契約社員	1	100.0	—	100.0	100.0	—	—	100.0
学生	1	—	—	—	—	—	—	100.0
主婦・主夫	14	35.7	7.1	21.4	57.1	42.9	7.1	21.4
無職	22	13.6	9.1	22.7	63.6	68.2	13.6	13.6
その他	5	40.0	—	20.0	60.0	60.0	—	—

区分	警察と連携・協働した取組が不十分	学校と連携・協働した取組が不十分	県と連携・協働した取組が不十分	市町と連携・協働した取組が不十分	ボランティア団体間の交流や連携がない	その他	無回答
自営業	15.4	7.7	7.7	7.7	—	—	—
会社員等(会社役員を含む)	44.0	24.0	24.0	20.0	8.0	—	—
公務員	40.0	20.0	20.0	—	20.0	—	—
アルバイト・パート	23.5	17.6	17.6	23.5	17.6	—	—
派遣社員・契約社員	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—
学生	—	—	—	—	—	—	—
主婦・主夫	7.1	7.1	—	—	7.1	—	7.1
無職	13.6	4.5	4.5	9.1	22.7	4.5	—
その他	—	—	—	—	20.0	20.0	—

問 12 で「2. ない」に○をつけた方におたずねします。

問 12-2 防犯ボランティア活動に参加されない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

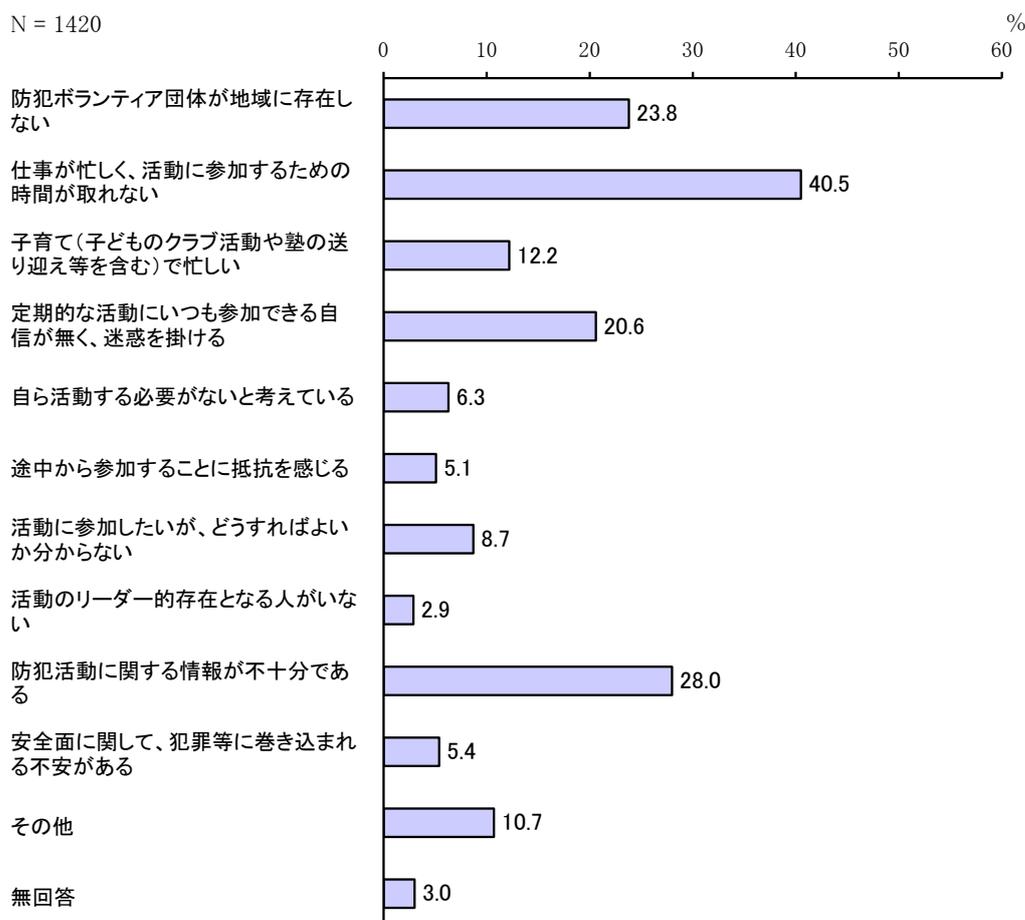
「仕事が忙しく、活動に参加するための時間が取れない」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「防犯活動に関する情報が不十分である」の割合が 28.0%、「防犯ボランティア団体が地域に存在しない」の割合が 23.8%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「仕事が忙しく、活動に参加するための時間が取れない」の割合が高くなっています。また、女性で「子育て（子どものクラブ活動や塾の送り迎え等を含む）で忙しい」の割合が高くなっています。

年代別でみると、30～39 歳で「子育て（子どものクラブ活動や塾の送り迎え等を含む）で忙しい」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、40～49 歳で「仕事が忙しく、活動に参加するための時間が取れない」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、桑名圏域、四日市圏域、津圏域、伊勢圏域で「仕事が忙しく、活動に参加するための時間が取れない」の割合が高くなっています。

職業別でみると、他に比べ、会社員等（会社役員を含む）、公務員、派遣社員・契約社員で「仕事が忙しく、活動に参加するための時間が取れない」の割合が、主婦・主夫で「子育て（子どものクラブ活動や塾の送り迎え等を含む）で忙しい」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	防犯ボランティア団体が地域に存在しない	仕事が忙しく、活動に参加するための時間が取れない	子育て(子どものクラブ活動や塾の送り迎え等を含む)で忙しい	定期的な活動にいつも参加できる自信が無く、迷惑を掛ける	自ら活動する必要があると考えている	途中から参加することに抵抗を感じる	活動に参加したいが、どうすればよいか分からない	活動のリーダー的存在となる人がいない	防犯活動に関する情報が不十分である	安全面に関して、犯罪等に巻き込まれる不安がある	その他	無回答
男性	603	25.9	45.4	5.3	22.6	6.5	6.0	11.4	3.2	26.5	4.0	9.6	2.8
女性	800	22.5	36.9	17.5	19.4	6.3	4.4	6.6	2.6	29.3	6.3	11.6	2.9

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	防犯ボランティア団体が地域に存在しない	仕事が忙しく、活動に参加するための時間が取れない	子育て(子どものクラブ活動や塾の送り迎え等を含む)で忙しい	定期的な活動にいつも参加できる自信が無く、迷惑を掛ける	自ら活動する必要があると考えている	途中から参加することに抵抗を感じる	活動に参加したいが、どうすればよいか分からない	活動のリーダー的存在となる人がいない	防犯活動に関する情報が不十分である	安全面に関して、犯罪等に巻き込まれる不安がある	その他	無回答
20～29歳	304	20.4	45.1	4.9	16.4	7.2	6.6	7.9	1.3	24.0	4.6	13.5	1.6
30～39歳	240	21.3	43.8	34.2	17.5	5.4	2.5	7.9	2.5	29.2	2.9	8.3	2.1
40～49歳	256	21.5	57.0	19.5	22.3	3.1	3.1	9.4	2.7	27.3	4.7	5.5	1.2
50～59歳	268	23.5	42.5	6.3	23.5	7.5	5.2	9.3	1.1	34.3	4.9	10.4	3.0
60～69歳	234	31.2	26.5	3.4	23.9	8.1	8.1	9.8	6.0	32.1	9.0	8.5	3.8
70～79歳	64	21.9	10.9	—	23.4	7.8	3.1	6.3	6.3	15.6	6.3	25.0	12.5
80歳以上	48	41.7	—	—	14.6	4.2	4.2	8.3	4.2	12.5	8.3	25.0	10.4

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	防犯ボランティア団体が地域に存在しない	仕事が多忙で、活動に参加するための時間が取れない	子育て(子どものクラブ活動や塾の送り迎え等を含む)で忙しい	定期的な活動にいつも参加できる自信が無く、迷惑を掛ける	自ら活動する必要がないと考えている	途中から参加することに抵抗を感じる	活動に参加したいが、どうすればよいか分からない	活動のリーダー的存在となる人がいない	防犯活動に関する情報が不十分である	安全面に関して、犯罪等に巻き込まれる不安がある	その他	無回答
桑名圏域	164	20.7	45.7	10.4	23.8	5.5	4.9	8.5	3.0	21.3	6.1	14.0	4.3
四日市圏域	275	18.5	45.8	13.8	20.7	7.3	5.1	6.5	1.1	26.2	5.8	10.9	1.8
鈴鹿圏域	188	21.8	29.8	13.3	21.3	7.4	6.4	9.6	4.3	33.5	6.4	12.2	2.7
津圏域	195	23.6	46.7	10.8	21.0	5.1	7.2	8.7	2.1	30.3	5.1	8.2	3.1
松阪圏域	194	30.4	32.5	11.3	14.9	7.7	3.6	9.3	5.7	26.8	3.6	11.3	6.7
伊勢圏域	223	24.2	43.5	13.5	24.2	5.4	3.1	8.5	2.7	26.5	4.9	11.2	1.8
伊賀圏域	127	28.3	38.6	8.7	19.7	5.5	5.5	9.4	3.1	33.1	4.7	7.9	1.6
尾鷲圏域	21	28.6	38.1	9.5	9.5	4.8	9.5	19.0	—	23.8	4.8	4.8	—
熊野圏域	31	35.5	32.3	19.4	19.4	—	3.2	9.7	—	32.3	9.7	6.5	3.2

【職業別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	防犯ボランティア団体が地域に存在しない	仕事が多忙で、活動に参加するための時間が取れない	子育て(子どものクラブ活動や塾の送り迎え等を含む)で忙しい	定期的な活動にいつも参加できる自信が無く、迷惑を掛ける	自ら活動する必要がないと考えている	途中から参加することに抵抗を感じる	活動に参加したいが、どうすればよいか分からない	活動のリーダー的存在となる人がいない	防犯活動に関する情報が不十分である	安全面に関して、犯罪等に巻き込まれる不安がある	その他	無回答
自営業	103	30.1	48.5	5.8	11.7	3.9	1.0	8.7	4.9	23.3	1.0	9.7	8.7
会社員等 (会社役員を含む)	486	21.6	60.1	9.1	20.6	4.3	4.9	10.3	2.3	24.3	4.1	9.1	1.4
公務員	74	20.3	55.4	16.2	13.5	1.4	4.1	10.8	—	33.8	4.1	10.8	4.1
アルバイト・パート	226	19.9	43.8	19.5	26.1	7.1	4.9	6.2	2.2	34.1	4.9	5.8	3.1
派遣社員・契約社員	65	23.1	58.5	3.1	15.4	9.2	3.1	6.2	3.1	23.1	6.2	1.5	—
学生	48	20.8	20.8	—	18.8	6.3	6.3	6.3	2.1	22.9	6.3	27.1	2.1
主婦・主夫	206	22.3	9.7	30.6	22.3	7.8	5.3	4.4	3.4	33.5	7.8	12.1	2.9
無職	175	30.9	5.7	0.6	22.3	11.4	9.1	12.6	4.6	26.9	9.7	21.1	4.6
その他	32	43.8	43.8	3.1	21.9	6.3	3.1	12.5	6.3	31.3	3.1	3.1	6.3

(4) 犯罪に対する意識について

問 13 日常生活において、自分や身近な人が被害に遭うかもしれないと感じる犯罪は何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「空き巣などの侵入犯罪」の割合が 73.8%と最も高く、次いで「自動車・バイク等の乗り物盗や車上狙い」の割合が 56.0%、「ひったくり、路上強盗」の割合が 42.9%となっています。

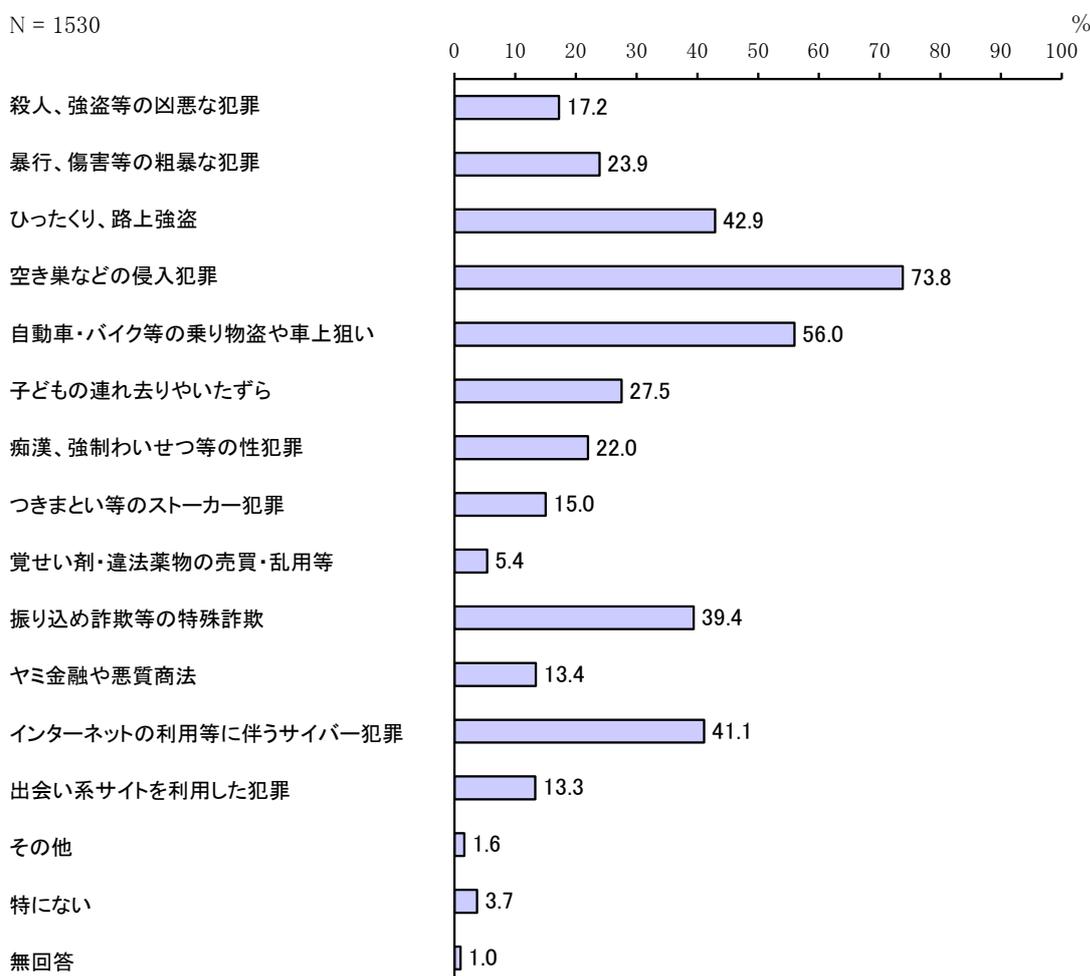
性別でみると、女性に比べ男性で「暴行、傷害等の粗暴な犯罪」の割合が高くなっています。また、女性で「ひったくり、路上強盗」「子どもの連れ去りやいたずら」「痴漢、強制わいせつ等の性犯罪」「インターネットの利用等に伴うサイバー犯罪」の割合が高くなっています。

年代別でみると、79 歳以下で年代が低くなるにつれ「殺人、強盗等の凶悪な犯罪」「暴行、傷害等の粗暴な犯罪」「つきまとい等のストーカー犯罪」「インターネットの利用等に伴うサイバー犯罪」の割合が高くなる傾向がみられます。

地域別でみると、他の地域に比べ、桑名圏域、四日市圏域で「空き巣などの侵入犯罪」の割合が、桑名圏域、四日市圏域、伊賀圏域で「ひったくり、路上強盗」の割合が高くなっています。

治安の評価別でみると、“良くなった”に比べ“悪くなった”で「覚せい剤・違法薬物の売買・乱用等」「振り込め詐欺等の特殊詐欺」を除くすべての項目の割合が高くなっています。

防犯ボランティアへの参加別でみると、参加したことがない人に比べ参加したことがある人で「空き巣などの侵入犯罪」「ヤミ金融や悪質商法」の割合が高くなっています。また、参加したことがない人で「子どもの連れ去りやいたずら」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	殺人、強盗等の凶悪な犯罪	暴行、傷害等の粗暴な犯罪	盗ひつたくり、路上強盗	空き巣などの侵入犯罪	自動車・バイク等の乗り物盗や車上狙い	子どもの連れ去りやいたずら	痴漢、強制わいせつ等の性犯罪	つきまとい等のストーカー犯罪
男性	666	17.4	27.5	36.6	71.5	56.6	23.1	18.2	12.8
女性	846	17.1	21.2	47.6	75.8	55.9	31.0	25.2	16.9

区分	覚せい剤・違法薬物の売買・乱用等	振り込め詐欺等の特殊詐欺	ヤミ金融や悪質商法	インターネットの利用等に伴うサイバー犯罪	出会い系サイトを利用した犯罪	その他	特にない	無回答
男性	6.2	39.2	14.7	36.8	13.2	1.5	3.9	1.1
女性	4.7	40.1	12.4	44.6	13.1	1.8	3.5	1.1

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	殺人、強盗等の凶悪 な犯罪	暴行、傷害等の粗暴 な犯罪	盗 ひったくり、路上強 盗	空き巣などの侵入 犯罪	自動車・バイク等の 乗り物盗や車上狙 い	子どもの連れ去り やいたずら	痴漢、強制わいせつ 等の性犯罪	つきまとい等のス トーカー犯罪
20～29 歳	308	22.1	30.8	41.2	63.6	58.8	22.1	30.2	20.8
30～39 歳	247	24.3	27.1	49.0	75.7	60.7	52.2	22.7	16.6
40～49 歳	280	14.6	26.8	40.7	75.7	62.9	38.6	23.2	15.0
50～59 歳	292	15.4	22.9	47.3	82.9	59.9	14.7	21.9	15.4
60～69 歳	264	12.5	17.8	38.6	73.9	49.6	20.1	16.7	9.5
70～79 歳	77	6.5	6.5	35.1	68.8	31.2	10.4	5.2	6.5
80 歳以上	56	16.1	12.5	39.3	71.4	26.8	16.1	12.5	7.1

区分	覚せい剤・違法薬物 の売買・乱用等	振り込め詐欺等の 特殊詐欺	法 ヤミ金融や悪質商 法	インターネットの 利用等に伴うサイ バー犯罪	出会い系サイトを 利用した犯罪	その他	特 に ない	無 回 答
20～29 歳	7.5	33.4	12.7	48.1	16.2	1.9	5.5	0.3
30～39 歳	6.9	35.6	11.3	47.8	11.7	3.2	0.8	0.4
40～49 歳	2.9	39.3	13.9	47.5	15.4	1.4	1.8	0.4
50～59 歳	5.1	43.2	14.0	45.2	12.3	1.0	3.4	1.4
60～69 歳	5.3	43.2	12.9	30.3	13.3	—	5.3	1.9
70～79 歳	1.3	37.7	18.2	9.1	7.8	2.6	9.1	2.6
80 歳以上	5.4	51.8	16.1	12.5	5.4	3.6	1.8	3.6

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	殺人、強盗等の凶悪な犯罪	暴行、傷害等の粗暴な犯罪	盗ひつたくり、路上強盗	空き巣などの侵入犯罪	自動車・バイク等の乗り物盗や車上狙い	子どもの連れ去りやいたずら	痴漢、強制わいせつ等の性犯罪	つきまとい等のストーカー犯罪
桑名圏域	177	22.0	24.3	48.0	77.4	60.5	24.9	26.0	14.1
四日市圏域	304	19.1	26.6	50.3	80.3	59.5	25.3	20.7	16.8
鈴鹿圏域	208	19.2	21.2	40.4	70.2	52.4	25.0	17.8	13.0
津圏域	202	15.8	26.7	40.1	70.8	55.0	31.7	27.2	20.3
松阪圏域	206	16.0	20.9	38.3	69.9	50.5	26.7	20.4	10.7
伊勢圏域	233	12.9	21.0	35.6	74.7	55.8	29.6	21.9	15.9
伊賀圏域	139	17.3	27.3	50.4	74.8	62.6	31.7	24.5	13.7
尾鷲圏域	24	12.5	25.0	41.7	62.5	45.8	29.2	16.7	12.5
熊野圏域	34	11.8	20.6	29.4	61.8	50.0	23.5	11.8	11.8

区分	覚せい剤・違法薬物の売買・乱用等	振り込め詐欺等の特殊詐欺	ヤミ金融や悪質商法	インターネットの利用等に伴うサイバー犯罪	出会い系サイトを利用した犯罪	その他	特にない	無回答
桑名圏域	4.5	39.5	20.3	37.3	16.9	1.1	5.1	2.3
四日市圏域	3.3	32.2	11.5	46.1	10.5	1.0	3.0	—
鈴鹿圏域	4.8	39.9	13.0	37.5	11.5	1.0	4.3	1.9
津圏域	7.9	42.1	11.4	42.6	12.9	2.5	2.0	0.5
松阪圏域	6.8	40.8	11.7	36.4	15.0	1.5	3.4	1.5
伊勢圏域	4.7	42.1	14.2	42.9	12.0	2.1	4.7	1.3
伊賀圏域	7.9	40.3	15.1	46.0	15.1	2.2	2.9	—
尾鷲圏域	—	50.0	12.5	45.8	16.7	—	4.2	—
熊野圏域	5.9	50.0	8.8	26.5	20.6	2.9	2.9	2.9

【治安の評価別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	殺人、強盗等の凶悪な犯罪	暴行、傷害等の粗暴な犯罪	ひったくり、路上強盗	空き巣などの侵入犯罪	自動車・バイク等の乗り物盗や車上狙い	子どもの連れ去りやいたずら	痴漢、強制わいせつ等の性犯罪	つきまとい等のストーカー犯罪
良くなった	45	17.8	11.1	35.6	66.7	40.0	22.2	15.6	13.3
どちらかといえば良くなった	117	15.4	19.7	36.8	76.9	53.8	22.2	19.7	16.2
どちらともいえない(変わらない)	1102	16.8	23.1	41.7	71.9	54.5	26.1	20.6	14.2
どちらかといえば悪くなった	209	20.1	31.6	51.2	82.3	69.4	37.8	29.2	17.7
悪くなった	41	19.5	29.3	51.2	82.9	58.5	34.1	36.6	24.4

区分	覚せい剤・違法薬物の売買・乱用等	振り込め詐欺等の特殊詐欺	ヤミ金融や悪質商法	インターネットの利用等に伴うサイバー犯罪	出会い系サイトを利用した犯罪	その他	特にない	無回答
良くなった	4.4	46.7	13.3	20.0	2.2	—	13.3	—
どちらかといえば良くなった	5.1	38.5	15.4	38.5	15.4	—	5.1	—
どちらともいえない(変わらない)	5.4	38.5	11.6	40.9	12.9	1.7	3.9	1.4
どちらかといえば悪くなった	6.2	42.6	21.5	48.8	15.8	2.4	—	0.5
悪くなった	4.9	46.3	14.6	41.5	14.6	2.4	2.4	—

【防犯ボランティアへの参加別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	殺人、強盗等の凶悪な犯罪	暴行、傷害等の粗暴な犯罪	ひったくり、路上強盗	空き巣などの侵入犯罪	自動車・バイク等の乗り物盗や車上狙い	子どもの連れ去りやいたずら	痴漢、強制わいせつ等の性犯罪	つきまとい等のストーカー犯罪
参加したことがある	104	13.5	27.9	44.2	78.8	60.6	22.1	21.2	11.5
参加したことがない	1420	17.5	23.7	42.8	73.5	55.8	28.0	22.1	15.3

区分	覚せい剤・違法薬物の売買・乱用等	振り込め詐欺等の特殊詐欺	ヤミ金融や悪質商法	インターネットの利用等に伴うサイバー犯罪	出会い系サイトを利用した犯罪	その他	特にない	無回答
参加したことがある	6.7	43.3	20.2	42.3	16.3	1.0	1.0	1.0
参加したことがない	5.3	39.2	12.8	41.2	13.1	1.7	3.8	0.9

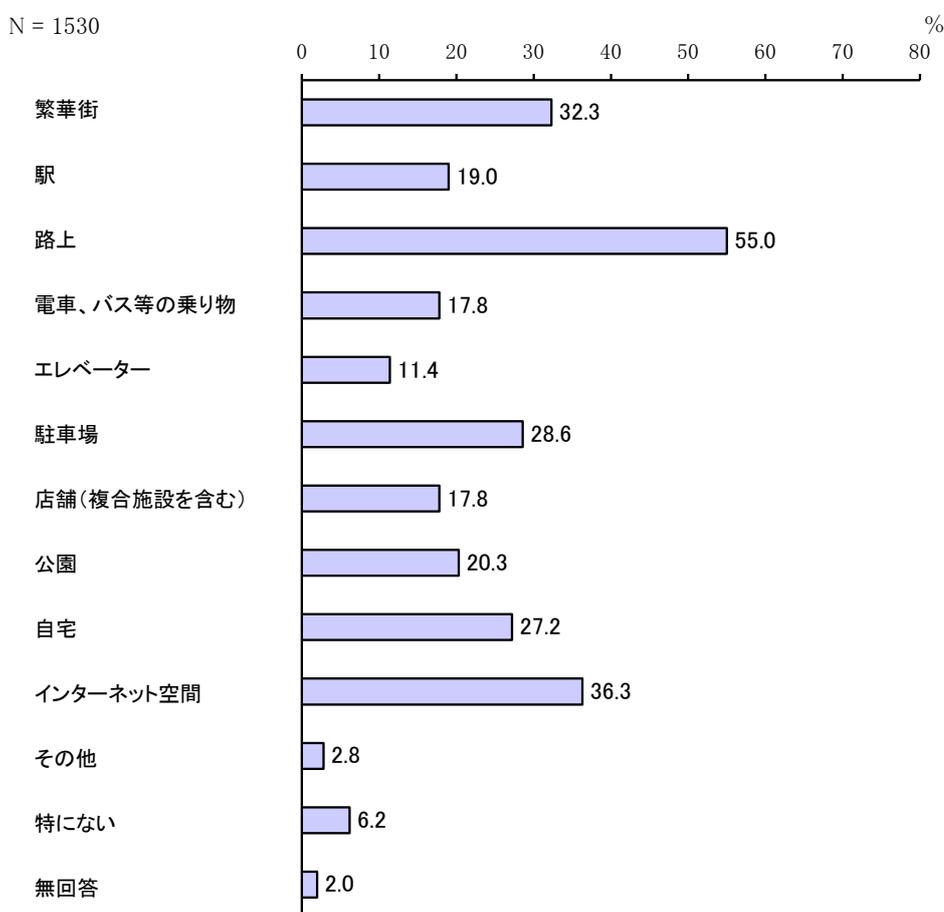
問 14 自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと、不安を感じる場所はどこですか。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「路上」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「インターネット空間」の割合が 36.3%、「繁華街」の割合が 32.3%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「繁華街」の割合が高くなっています。また、女性で「駅」「路上」「電車、バス等の乗り物」「エレベーター」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～29 歳で「駅」の割合が、30～39 歳で「店舗（複合施設を含む）」「公園」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、四日市圏域で「繁華街」の割合が、鈴鹿圏域で「自宅」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	繁華街	駅	路上	電車、 バス等の 乗り物	エレベーター	駐車場	店舗 (複合施設を含む)	公園	自宅	インターネット 空間	その他	特 に ない	無 回 答
男性	666	37.1	16.2	51.4	13.7	6.5	27.8	15.8	18.9	26.3	35.3	1.8	7.8	1.1
女性	846	28.8	21.2	58.0	20.9	15.4	29.8	19.6	21.9	27.8	37.2	3.7	5.0	2.7

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	繁華街	駅	路上	電車、 バス等の 乗り物	エレベーター	駐車場	店舗 (複合施設を含む)	公園	自宅	インターネット 空間	その他	特 に ない	無 回 答
20～29 歳	308	31.8	30.2	54.2	22.7	9.1	30.2	16.2	16.9	21.8	43.2	2.6	7.5	0.6
30～39 歳	247	36.4	21.5	62.3	21.1	15.4	30.4	26.3	27.9	30.0	38.1	3.2	2.8	0.8
40～49 歳	280	37.5	15.7	57.5	18.2	12.1	26.8	21.1	21.4	28.6	42.9	2.9	2.9	1.4
50～59 歳	292	37.0	18.8	53.8	19.2	13.7	32.9	16.1	20.5	30.5	38.7	4.8	3.1	1.4
60～69 歳	264	26.9	12.1	52.7	10.6	8.7	25.0	12.9	15.9	28.0	29.2	1.5	9.8	3.8
70～79 歳	77	7.8	3.9	44.2	9.1	10.4	22.1	13.0	20.8	20.8	9.1	—	18.2	7.8
80 歳以上	56	26.8	12.5	44.6	14.3	3.6	23.2	10.7	17.9	23.2	14.3	1.8	14.3	5.4

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	繁華街	駅	路上	電車、 バス等の 乗り物	エレベーター	駐車場	店舗 (複合施設を含む)	公園	自宅	インターネット空間	その他	特 に ない	無 回 答
桑名圏域	177	32.8	23.2	51.4	23.2	12.4	31.1	19.2	22.6	27.7	32.2	1.7	5.1	4.5
四日市圏域	304	42.1	22.0	60.2	21.1	13.8	25.3	16.4	19.1	25.0	37.5	3.0	6.6	0.3
鈴鹿圏域	208	29.8	18.3	53.8	15.9	10.6	27.9	16.8	19.2	37.5	34.1	1.4	6.3	2.9
津圏域	202	35.1	21.3	56.4	18.8	11.9	27.2	21.8	18.8	26.2	40.6	3.5	3.0	1.0
松阪圏域	206	25.7	18.0	58.3	17.0	11.2	26.7	18.4	21.4	20.9	32.0	2.4	7.3	1.5
伊勢圏域	233	27.5	14.6	54.1	12.4	9.9	31.3	16.3	21.9	28.8	39.9	3.9	6.0	2.1
伊賀圏域	139	33.1	18.7	49.6	19.4	10.8	35.3	20.9	22.3	23.7	38.1	3.6	7.9	2.2
尾鷲圏域	24	33.3	4.2	58.3	16.7	4.2	29.2	8.3	16.7	29.2	41.7	—	8.3	—
熊野圏域	34	8.8	5.9	32.4	2.9	8.8	26.5	8.8	11.8	26.5	26.5	5.9	11.8	8.8

問 15 過去3年間を振り返り、犯罪被害に遭わないためにどのようなことに気を付けていますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「車（バイク・自転車を含む）の鍵を確実にかける」の割合が76.1%と最も高く、次いで「暗がりや人気のない場所を避ける」の割合が47.7%、「外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど、周囲に注意を払う」の割合が31.6%となっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど、周囲に注意を払う」「暗がりや人気のない場所を避ける」の割合が高くなっています。

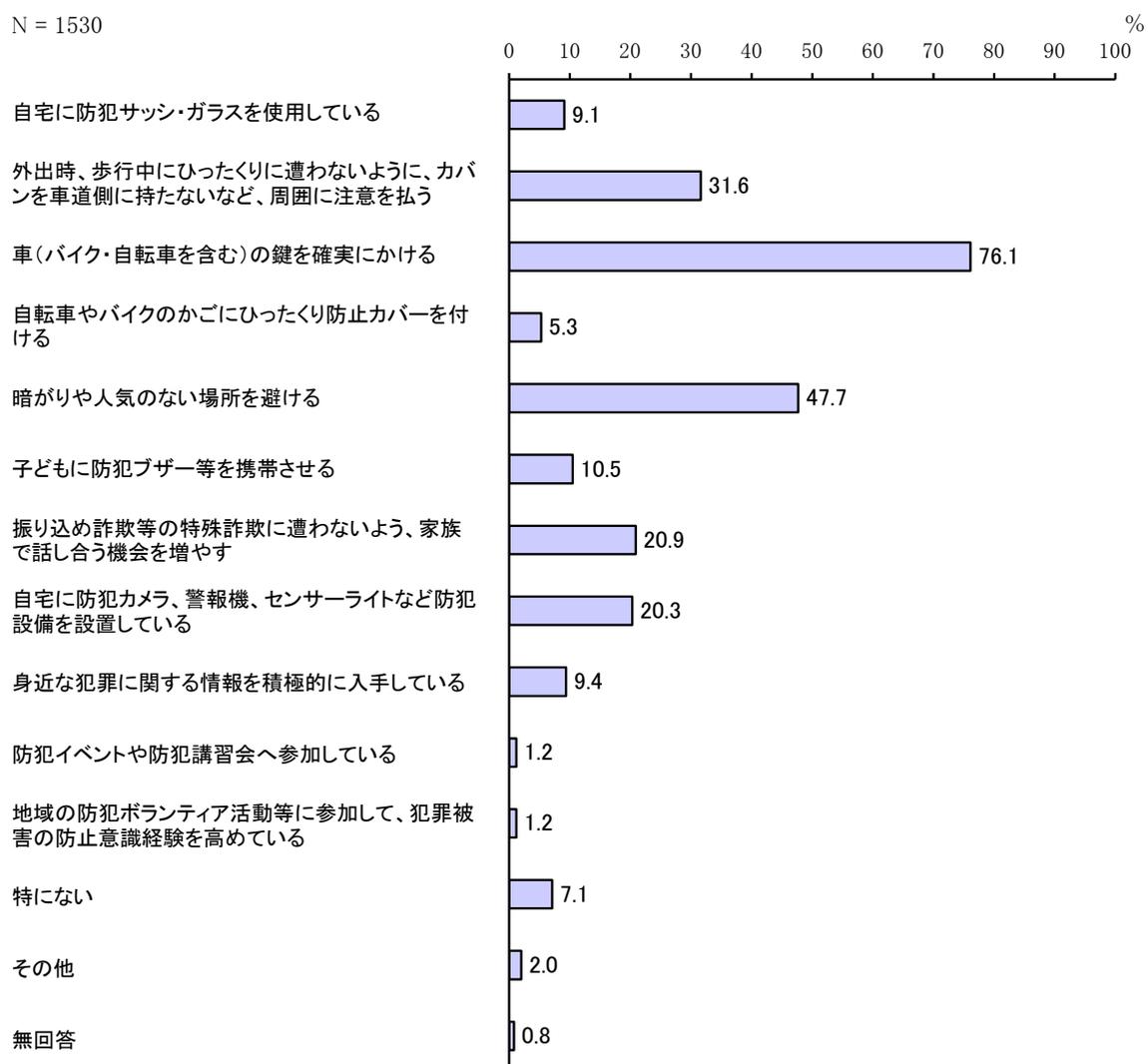
年代別でみると、年代が高くなるにつれ「自転車やバイクのかごにひったくり防止カバーを付ける」「振り込め詐欺等の特殊詐欺に遭わないよう、家族で話し合う機会を増やす」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、30～39歳、40～49歳で「子どもに防犯ブザー等を携帯させる」の割合が、30～39歳で「自宅に防犯サッシ・ガラスを使用している」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、四日市圏域で「車（バイク・自転車を含む）の鍵を確実にかける」の割合が、鈴鹿圏域で「外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど、周囲に注意を払う」の割合が高くなっています。

治安の評価別でみると、他に比べ、どちらともいえない（変わらない）で「振り込め詐欺等の特殊詐欺に遭わないよう、家族で話し合う機会を増やす」「身近な犯罪に関する情報を積極的に入手している」の割合が低くなっています。

防犯ボランティアへの参加別でみると、参加したことがない人に比べ参加したことがある人で「外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど、周囲に注意を払う」「車（バイク・自転車を含む）の鍵を確実にかける」「自転車やバイクのかごにひったくり防止カバーを付ける」「振り込め詐欺等の特殊詐欺に遭わないよう、家族で話し合う機会を増やす」「身近な犯罪に関する情報を積極的に入手している」「防犯イベントや防犯講習会へ参加している」「地域の防犯ボランティア活動等に参加して、犯罪被害の防止意識経験を高めている」の割合が高くなっています。また、参加していない人で「特になし」の割合が高くなっています。

N = 1530



【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	自宅に防犯サッシ・ガラスを使用している	外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど、周囲に注意を払う	車(バイク・自転車を含む)の鍵を確実にかける	自転車やバイクのかごにひったくり防止カバーを付ける	暗がりや人気のない場所を避ける	子どもに防犯ブザー等を携帯させる	振り込め詐欺等の特殊詐欺に遭わないよう、家族で話し合う機会を増やす
男性	666	8.4	19.7	76.7	4.8	33.3	10.5	20.9
女性	846	9.3	41.3	75.4	5.8	59.0	10.6	21.2

区分	自宅に防犯カメラ、警報機、センサーライトなど防犯設備を設置している	身近な犯罪に関する情報を積極的に入手している	防犯イベントや防犯講習会へ参加している	地域の防犯ボランティア活動等に参加して、犯罪被害の防止意識経験を高めている	特になし	その他	無回答
男性	21.8	10.1	1.5	1.7	9.8	2.1	0.6
女性	18.9	9.0	1.1	0.9	5.2	1.9	1.1

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	自宅に防犯サッシ・ガラスを使用している	外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど、周囲に注意を払う	車(バイク・自転車を含む)の鍵を確実にかける	自転車やバイクのかごにひったくり防止カバーを付ける	暗がりや人気のない場所を避ける	子どもに防犯ブザー等を携帯させる	振り込め詐欺等の特殊詐欺に遭わないよう、家族で話し合う機会を増やす
20～29 歳	308	5.2	24.7	72.4	3.2	45.5	1.9	10.1
30～39 歳	247	16.2	38.1	81.8	3.2	49.8	21.5	13.0
40～49 歳	280	10.0	24.6	77.1	3.6	46.8	19.6	21.4
50～59 歳	292	8.2	32.2	82.2	4.1	47.9	5.5	21.6
60～69 歳	264	8.0	36.4	75.4	6.8	45.1	5.3	29.5
70～79 歳	77	3.9	39.0	64.9	15.6	55.8	9.1	39.0
80 歳以上	56	8.9	42.9	51.8	19.6	51.8	12.5	44.6

区分	自宅に防犯カメラ、警報機、センサーライトなど防犯設備を設置している	身近な犯罪に関する情報を積極的に入手している	防犯イベントや防犯講習会へ参加している	地域の防犯ボランティア活動等に参加して、犯罪被害の防止意識を経験を高めている	特にない	その他	無回答
20～29 歳	16.2	4.2	—	0.6	11.7	1.9	0.3
30～39 歳	19.8	11.3	0.4	—	4.5	1.2	0.4
40～49 歳	23.6	10.4	0.7	0.4	5.7	2.5	1.8
50～59 歳	22.3	11.3	1.0	2.1	6.2	2.4	0.7
60～69 歳	23.5	10.6	1.9	1.9	8.7	1.1	0.8
70～79 歳	14.3	6.5	5.2	2.6	2.6	1.3	2.6
80 歳以上	10.7	14.3	7.1	5.4	5.4	5.4	—

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	自宅に防犯サッシ・ガラスを使用している	外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど、周囲に注意を払う	車（バイク・自転車を含む）の鍵を確実にかける	自転車やバイクのかごにひったくり防止カバーを付ける	暗がりや人気のない場所を避ける	子どもに防犯ブザー等を携帯させる	振り込め詐欺等の特殊詐欺に遭わないよう、家族で話し合う機会を増やす
桑名圏域	177	7.9	31.1	76.3	8.5	50.3	9.0	24.3
四日市圏域	304	11.5	33.2	81.6	4.6	54.3	9.5	17.4
鈴鹿圏域	208	12.0	39.4	73.1	8.7	48.1	9.1	26.4
津圏域	202	7.9	27.2	75.2	3.5	50.0	11.4	15.8
松阪圏域	206	4.9	29.6	74.3	6.3	42.7	10.2	24.8
伊勢圏域	233	9.0	28.8	76.8	4.3	39.9	15.0	19.3
伊賀圏域	139	10.1	35.3	74.8	1.4	49.6	7.9	22.3
尾鷲圏域	24	8.3	16.7	66.7	—	29.2	—	16.7
熊野圏域	34	2.9	26.5	73.5	2.9	47.1	14.7	17.6

区分	自宅に防犯カメラ、警報機、センサーライトなど防犯設備を設置している	身近な犯罪に関する情報を積極的に入手している	防犯イベントや防犯講習会へ参加している	地域の防犯ボランティア活動等に参加して、犯罪被害の防止意識を経験を高めている	特にない	その他	無回答
桑名圏域	18.1	8.5	2.3	1.7	5.6	3.4	1.7
四日市圏域	24.0	9.9	1.3	1.0	4.9	1.3	0.7
鈴鹿圏域	25.5	7.7	2.9	1.4	7.2	1.9	1.4
津圏域	19.3	7.9	—	—	7.9	2.5	—
松阪圏域	19.4	9.2	1.0	1.0	6.8	1.9	—
伊勢圏域	18.0	13.3	1.3	0.9	7.7	2.1	1.7
伊賀圏域	17.3	9.4	—	4.3	9.4	0.7	—
尾鷲圏域	12.5	4.2	—	—	16.7	—	—
熊野圏域	14.7	8.8	—	—	11.8	2.9	2.9

【治安の評価別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	自宅に防犯サッシ・ガラスを使用している	外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど、周囲に注意を払う	車（バイク・自転車を含む）の鍵を確実にかける	自転車やバイクのかごにひったくり防止カバーを付ける	暗がりや人気のない場所を避ける	子どもに防犯ブザー等を携帯させる	振り込め詐欺等の特殊詐欺に遭わないよう、家族で話し合う機会を増やす
良くなった	45	8.9	31.1	68.9	8.9	48.9	13.3	33.3
どちらかといえば良くなった	117	7.7	31.6	83.8	7.7	50.4	10.3	23.1
どちらともいえない(変わらない)	1102	9.0	30.5	75.6	4.7	46.3	9.6	18.8
どちらかといえば悪くなった	209	10.0	36.4	78.0	5.7	53.1	15.3	26.3
悪くなった	41	9.8	39.0	61.0	2.4	51.2	4.9	34.1

区分	自宅に防犯カメラ、警報機、センサーライトなど防犯設備を設置している	身近な犯罪に関する情報を積極的に入手している	防犯イベントや防犯講習会へ参加している	地域の防犯ボランティア活動等に参加して、犯罪被害の防止意識を高める	特になし	その他	無回答
良くなった	28.9	17.8	4.4	2.2	8.9	—	—
どちらかといえば良くなった	21.4	12.8	4.3	3.4	4.3	0.9	0.9
どちらともいえない(変わらない)	19.4	7.2	1.0	1.2	7.5	2.1	1.0
どちらかといえば悪くなった	23.0	15.3	0.5	0.5	5.7	2.9	0.5
悪くなった	19.5	17.1	—	—	9.8	—	—

【防犯ボランティアへの参加別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	自宅に防犯サッシ・ガラスを使用している	外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど、周囲に注意を払う	車（バイク・自転車を含む）の鍵を確実にかける	自転車やバイクのかごにひったくり防止カバーを付ける	暗がりや人気のない場所を避ける	子どもに防犯ブザー等を携帯させる	振り込め詐欺等の特殊詐欺に遭わないよう、家族で話し合う機会を増やす
参加したことがある	104	6.7	36.5	82.7	11.5	45.2	9.6	33.7
参加したことがない	1420	9.3	31.2	75.6	4.8	48.0	10.6	19.9

区分	自宅に防犯カメラ、警報機、センサーライトなど防犯設備を設置している	身近な犯罪に関する情報を積極的に入手している	防犯イベントや防犯講習会へ参加している	地域の防犯ボランティア活動等に参加して、犯罪被害の防止意識経験を高めている	特にない	その他	無回答
参加したことがある	23.1	20.2	8.7	11.5	1.0	1.9	—
参加したことがない	20.2	8.7	0.7	0.5	7.6	2.0	0.8

問 16 道路、公園、駐車場などに防犯カメラを設置することで、犯罪や迷惑行為が減少すると思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「強く思う」と「思う」をあわせた“思う”の割合が 85.8%、「あまり思わない」と「全く思わない」をあわせた“思わない”の割合が 13.6%となっています。

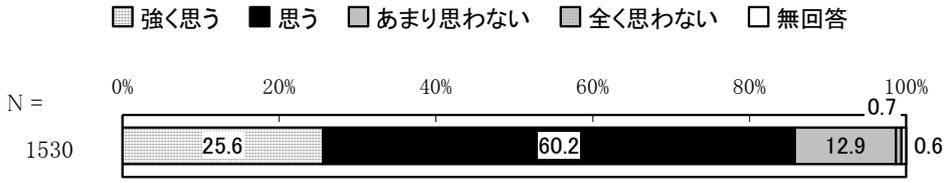
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～29歳で“思わない”の割合が高くなっています。

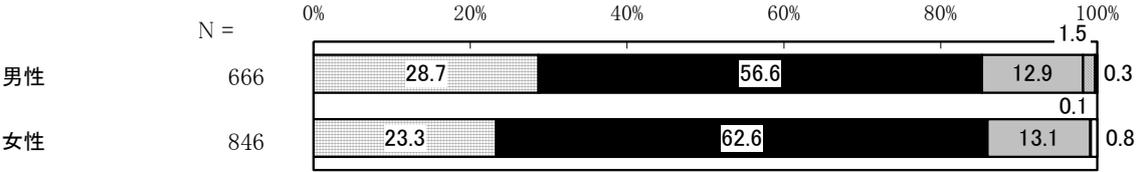
地域別でみると、大きな差異はみられません。

治安の評価別でみると、他に比べ、悪くなったで“思わない”の割合が高くなっています。

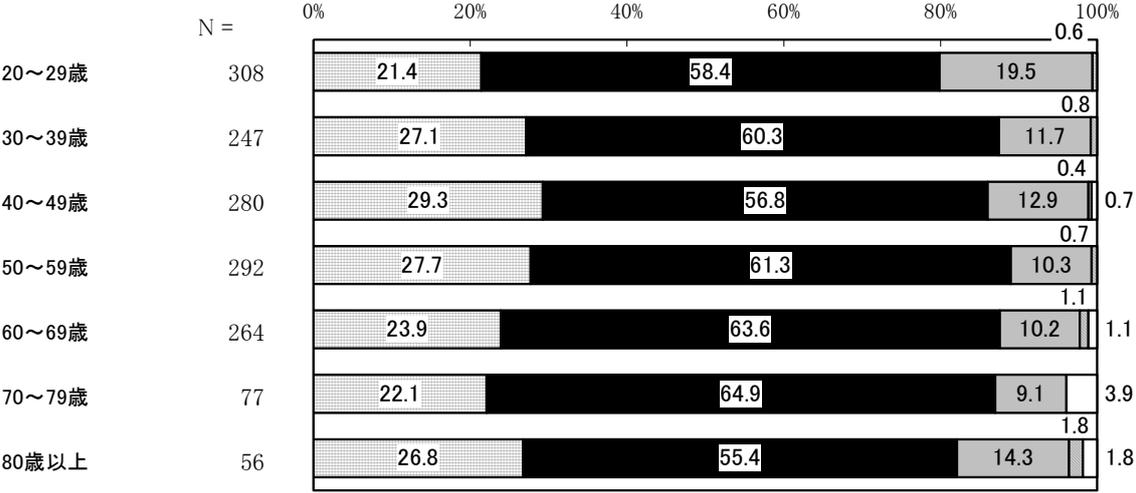
防犯ボランティアへの参加別でみると、大きな差異はみられません。



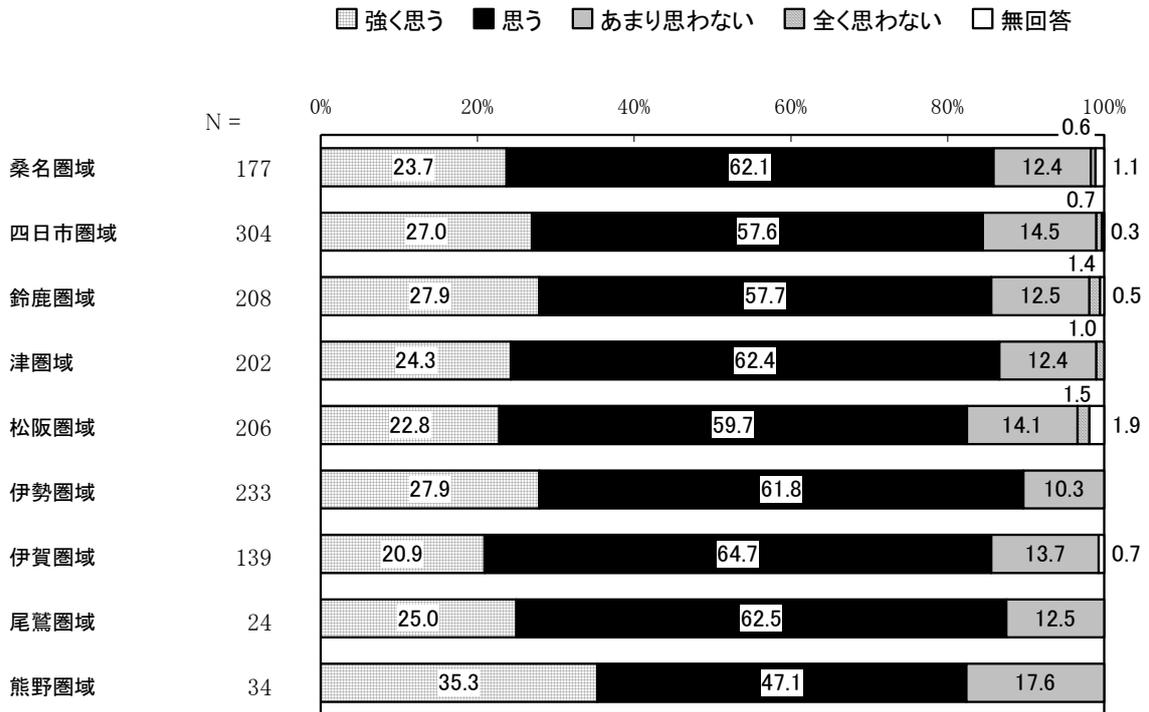
【性別】



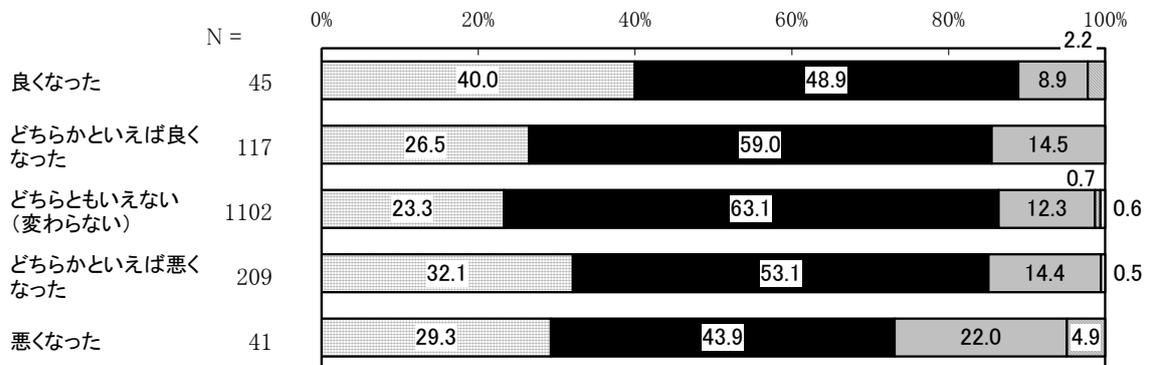
【年代別】



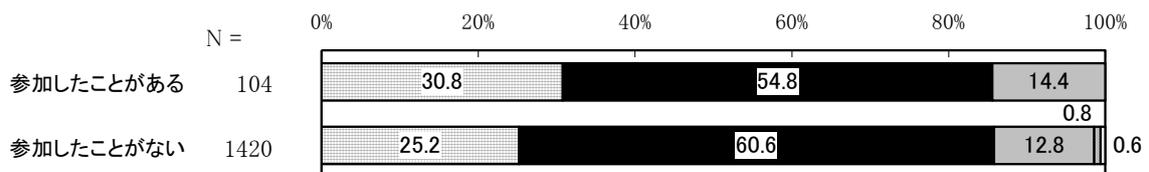
【地域別】



【治安の評価別】



【防犯ボランティアの参加別】



問 17 道路、公園、駐車場などに防犯カメラが設置されることで、犯罪に遭う不安が減ると思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「強く思う」と「思う」をあわせた“思う”の割合が78.5%、「あまり思わない」と「全く思わない」をあわせた“思わない”の割合が21.0%となっています。

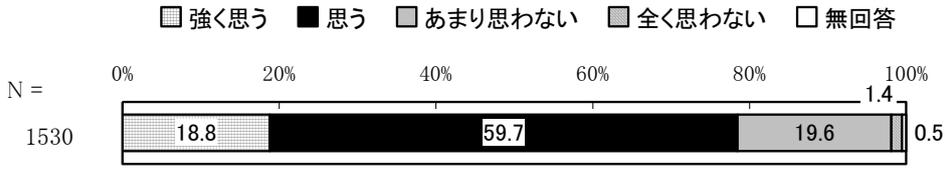
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、70～79歳で“思う”の割合が高くなっています。

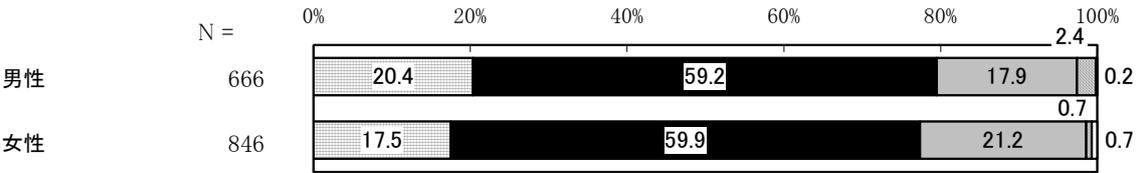
地域別でみると、他の地域に比べ、尾鷲圏域で“思う”の割合が高くなっています。

治安の評価別でみると、他に比べ、悪くなったで“思わない”の割合が高くなっています。

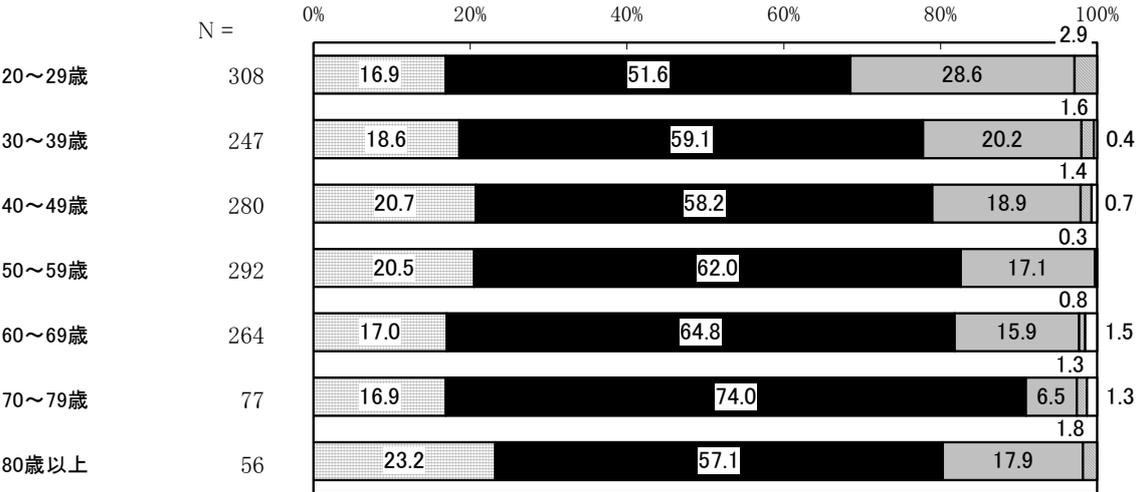
防犯ボランティアへの参加別でみると、大きな差異はみられません。



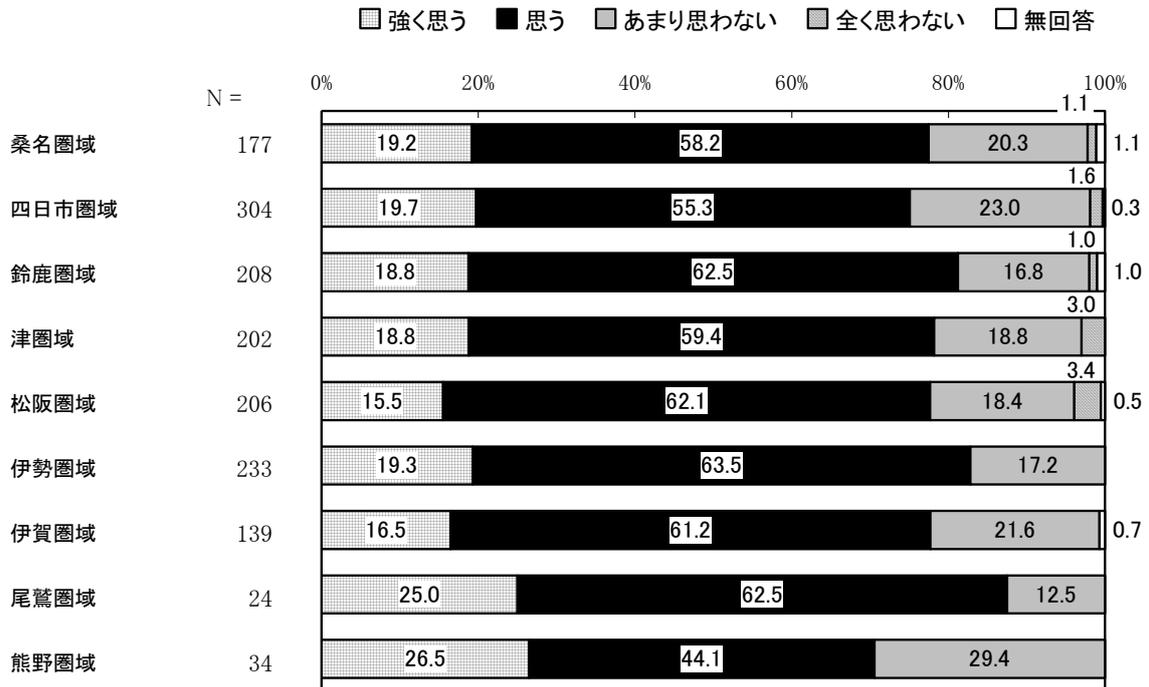
【性別】



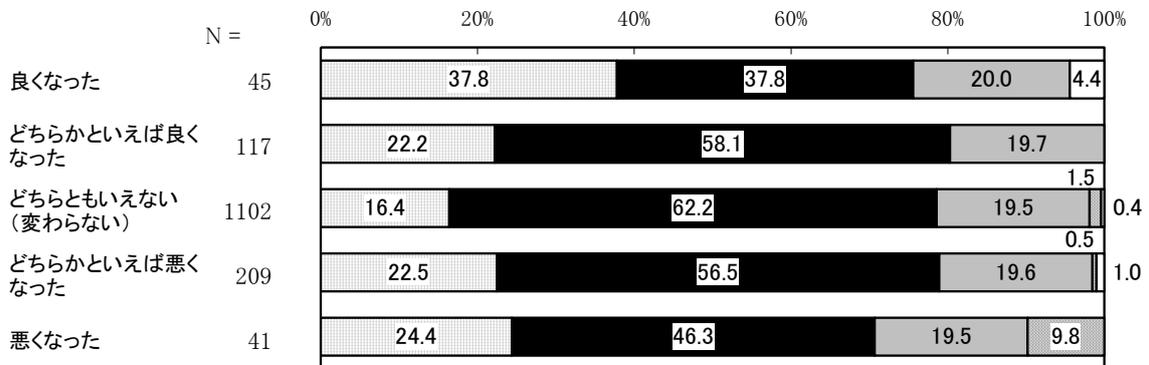
【年代別】



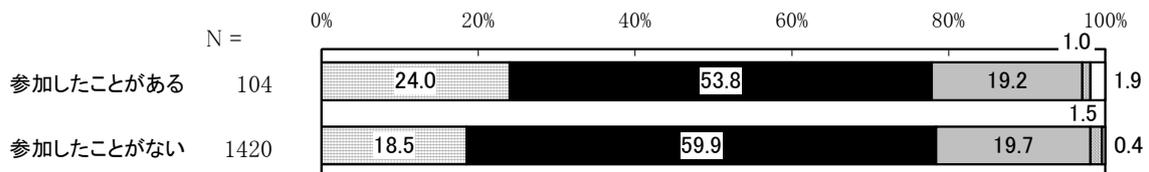
【地域別】



【治安の評価別】



【防犯ボランティアの参加別】



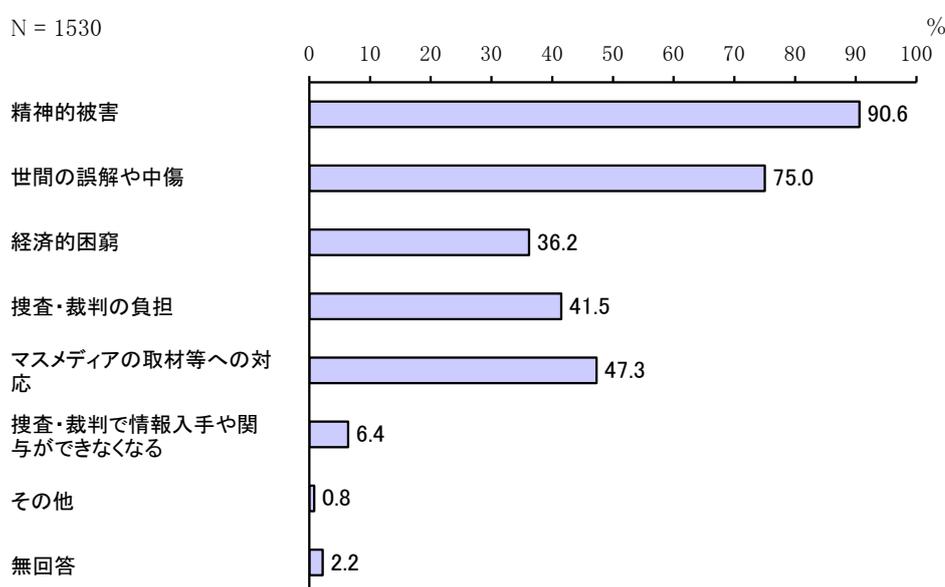
問 18 犯罪被害者やその家族（遺族）が、直接の被害の他に受けると思われる二次被害はどのようなものがあると思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

「精神的被害」の割合が90.6%と最も高く、次いで「世間の誤解や中傷」の割合が75.0%、「マスメディアの取材等への対応」の割合が47.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「精神的被害」「世間の誤解や中傷」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～39歳で「捜査・裁判の負担」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、尾鷲圏域で「捜査・裁判の負担」「経済的困窮」「マスメディアの取材等への対応」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	精神的被害	世間の誤解や中傷	経済的困窮	捜査・裁判の負担	マスメディアの取材等への対応	捜査・裁判で情報入手や関与ができなくなる	その他	無回答
男性	666	87.7	71.2	38.6	39.8	45.9	6.2	1.2	2.0
女性	846	92.7	78.6	34.4	42.7	48.6	6.6	0.4	2.4

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	精神的被害	世間の誤解や中傷	経済的困窮	捜査・裁判の負担	マスメディアの取材等への対応	捜査・裁判で情報入手や関与がでなくなる	その他	無回答
20～29 歳	308	92.5	72.1	31.8	40.6	50.6	6.5	0.3	1.0
30～39 歳	247	93.9	77.3	42.1	51.0	53.4	9.7	2.0	1.6
40～49 歳	280	93.9	76.8	40.0	45.7	46.4	4.6	0.4	1.1
50～59 歳	292	94.2	80.1	41.8	46.6	50.3	8.6	0.7	0.7
60～69 歳	264	83.7	77.7	33.3	37.1	48.5	5.7	0.8	3.4
70～79 歳	77	83.1	50.6	19.5	18.2	23.4	—	—	5.2
80 歳以上	56	73.2	64.3	19.6	8.9	17.9	—	1.8	14.3

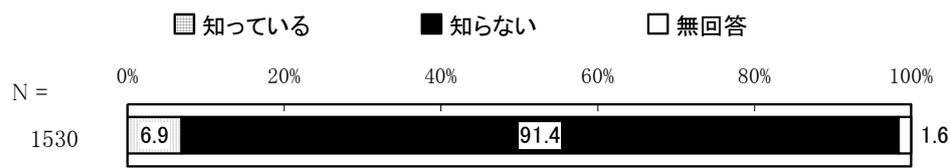
【地域別】

単位：％

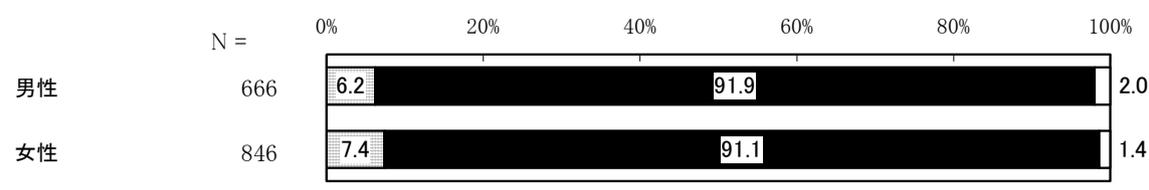
区分	有効回答数 (件)	精神的被害	世間の誤解や中傷	経済的困窮	捜査・裁判の負担	マスメディアの取材等への対応	捜査・裁判で情報入手や関与がでなくなる	その他	無回答
桑名圏域	177	87.0	75.1	33.3	40.1	49.2	4.0	—	3.4
四日市圏域	304	92.8	78.6	34.2	42.8	48.7	5.3	0.7	0.3
鈴鹿圏域	208	88.9	65.4	37.5	38.9	41.3	7.2	1.9	4.3
津圏域	202	92.1	77.7	37.6	46.5	54.5	5.4	1.5	1.5
松阪圏域	206	90.3	71.8	35.9	35.9	43.2	3.9	—	2.4
伊勢圏域	233	91.0	80.3	37.8	41.6	48.5	9.4	0.4	2.1
伊賀圏域	139	92.1	75.5	36.7	42.4	43.2	8.6	0.7	1.4
尾鷲圏域	24	91.7	79.2	45.8	58.3	62.5	12.5	—	—
熊野圏域	34	85.3	67.6	35.3	41.2	44.1	8.8	2.9	5.9

問 19 性犯罪や性暴力被害に遭われた方からの相談に応じて支援する「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」を三重県が設置していることを知っていますか。
 (どちらかあてはまる番号に○をつけてください。)

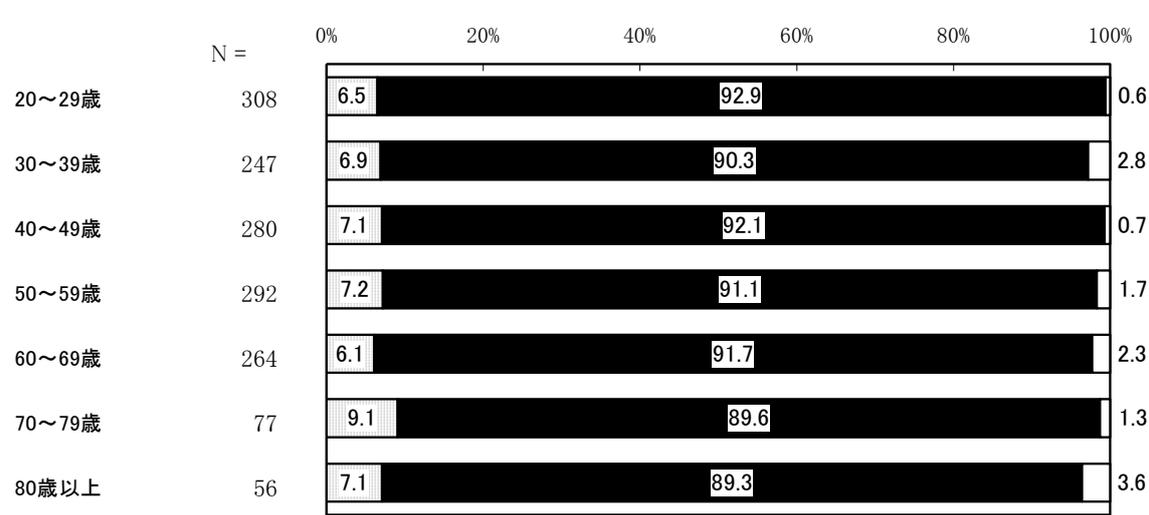
「知っている」の割合が 6.9%、「知らない」の割合が 91.4%となっています。
 性別でみると、大きな差異はみられません。
 年代別でみると、大きな差異はみられません。
 地域別でみると、他の地域に比べ、尾鷲圏域で「知っている」の割合が高くなっています。



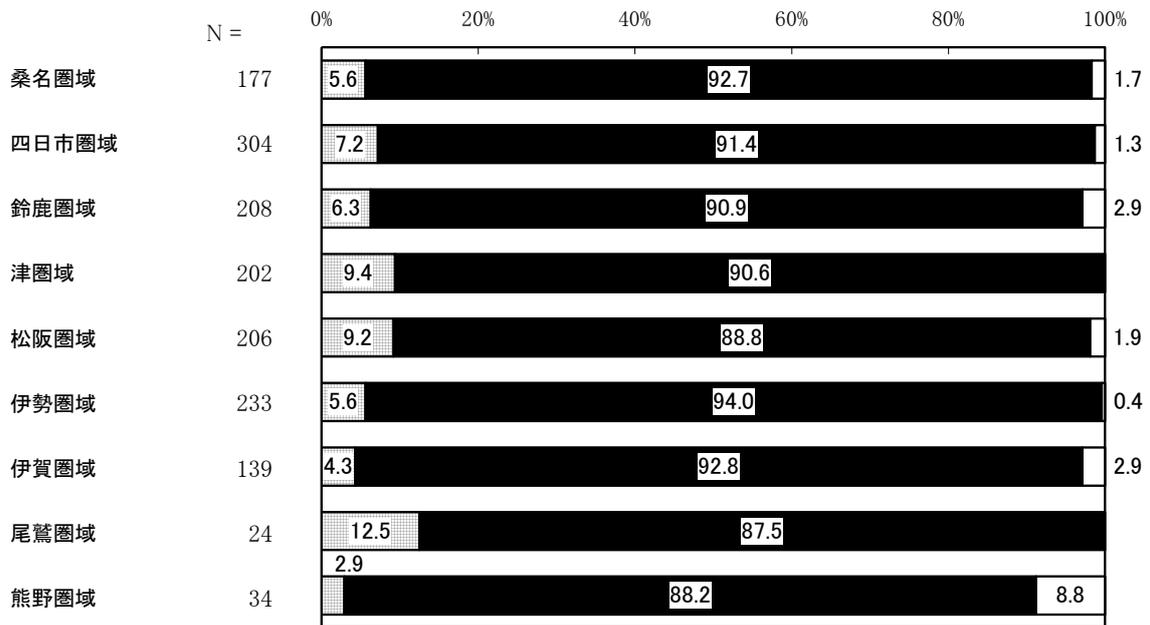
【性別】



【年代別】



【地域別】



(5) 交通安全について

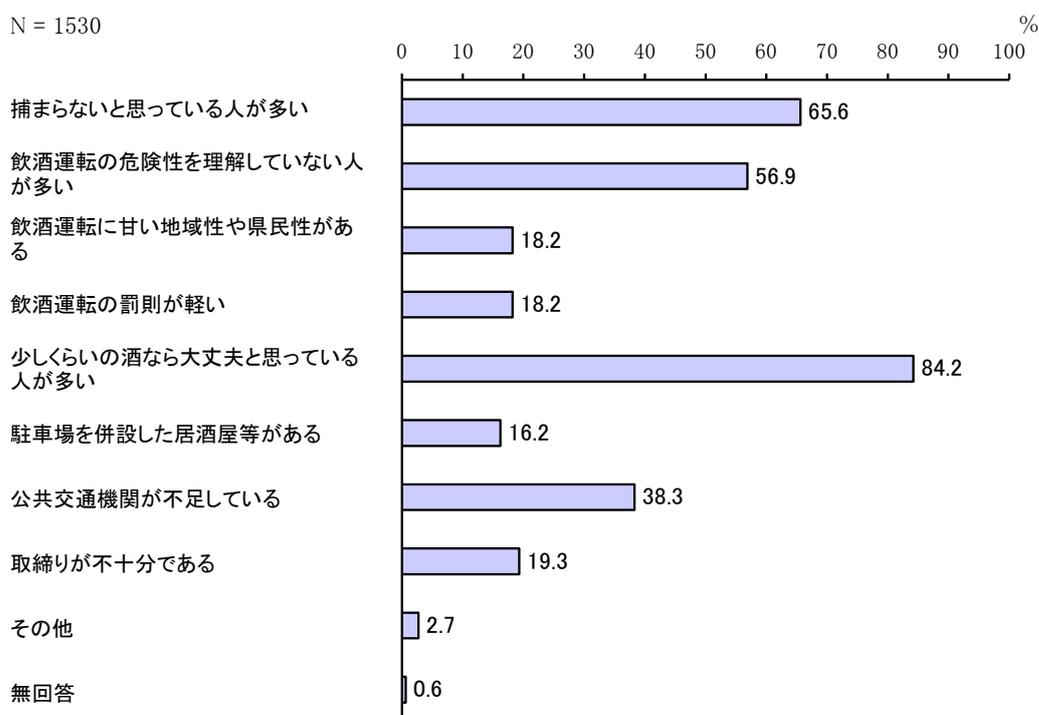
問 20 飲酒運転がなくならないのは何故だと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「少しくらいの酒なら大丈夫と思っている人が多い」の割合が 84.2%と最も高く、次いで「捕まらないと思っている人が多い」の割合が 65.6%、「飲酒運転の危険性を理解していない人が多い」の割合が 56.9%となっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「飲酒運転の危険性を理解していない人が多い」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～39歳で「公共交通機関が不足している」の割合が、80歳以上で「飲酒運転の罰則が軽い」の割合が、50～59歳で「駐車場を併設した居酒屋等がある」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、熊野圏域で「公共交通機関が不足している」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	捕まらないと思っている人が多い	飲酒運転の危険性を理解していない人が多い	飲酒運転に甘い地域性や県民性がある	飲酒運転の罰則が軽い	少しくらいの酒なら大丈夫と思っている人が多い	駐車場を併設した居酒屋等がある	公共交通機関が不足している	取締りが不十分である	その他	無回答
男性	666	63.4	53.8	15.9	17.9	81.7	18.0	36.2	21.2	3.2	0.3
女性	846	67.6	59.7	20.1	18.3	86.3	15.0	40.1	18.1	2.5	0.7

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	捕まらないと思っ ている人が多い	飲酒運転の危険性を理 解していない人が多い	飲酒運転に甘い地域性や 県民性がある	飲酒運転の罰則が軽い	少しくらいの酒なら大丈 夫と思っっている人が多い	駐車場を併設した居酒屋 等がある	公共交通機関が不足して いる	取締りが不十分である	その他	無回答
20～29 歳	308	68.2	57.5	12.0	13.0	84.7	8.8	41.6	14.0	2.3	0.3
30～39 歳	247	70.9	59.9	21.1	16.6	84.2	15.8	47.8	19.0	4.0	0.4
40～49 歳	280	68.9	51.4	17.9	18.2	83.2	16.8	42.5	18.2	3.6	0.4
50～59 歳	292	71.2	56.5	19.9	18.8	87.3	23.3	36.0	23.3	1.7	0.3
60～69 歳	264	56.8	59.5	23.1	20.8	85.6	19.3	33.3	21.6	2.7	0.8
70～79 歳	77	44.2	53.2	11.7	19.5	72.7	9.1	19.5	16.9	—	2.6
80 歳以上	56	55.4	58.9	21.4	33.9	80.4	16.1	19.6	25.0	5.4	1.8

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	捕まらないと思っ ている人が多い	飲酒運転の危険性を理 解していない人が多い	飲酒運転に甘い地域性や 県民性がある	飲酒運転の罰則が軽い	少しくらいの酒なら大丈 夫と思っっている人が多い	駐車場を併設した居酒屋 等がある	公共交通機関が不足して いる	取締りが不十分である	その他	無回答
桑名圏域	177	64.4	58.8	14.1	15.8	83.1	15.3	30.5	15.8	4.0	0.6
四日市圏域	304	65.1	54.9	15.1	18.1	85.2	22.0	31.3	16.8	3.3	0.3
鈴鹿圏域	208	64.9	55.3	19.2	18.8	76.9	18.8	36.5	24.5	2.9	1.0
津圏域	202	67.3	61.9	15.8	18.3	84.7	13.4	43.6	19.8	1.5	1.0
松阪圏域	206	63.6	53.9	23.3	22.3	85.4	11.7	38.8	18.0	3.4	0.5
伊勢圏域	233	64.8	55.4	21.5	18.9	85.8	12.0	44.6	20.2	3.0	0.4
伊賀圏域	139	69.8	58.3	19.4	15.8	89.9	21.6	41.7	20.9	1.4	—
尾鷲圏域	24	83.3	54.2	8.3	8.3	91.7	12.5	37.5	20.8	—	—
熊野圏域	34	58.8	67.6	20.6	14.7	73.5	5.9	58.8	17.6	—	2.9

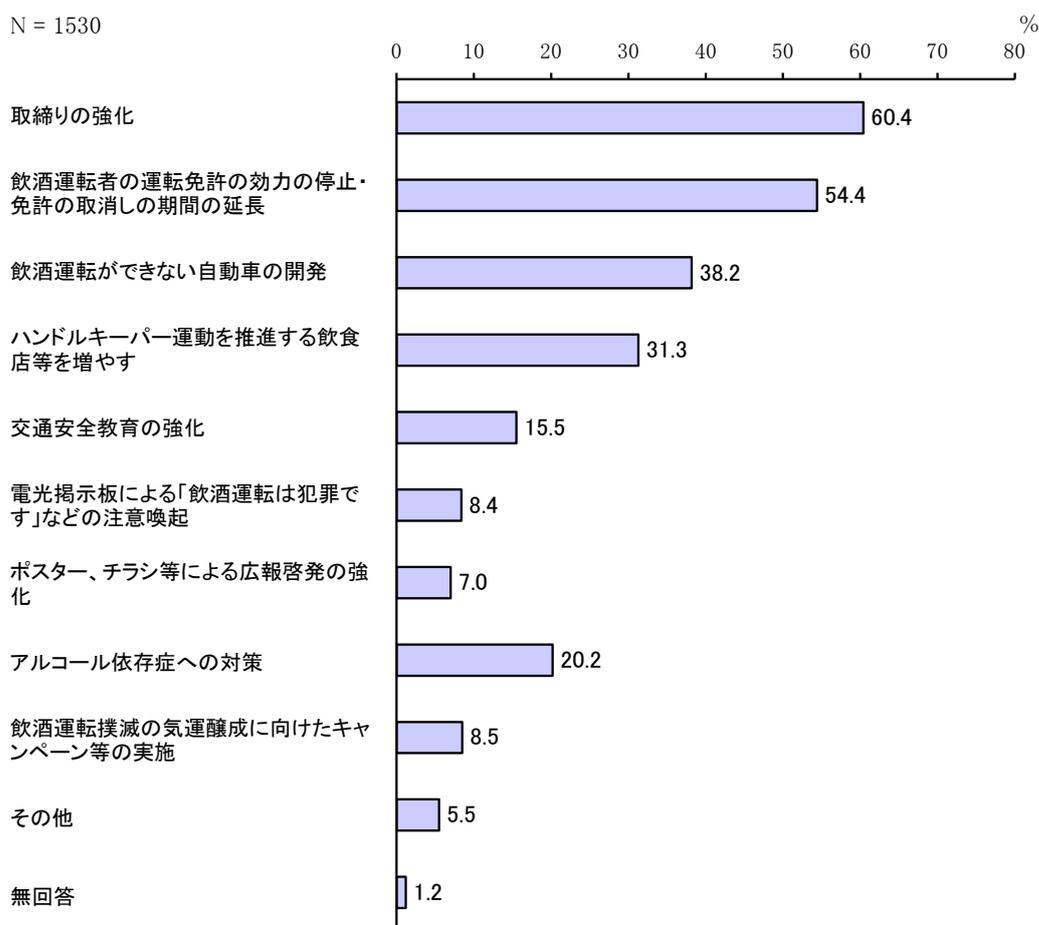
問 21 飲酒運転を根絶させるためには、どのような対策が必要だと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「取締りの強化」の割合が 60.4%と最も高く、次いで「飲酒運転者の運転免許の効力の停止・免許の取消しの期間の延長」の割合が 54.4%、「飲酒運転ができない自動車の開発」の割合が 38.2%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「飲酒運転ができない自動車の開発」の割合が高くなっています。また、女性で「飲酒運転者の運転免許の効力の停止・免許の取消しの期間の延長」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、80歳以上で「取締りの強化」「飲酒運転者の運転免許の効力の停止・免許の取消しの期間の延長」「ポスター、チラシ等による広報啓発の強化」の割合が高くなっています。また、20～29歳で「ハンドルキーパー運動を推進する飲食店等を増やす」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、津圏域、尾鷲圏域で「ハンドルキーパー運動を推進する飲食店等を増やす」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	取締りの強化	飲酒運転者の運転免許の効力の停止・免許の取消しの期間の延長	飲酒運転ができない自動車の開発	ハンドルキーパー運動を推進する飲食店等を増やす	交通安全教育の強化	電光掲示板による「飲酒運転は犯罪です」などの注意喚起	ポスター、チラシ等による広報啓発の強化	アルコール依存症への対策	飲酒運転撲滅の気運醸成に向けたキャンペーン等の実施	その他	無回答
男性	666	59.2	49.7	44.6	28.4	14.7	6.8	7.1	17.7	8.7	7.8	0.6
女性	846	61.5	58.4	33.2	33.1	15.8	9.7	7.0	22.1	8.4	3.7	1.7

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	取締りの強化	飲酒運転者の運転免許の効力の停止・免許の取消しの期間の延長	飲酒運転ができない自動車の開発	ハンドルキーパー運動を推進する飲食店等を増やす	交通安全教育の強化	電光掲示板による「飲酒運転は犯罪です」などの注意喚起	ポスター、チラシ等による広報啓発の強化	アルコール依存症への対策	飲酒運転撲滅の気運醸成に向けたキャンペーン等の実施	その他	無回答
20～29歳	308	52.6	47.7	32.1	39.3	15.3	6.2	4.9	21.1	6.8	5.8	1.0
30～39歳	247	65.6	57.9	36.0	33.2	16.6	6.9	7.7	21.5	10.5	4.9	0.4
40～49歳	280	63.2	57.1	41.1	27.9	10.7	6.4	5.7	13.2	5.0	6.1	1.1
50～59歳	292	64.4	58.2	43.2	31.8	13.7	10.6	7.2	17.5	10.3	6.5	—
60～69歳	264	56.4	50.0	41.3	29.5	17.4	8.7	6.8	23.9	9.5	5.7	3.0
70～79歳	77	55.8	53.2	35.1	16.9	27.3	15.6	7.8	28.6	10.4	1.3	3.9
80歳以上	56	73.2	62.5	32.1	19.6	19.6	12.5	17.9	28.6	10.7	3.6	—

【地域別】

単位：%

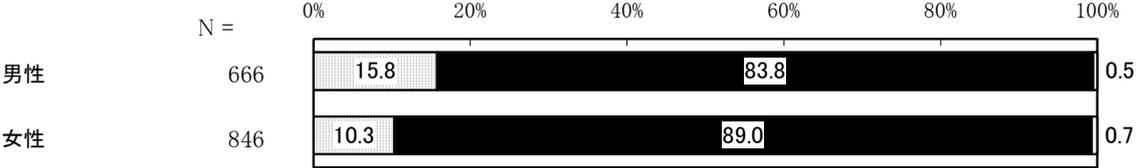
区分	有効回答数 (件)	取締りの強化	飲酒運転者の運転免許の効力の停止・免許の取消しの期間の延長	飲酒運転ができない自動車の開発	ハンドルキーパー運動を推進する飲食店等を増やす	交通安全教育の強化	電光掲示板による「飲酒運転は犯罪です」などの注意喚起	ポスター、チラシ等による広報啓発の強化	アルコール依存症への対策	飲酒運転撲滅の気運醸成に向けたキャンペーン等の実施	その他	無回答
桑名圏域	177	58.2	54.2	42.9	24.9	13.6	6.2	7.3	17.5	6.2	3.4	2.3
四日市圏域	304	55.9	54.9	36.5	33.2	14.5	5.3	6.3	17.4	6.6	5.3	1.0
鈴鹿圏域	208	62.0	54.8	39.4	31.7	14.9	9.1	7.2	21.2	9.1	5.8	2.4
津圏域	202	65.8	58.4	31.2	38.6	13.4	8.9	7.9	21.8	9.4	7.4	—
松阪圏域	206	65.0	53.9	41.7	24.3	16.5	9.7	6.8	24.8	9.7	4.4	0.5
伊勢圏域	233	55.8	51.1	38.6	34.8	16.7	12.0	6.9	19.3	10.3	4.7	0.9
伊賀圏域	139	64.0	54.7	39.6	28.8	20.9	8.6	7.2	19.4	10.1	7.9	0.7
尾鷲圏域	24	66.7	58.3	29.2	37.5	12.5	8.3	8.3	12.5	4.2	4.2	—
熊野圏域	34	52.9	52.9	41.2	29.4	17.6	5.9	2.9	32.4	5.9	8.8	2.9

問 22 平成25年7月に施行された「飲酒運転ゼロをめざす条例」について知っていますか。(どちらかあてはまる番号に○をつけてください。)

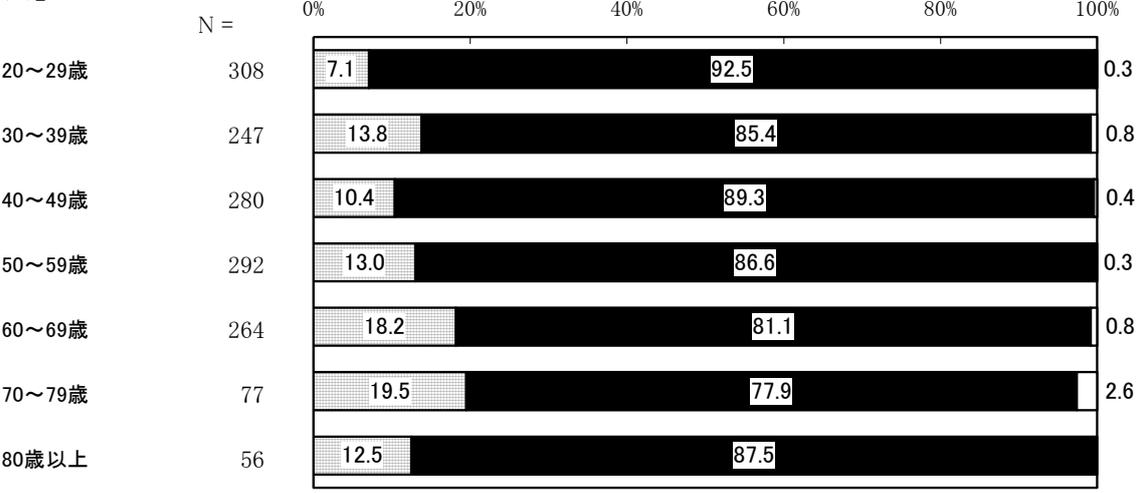
「知っている」の割合が12.7%、「知らない」の割合が86.7%となっています。
 性別でみると、女性に比べ男性で「知っている」の割合が高くなっています。
 年代別でみると、他の年代に比べ、60から79歳で「知っている」の割合が高くなっています。
 地域別でみると、他の地域に比べ、尾鷲圏域で「知っている」の割合が高くなっています。



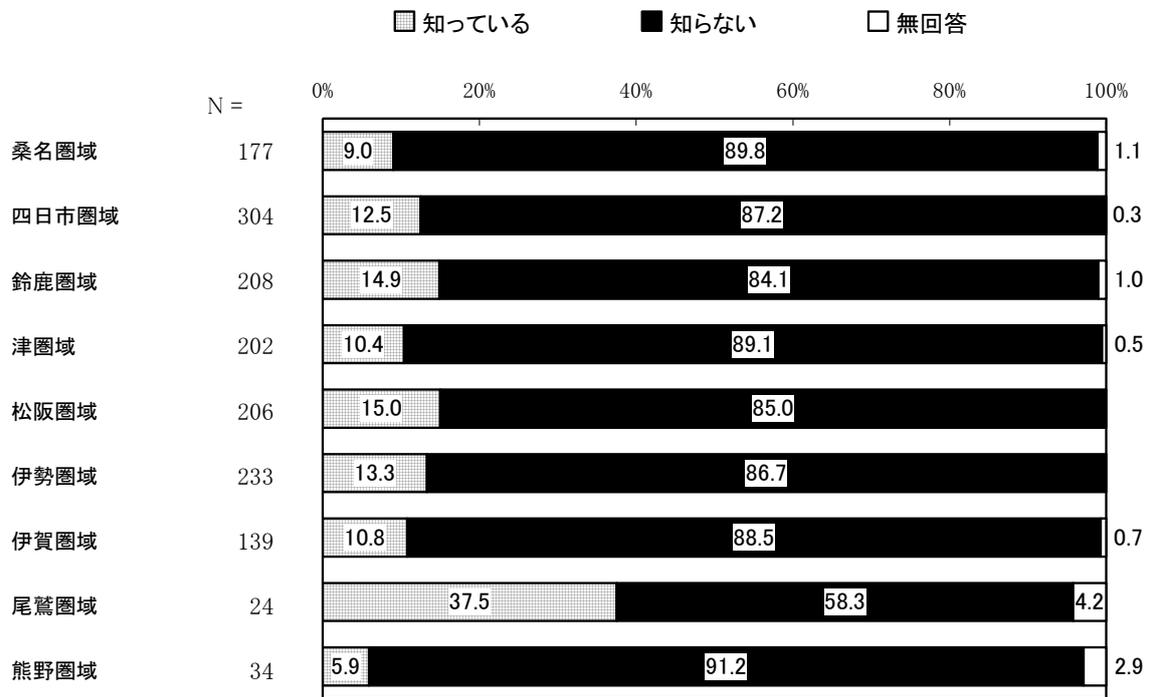
【性別】



【年代別】



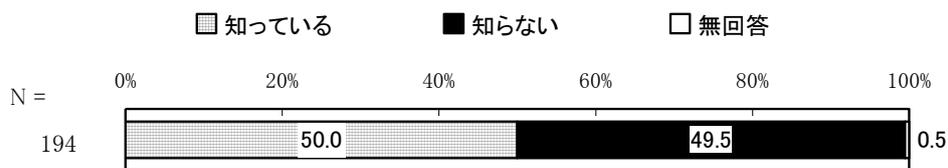
【地域別】



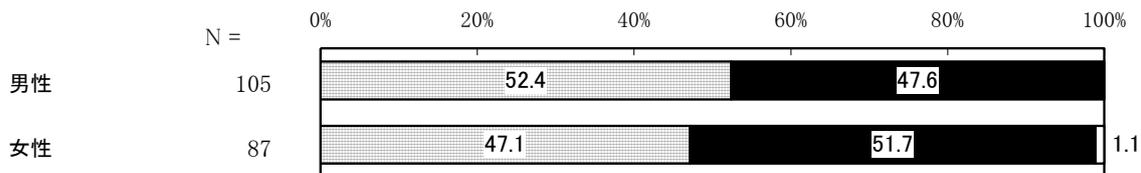
問 22 で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。

問 22-1 「飲酒運転ゼロ〇をめざす条例」により、飲酒運転で違反者となった場合、アルコール依存症に関する診断を受けなければならないことを知っていますか。
 (どちらかあてはまる番号に○をつけてください。)

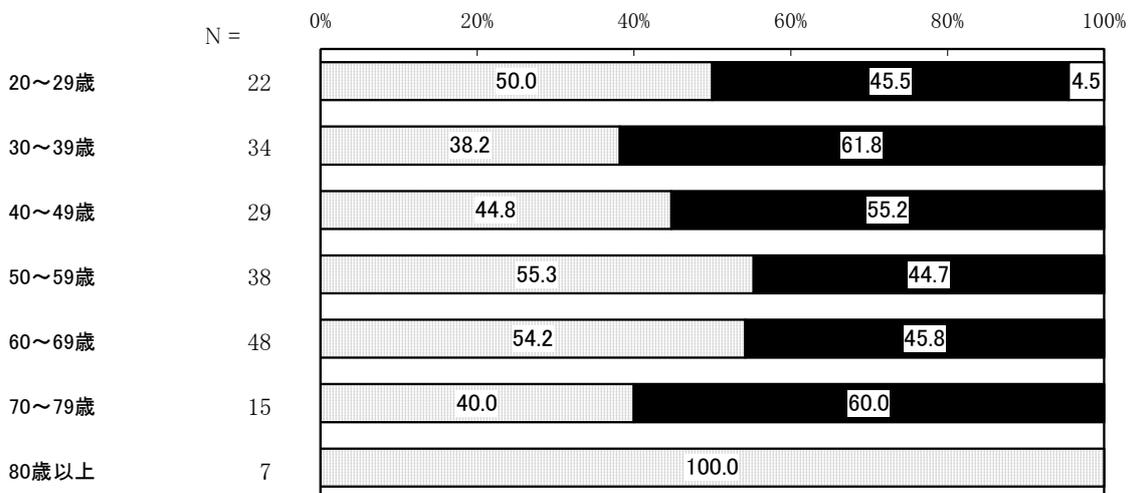
「知っている」の割合が 50.0%、「知らない」の割合が 49.5%となっています。
 性別でみると、女性に比べ男性で「知っている」の割合が高くなっています。
 年代別でみると、他の年代に比べ、50～59 歳、60～69 歳で「知っている」の割合が高くなっています。
 地域別でみると、他の地域に比べ、伊賀圏域で「知っている」の割合が高くなっています。



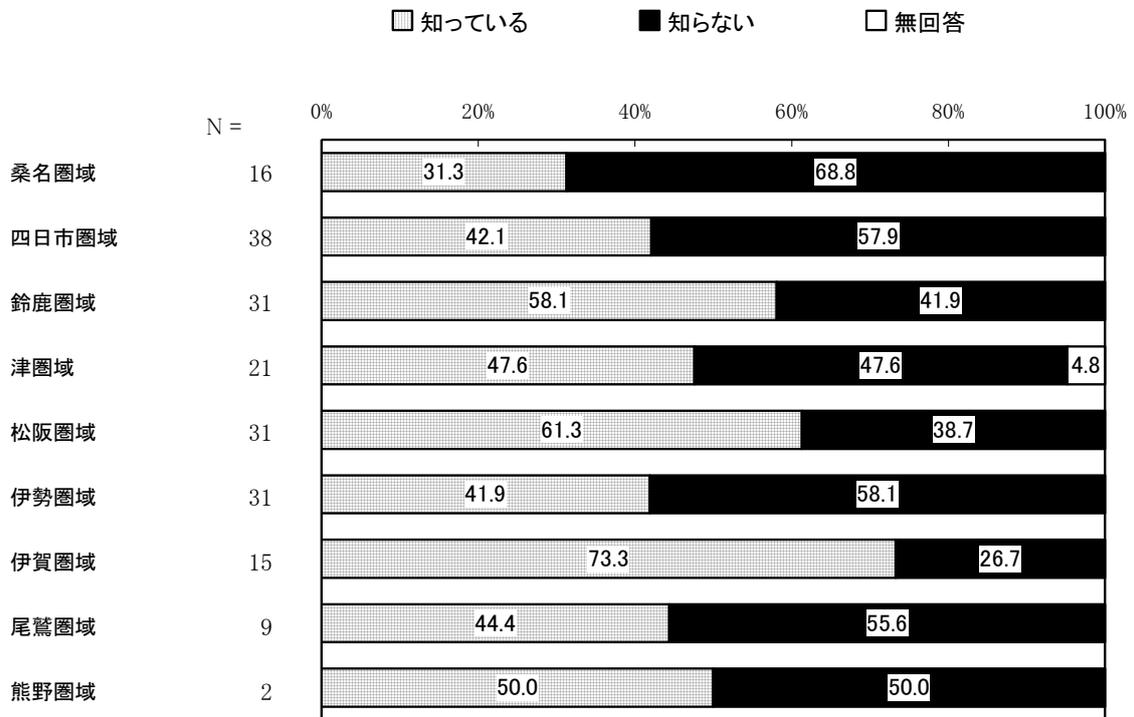
【性別】



【年代別】



【地域別】

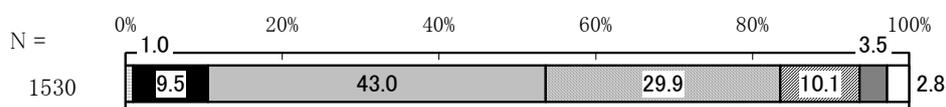
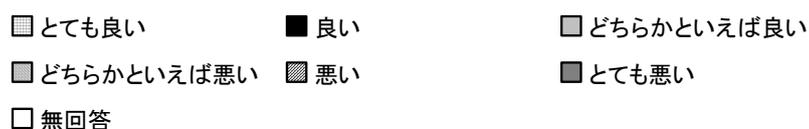


問 23 三重県内での交通ルールの遵守や自動車等の運転マナーについてどのように思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「とても良い」「良い」「どちらかといえば良い」をあわせた“良い”の割合が 53.5%、「どちらかといえば悪い」「悪い」「とても悪い」をあわせた“悪い”の割合が 43.5%となっています。性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳以上で年代が高くなるにつれ“良い”の割合が高くなっています。

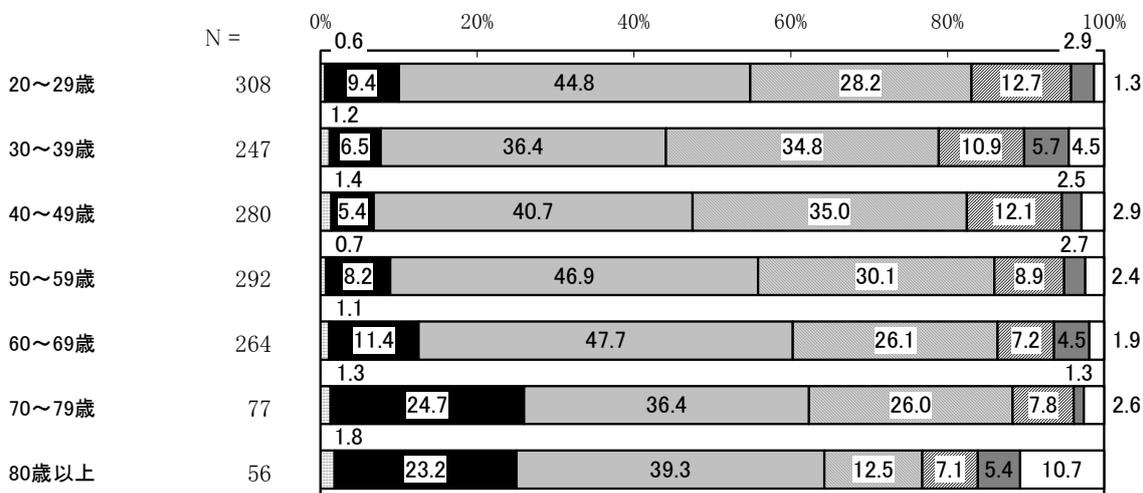
地域別でみると、他の地域に比べ、桑名圏域、熊野圏域で“良い”の割合が高くなっています。



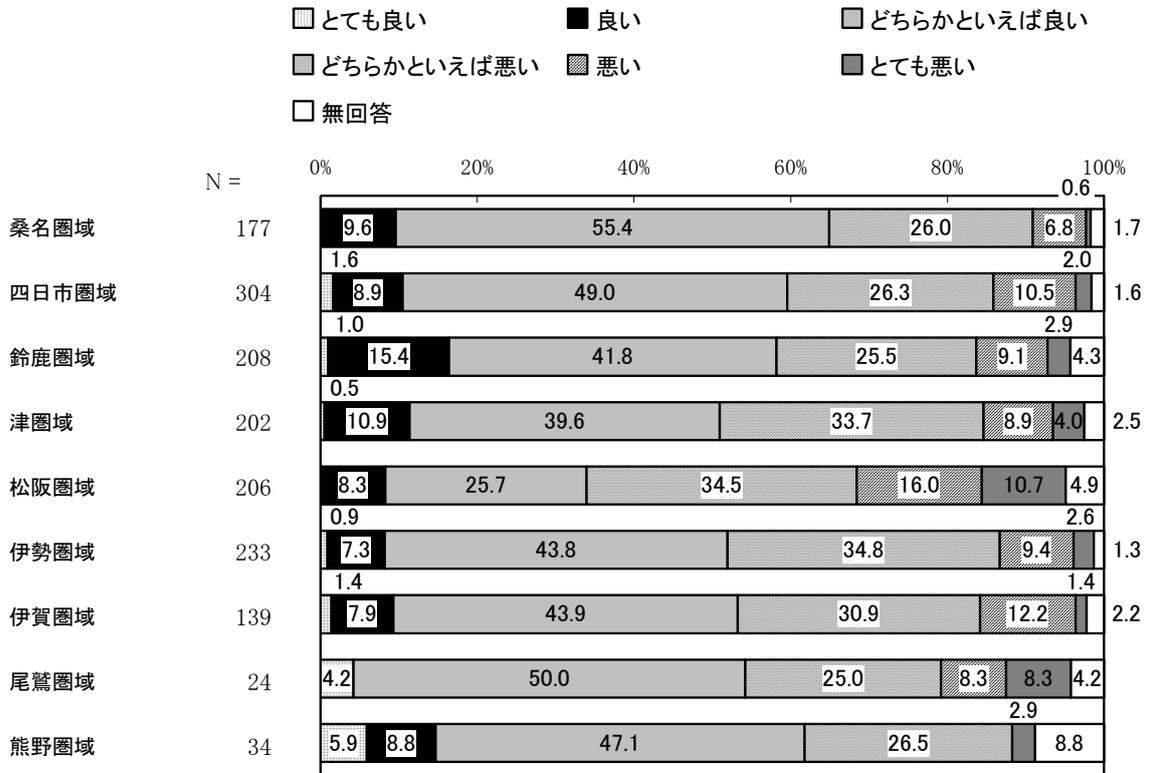
【性別】



【年代別】



【地域別】



問 23 で「4. どちらかといえば悪い」「5. 悪い」「6. とても悪い」に○をつけた方におたずねします。

問 23-1 どのような点でそう思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

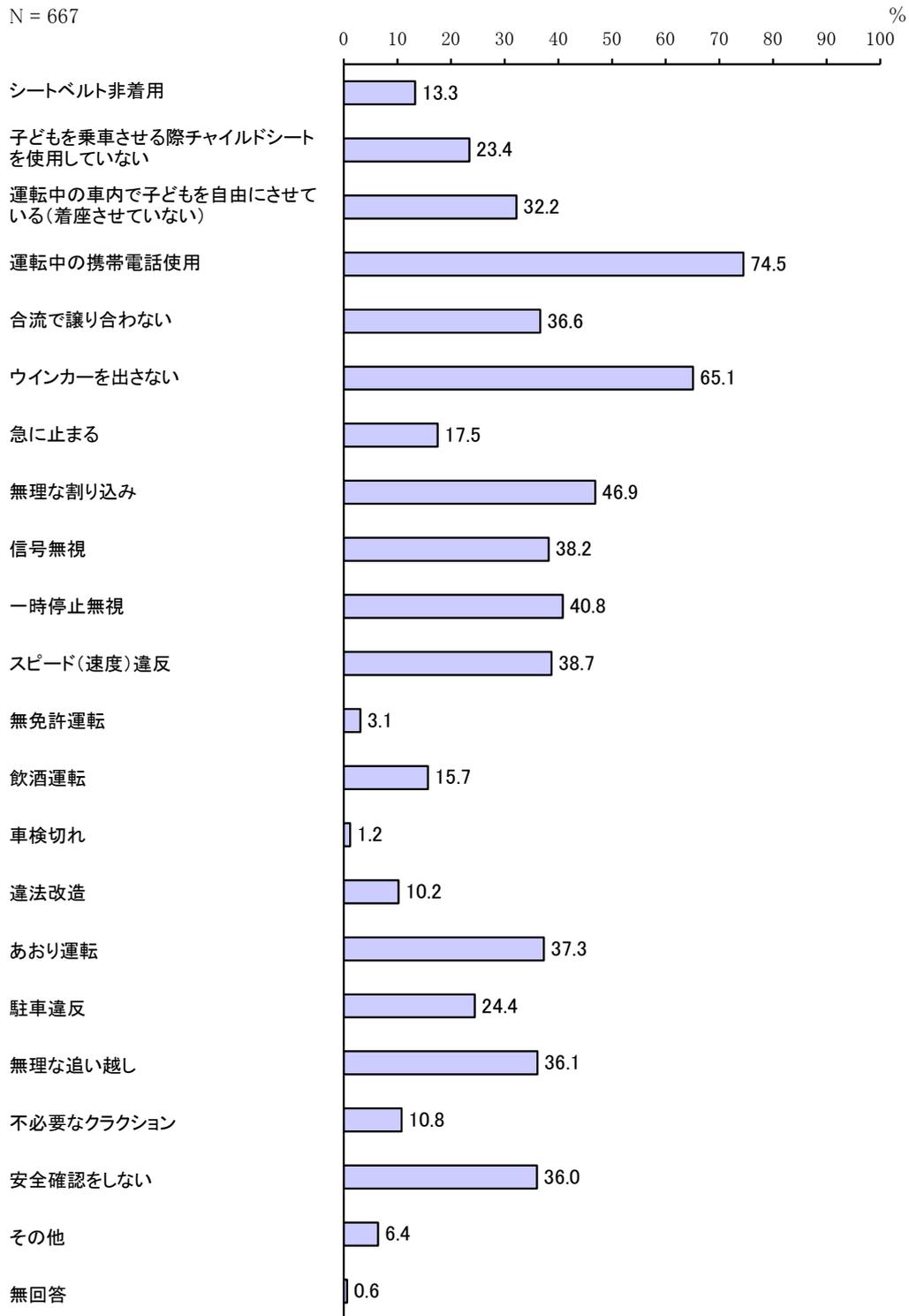
「運転中の携帯電話使用」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「ウインカーを出さない」の割合が 65.1%、「無理な割り込み」の割合が 46.9%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「合流で譲り合わない」「信号無視」「一時停止無視」の割合が高くなっています。また、女性で「子どもを乗車させる際チャイルドシートを使用していない」「運転中の携帯電話使用」「駐車違反」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～59 歳、60～69 歳、70～79 歳で「運転中の携帯電話使用」の割合が、80 歳以上で「信号無視」「一時停止無視」の割合が、20～29 歳で「無理な割り込み」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、津圏域で「無理な割り込み」「あおり運転」「不必要なクラクション」の割合が高くなっています。

N = 667



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	シートベルト非着用	子どもを乗車させる際チャイルドシートを使用していない	(着座させていない)	運転中の車内で子どもを自由にさせている	運転中の携帯電話使用	合流で譲り合わない	ウインカーを出さない	急に止まる	無理な割り込み	信号無視	一時停止無視	スピード(速度)違反
男性	309	14.9	19.7	30.1	71.8	39.8	66.0	19.7	49.2	44.3	47.2	38.5	
女性	355	12.1	26.5	34.4	76.9	34.1	64.5	15.8	45.1	33.2	35.2	38.9	

区分	無免許運転	飲酒運転	車検切れ	違法改造	あおり運転	駐車違反	無理な追い越し	不必要なクラクション	安全確認をしない	その他	無回答
男性	3.2	16.2	1.9	12.6	38.5	20.7	35.6	12.3	38.2	7.4	—
女性	3.1	15.5	0.6	8.2	36.1	27.6	36.6	9.6	34.4	5.6	1.1

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	シートベルト非着用	子どもを乗車させる際チャイルドシートを使用していない	(着座させていない)	運転中の車内で子どもを自由にさせている	運転中の携帯電話使用	合流で譲り合わない	ウインカーを出さない	急に止まる	無理な割り込み	信号無視	一時停止無視	スピード(速度)違反
20～29歳	135	17.0	11.1	21.5	63.7	33.3	67.4	18.5	57.0	40.7	36.3	43.0	
30～39歳	127	11.8	28.3	35.4	67.7	47.2	59.8	18.1	52.8	38.6	42.5	42.5	
40～49歳	139	8.6	25.9	38.1	71.2	33.1	66.2	16.5	42.4	30.9	40.3	31.7	
50～59歳	122	13.1	27.0	36.1	83.6	37.7	70.5	17.2	39.3	41.0	46.7	42.6	
60～69歳	100	14.0	28.0	35.0	87.0	35.0	68.0	20.0	44.0	43.0	42.0	35.0	
70～79歳	27	18.5	18.5	25.9	85.2	25.9	48.1	11.1	37.0	14.8	18.5	25.9	
80歳以上	14	21.4	14.3	7.1	78.6	28.6	42.9	7.1	50.0	64.3	57.1	42.9	

区分	無免許運転	飲酒運転	車検切れ	違法改造	あおり運転	駐車違反	無理な追い越し	不必要なクラクション	安全確認をしない	その他	無回答
20～29歳	2.2	14.8	—	12.6	50.4	20.7	43.7	14.8	34.1	5.9	—
30～39歳	4.7	15.7	4.7	13.4	50.4	26.8	46.5	15.0	32.3	7.9	—
40～49歳	3.6	12.9	0.7	8.6	33.8	23.7	29.5	5.8	37.4	7.2	0.7
50～59歳	1.6	20.5	—	9.0	28.7	22.1	31.1	9.8	36.1	5.7	—
60～69歳	5.0	18.0	1.0	8.0	29.0	30.0	29.0	11.0	46.0	5.0	—
70～79歳	—	3.7	—	—	11.1	18.5	37.0	—	11.1	3.7	3.7
80歳以上	—	21.4	—	21.4	21.4	35.7	35.7	14.3	42.9	7.1	14.3

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	シートベルト非着用	子どもを乗車させる際チャイルドシートを使用していない	(着座させていない)	運転中の車内で子どもを自由にさせている	運転中の携帯電話使用	合流で譲り合わない	ウインカーを出さない	急に止まる	無理な割り込み	信号無視	一時停止無視	スピード(速度)違反
桑名圏域	59	13.6	22.0	30.5	71.2	40.7	76.3	18.6	52.5	37.3	44.1	39.0	
四日市圏域	118	10.2	16.9	33.1	72.0	35.6	56.8	13.6	44.1	33.1	42.4	39.0	
鈴鹿圏域	78	10.3	24.4	37.2	73.1	42.3	59.0	16.7	46.2	41.0	33.3	34.6	
津圏域	94	12.8	27.7	35.1	80.9	42.6	71.3	19.1	57.4	39.4	40.4	40.4	
松阪圏域	126	13.5	22.2	29.4	77.8	33.3	60.3	16.7	51.6	45.2	46.0	42.9	
伊勢圏域	109	17.4	26.6	33.0	72.5	28.4	71.6	16.5	39.4	36.7	36.7	36.7	
伊賀圏域	62	17.7	24.2	24.2	75.8	40.3	69.4	21.0	41.9	38.7	45.2	41.9	
尾鷲圏域	10	20.0	40.0	50.0	60.0	40.0	50.0	40.0	30.0	30.0	20.0	30.0	
熊野圏域	10	—	20.0	20.0	60.0	30.0	60.0	30.0	30.0	10.0	30.0	10.0	

区分	無免許運転	飲酒運転	車検切れ	違法改造	あり運転	駐車違反	無理な追い越し	不必要なクラクション	安全確認をしない	その他	無回答
桑名圏域	—	15.3	—	11.9	44.1	16.9	44.1	11.9	40.7	3.4	—
四日市圏域	1.7	16.9	0.8	10.2	34.7	28.0	28.8	11.9	39.8	3.4	—
鈴鹿圏域	2.6	11.5	2.6	9.0	33.3	19.2	30.8	10.3	25.6	7.7	2.6
津圏域	4.3	14.9	—	9.6	47.9	29.8	37.2	19.1	33.0	7.4	—
松阪圏域	5.6	17.5	4.0	8.7	38.1	19.8	44.4	7.9	31.0	4.8	0.8
伊勢圏域	4.6	18.3	—	9.2	29.4	21.1	34.9	6.4	37.6	9.2	0.9
伊賀圏域	—	16.1	—	12.9	37.1	33.9	33.9	11.3	48.4	8.1	—
尾鷲圏域	10.0	10.0	—	30.0	40.0	50.0	30.0	10.0	40.0	—	—
熊野圏域	—	—	—	10.0	40.0	20.0	40.0	—	40.0	30.0	—

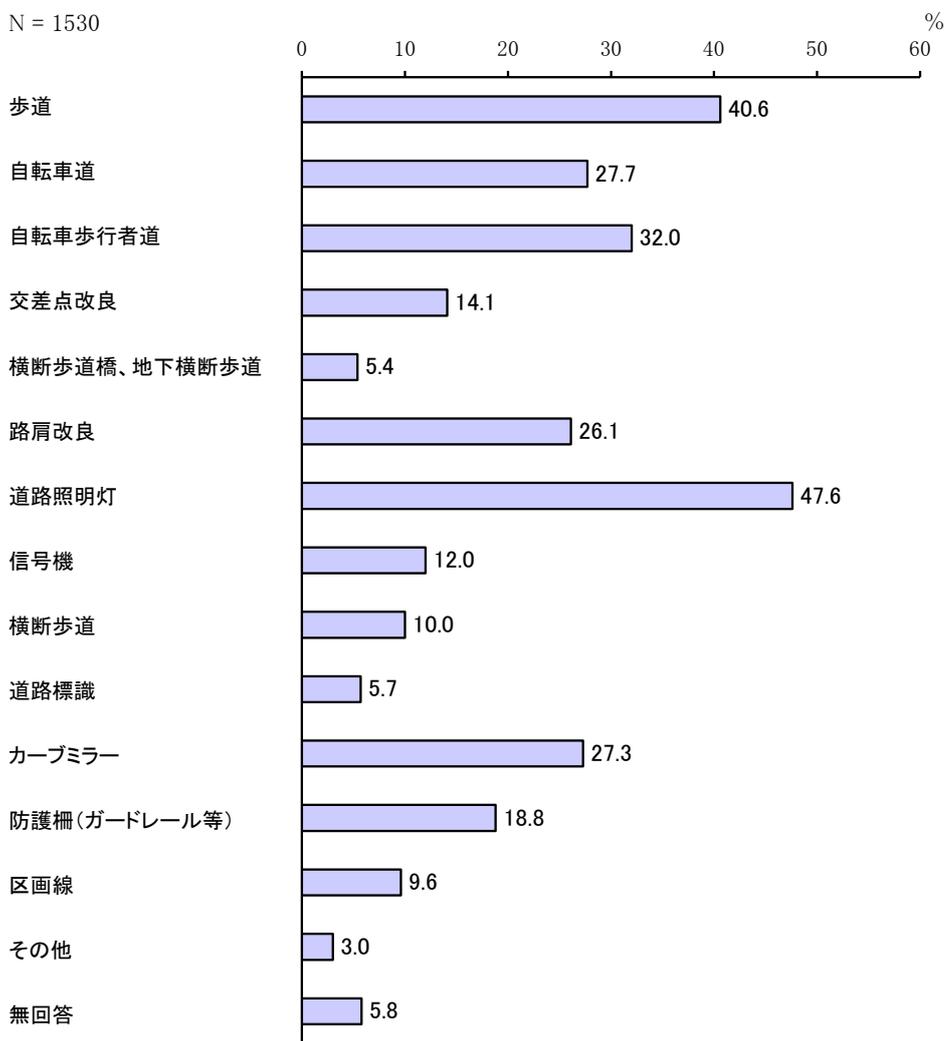
問 24 道路における交通安全施設の整備に関し、あなたの住む地域で必要と思われるものはどれですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「道路照明灯」の割合が47.6%と最も高く、次いで「歩道」の割合が40.6%、「自転車歩行者道」の割合が32.0%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「歩道」「交差点改良」「路肩改良」の割合が高くなっています。また、女性で「道路照明灯」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～29歳、30～39歳、50～59歳で「道路照明灯」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、尾鷲圏域で「歩道」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	歩道	自転車道	自転車歩行者道	交差点改良	横断歩道橋、地下横断歩道	路肩改良	道路照明灯	信号機	横断歩道	道路標識	カーブミラー	防護柵(ガードレール等)	区画線	その他	無回答
男性	666	44.3	29.4	29.7	17.0	5.3	29.3	42.5	14.3	10.2	6.8	26.9	18.3	12.2	3.8	3.8
女性	846	38.1	26.2	33.2	11.9	5.7	23.8	51.8	10.5	9.9	4.8	27.7	19.5	7.7	2.5	7.2

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	歩道	自転車道	自転車歩行者道	交差点改良	横断歩道橋、地下横断歩道	路肩改良	道路照明灯	信号機	横断歩道	道路標識	カーブミラー	防護柵(ガードレール等)	区画線	その他	無回答
20～29歳	308	40.3	28.9	30.2	17.5	6.8	23.1	53.2	13.3	10.7	3.9	26.9	17.2	9.4	2.6	3.6
30～39歳	247	46.2	25.9	32.8	14.2	7.7	25.1	53.0	13.8	14.6	4.0	33.2	26.3	10.1	2.0	4.9
40～49歳	280	43.6	28.2	32.5	13.9	5.7	26.4	43.6	9.6	8.9	6.1	27.1	16.4	10.4	3.2	3.2
50～59歳	292	39.7	28.4	31.2	15.4	2.4	33.2	53.8	12.3	6.5	6.5	27.7	21.2	8.9	2.4	4.8
60～69歳	264	35.6	30.3	32.6	9.8	4.9	25.8	43.2	10.6	8.7	5.3	24.6	16.3	9.8	5.7	7.6
70～79歳	77	35.1	26.0	36.4	9.1	7.8	18.2	29.9	9.1	13.0	10.4	16.9	9.1	7.8	—	16.9
80歳以上	56	37.5	14.3	32.1	12.5	1.8	23.2	25.0	17.9	10.7	12.5	26.8	19.6	8.9	3.6	14.3

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	歩道	自転車道	自転車歩行者道	交差点改良	横断歩道橋、地下横断歩道	路肩改良	道路照明灯	信号機	横断歩道	道路標識	カーブミラー	防護柵(ガードレール等)	区画線	その他	無回答
桑名圏域	177	29.4	25.4	32.2	15.8	10.2	24.3	50.3	13.0	9.0	7.9	29.9	20.9	9.6	2.3	7.9
四日市圏域	304	39.1	33.2	30.6	15.1	4.3	24.7	46.4	13.5	9.5	4.6	28.0	17.8	7.9	3.6	3.6
鈴鹿圏域	208	44.2	30.8	38.9	15.4	3.4	24.5	42.8	7.7	9.6	6.3	25.0	19.2	8.2	3.8	9.6
津圏域	202	41.6	26.2	29.7	16.8	6.4	28.2	48.0	10.4	13.4	6.4	25.7	23.8	10.9	3.5	4.5
松阪圏域	206	42.7	23.3	32.0	11.7	6.3	26.2	39.8	11.7	8.3	5.3	26.7	17.5	8.7	2.9	6.3
伊勢圏域	233	42.5	25.8	36.1	10.7	4.3	28.8	52.8	15.0	10.3	3.9	29.2	16.3	13.3	2.6	5.2
伊賀圏域	139	42.4	28.1	25.2	16.5	5.8	28.8	53.2	13.7	10.8	7.2	28.1	18.0	7.2	2.9	4.3
尾鷲圏域	24	62.5	33.3	16.7	16.7	—	20.8	50.0	4.2	4.2	4.2	20.8	8.3	8.3	—	4.2
熊野圏域	34	32.4	14.7	23.5	—	2.9	23.5	58.8	11.8	11.8	5.9	26.5	23.5	17.6	—	2.9

(6) テロについて

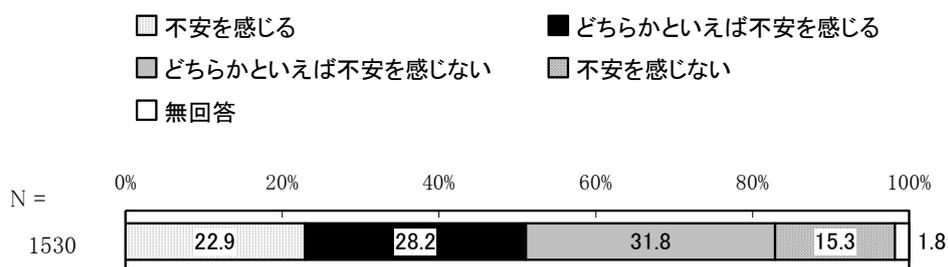
問 25 県内においてテロが発生する不安はありますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「不安を感じる」と「どちらかといえば不安を感じる」をあわせた“不安を感じる”の割合が51.1%、「どちらかといえば不安を感じない」と「不安を感じない」をあわせた“不安を感じない”の割合が47.1%となっています。

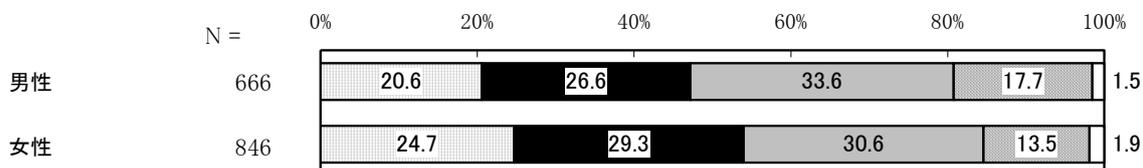
性別でみると、男性に比べ女性で“不安を感じる”の割合が高くなっています。

年代別でみると、大きな差異はみられません。

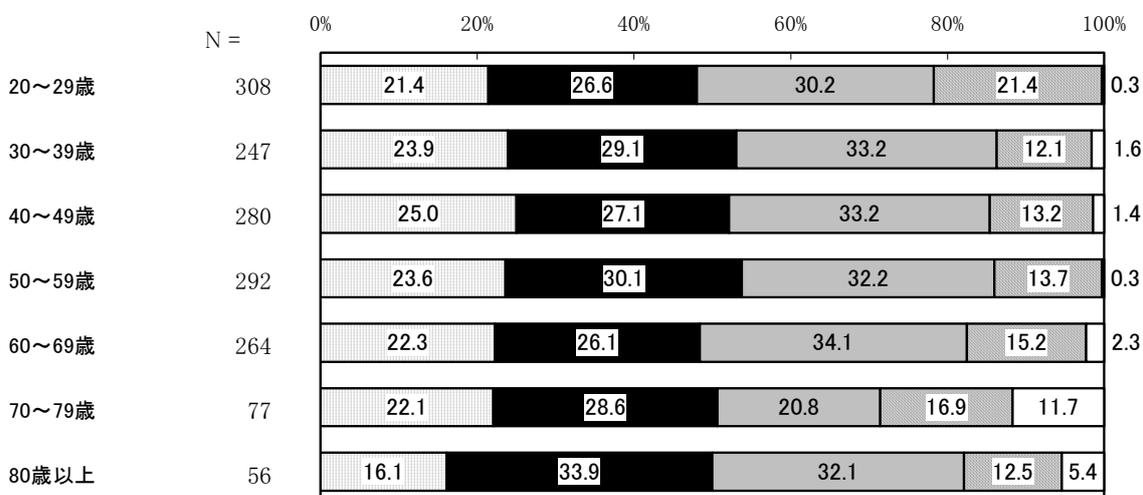
地域別でみると、他の地域に比べ、伊勢圏域で“不安を感じる”の割合が高くなっています。



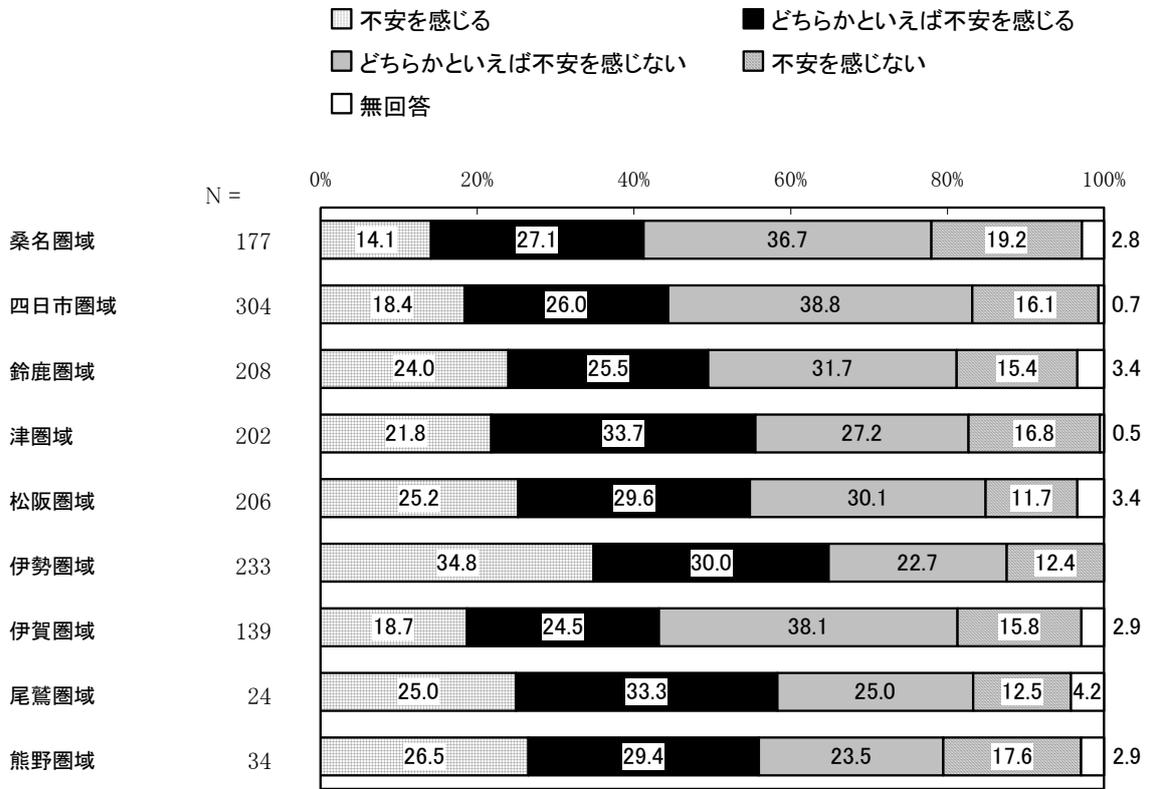
【性別】



【年代別】



【地域別】



問 25 で「1. 不安を感じる」に○をつけた方におたずねします。

問 25-1 不安を感じる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

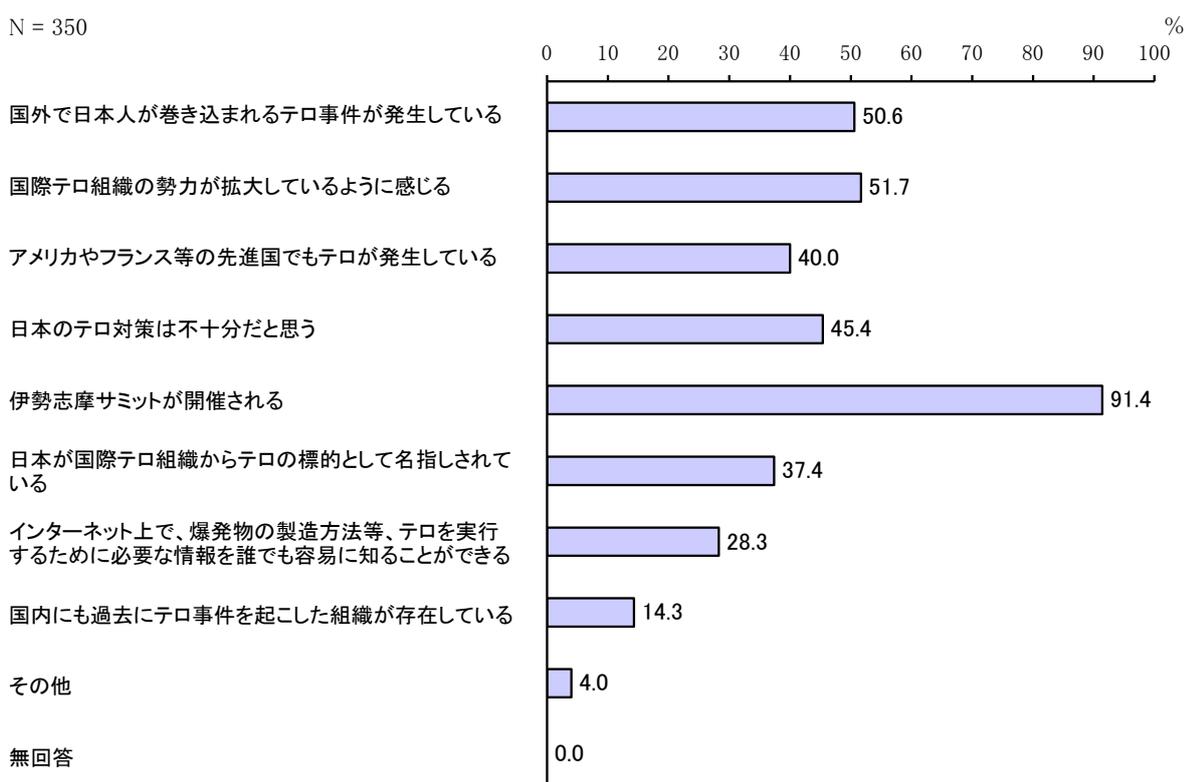
「伊勢志摩サミットが開催される」の割合が 91.4%と最も高く、次いで「国際テロ組織の勢力が拡大しているように感じる」の割合が 51.7%、「国外で日本人が巻き込まれるテロ事件が発生している」の割合が 50.6%となっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「国外で日本人が巻き込まれるテロ事件が発生している」「国際テロ組織の勢力が拡大しているように感じる」「インターネット上で、爆発物の製造方法等、テロを実行するために必要な情報を誰でも容易に知ることができる」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～39 歳で「日本のテロ対策は不十分だと思う」の割合が、60～69 歳で「日本が国際テロ組織からテロの標的として名指しされている」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、桑名圏域で「国外で日本人が巻き込まれるテロ事件が発生している」の割合が、伊賀圏域で「アメリカやフランス等の先進国でもテロが発生している」「日本のテロ対策は不十分だと思う」「インターネット上で、爆発物の製造方法等、テロを実行するために必要な情報を誰でも容易に知ることができる」「国内にも過去にテロ事件を起こした組織が存在している」の割合が高くなっています。

N = 350



【性別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	国外で日本人が巻き込まれるテロ事件が発生している	国際テロ組織の勢力が拡大しているように感じる	アメリカやフランス等の先進国でもテロが発生している	日本のテロ対策は不十分だと思う	伊勢志摩サミットが開催される	日本が国際テロ組織からテロの標的として名指しされている	報を誰でも容易に知ることができる	インターネット上で、爆発物の製造方法等、テロを実行するために必要な情報を誰でも容易に知ることができる	国内にも過去にテロ事件を起こした組織が存在している	その他	無回答
男性	137	41.6	46.7	38.0	46.7	92.0	39.4	24.1	16.8	5.1	—	
女性	209	56.0	55.5	41.6	45.5	91.4	35.9	30.6	12.4	3.3	—	

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	国外で日本人が巻き込まれるテロ事件が発生している	国際テロ組織の勢力が拡大しているように感じる	アメリカやフランス等の先進国でもテロが発生している	日本のテロ対策は不十分だと思う	伊勢志摩サミットが開催される	日本が国際テロ組織からテロの標的として名指しされている	報を誰でも容易に知ることができる	インターネット上で、爆発物の製造方法等、テロを実行するために必要な情報を誰でも容易に知ることができる	国内にも過去にテロ事件を起こした組織が存在している	その他	無回答
20～29 歳	66	37.9	39.4	40.9	36.4	93.9	33.3	24.2	12.1	6.1	—	
30～39 歳	59	55.9	55.9	39.0	59.3	93.2	32.2	27.1	11.9	1.7	—	
40～49 歳	70	48.6	50.0	40.0	51.4	95.7	40.0	27.1	12.9	2.9	—	
50～59 歳	69	55.1	53.6	43.5	39.1	95.7	33.3	31.9	15.9	5.8	—	
60～69 歳	59	55.9	61.0	40.7	47.5	83.1	55.9	37.3	20.3	3.4	—	
70～79 歳	17	58.8	64.7	29.4	47.1	76.5	29.4	17.6	17.6	5.9	—	
80 歳以上	9	44.4	33.3	33.3	—	88.9	—	—	—	—	—	

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	国外で日本人が巻き込まれるテロ事件が発生している	国際テロ組織の勢力が拡大しているように感じる	アメリカやフランス等の先進国でもテロが発生している	日本のテロ対策は不十分だと思う	伊勢志摩サミットが開催される	日本が国際テロ組織からテロの標的として名指しされている	インターネット上で、爆発物の製造方法等、テロを実行するために必要な情報を誰でも容易に知ることができる	国内にも過去にテロ事件を起こした組織が存在している	その他	無回答
桑名圏域	25	60.0	56.0	32.0	52.0	88.0	36.0	36.0	20.0	—	—
四日市圏域	56	53.6	42.9	42.9	50.0	85.7	42.9	21.4	14.3	7.1	—
鈴鹿圏域	50	38.0	44.0	46.0	42.0	92.0	42.0	26.0	8.0	4.0	—
津圏域	44	50.0	47.7	29.5	40.9	97.7	31.8	20.5	11.4	4.5	—
松阪圏域	52	51.9	57.7	40.4	44.2	90.4	28.8	25.0	15.4	1.9	—
伊勢圏域	81	53.1	59.3	40.7	45.7	92.6	38.3	33.3	13.6	4.9	—
伊賀圏域	26	46.2	57.7	53.8	57.7	88.5	46.2	42.3	30.8	—	—
尾鷲圏域	6	50.0	33.3	33.3	16.7	100.0	33.3	50.0	—	16.7	—
熊野圏域	9	55.6	55.6	11.1	33.3	100.0	33.3	22.2	11.1	—	—

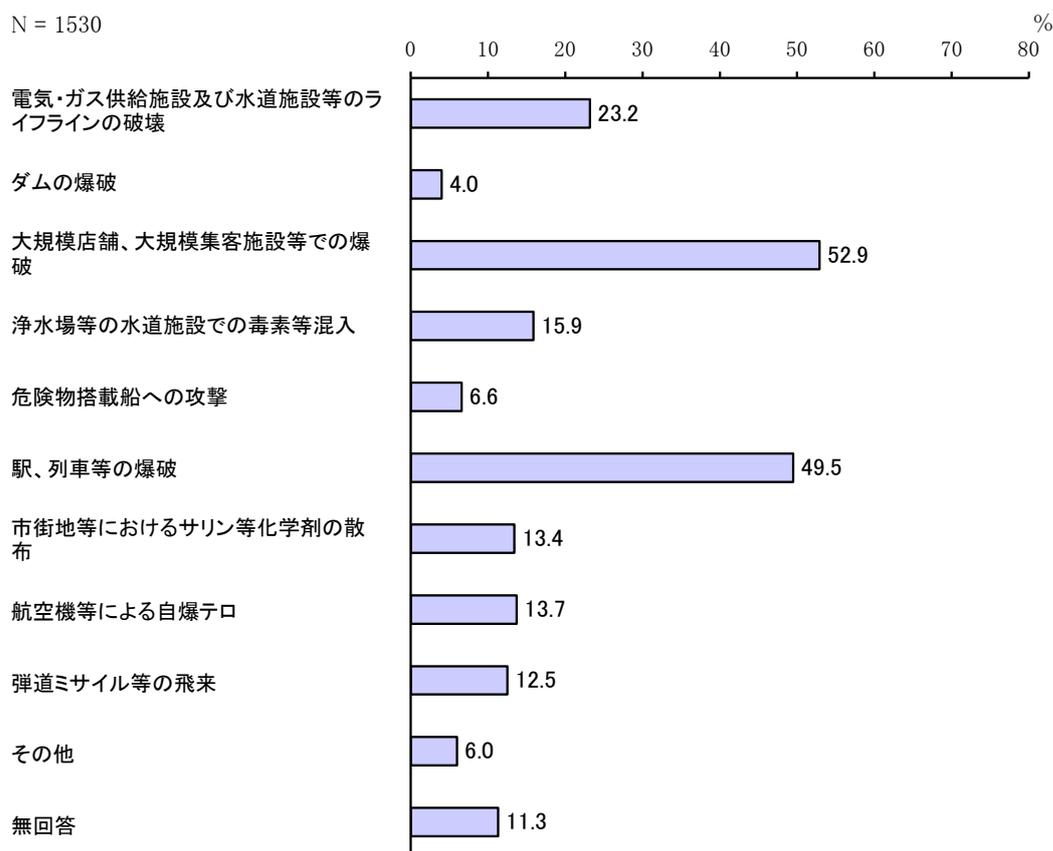
問 26 県内では、どのようなテロが発生しうと思いますか。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「大規模店舗、大規模集客施設等での爆破」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「駅、列車等の爆破」の割合が 49.5%、「電気・ガス供給施設及び水道施設等のライフラインの破壊」の割合が 23.2%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「電気・ガス供給施設及び水道施設等のライフラインの破壊」「浄水場等の水道施設での毒素等混入」の割合が高くなっています。また、女性で「駅、列車等の爆破」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～29 歳、30～39 歳、40～49 歳で「駅、列車等の爆破」の割合が、80 歳以上で「電気・ガス供給施設及び水道施設等のライフラインの破壊」「浄水場等の水道施設での毒素等混入」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、伊勢圏域、尾鷲圏域で「大規模店舗、大規模集客施設等での爆破」の割合が、津圏域で「駅、列車等の爆破」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	電気・ガス供給施設及び水道施設等のライフラインの破壊	ダムの爆破	大規模店舗、大規模集客施設等の爆破	浄水場等の水道施設での毒素等混入	危険物搭載船への攻撃	駅、列車等の爆破	市街地等におけるサリン等化学剤の散布	航空機等による自爆テロ	弾道ミサイル等の飛来	その他	無回答
男性	666	28.2	4.8	53.9	20.3	5.7	45.9	12.5	12.0	12.9	6.6	8.7
女性	846	19.1	3.3	52.5	12.6	7.2	52.8	14.4	15.2	11.9	5.7	13.2

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	電気・ガス供給施設及び水道施設等のライフラインの破壊	ダムの爆破	大規模店舗、大規模集客施設等の爆破	浄水場等の水道施設での毒素等混入	危険物搭載船への攻撃	駅、列車等の爆破	市街地等におけるサリン等化学剤の散布	航空機等による自爆テロ	弾道ミサイル等の飛来	その他	無回答
20～29歳	308	24.4	5.8	51.6	14.6	6.8	56.5	15.6	16.9	12.7	6.2	4.9
30～39歳	247	20.6	4.9	57.9	11.3	5.3	54.7	21.5	17.8	16.2	5.3	10.1
40～49歳	280	19.6	3.6	56.1	13.9	5.7	53.6	13.9	12.5	13.9	4.3	10.4
50～59歳	292	21.9	5.1	55.5	15.8	8.2	49.7	9.9	11.6	10.6	7.5	12.7
60～69歳	264	27.3	1.5	51.1	20.1	5.3	41.7	10.2	10.2	12.5	6.8	12.5
70～79歳	77	22.1	1.3	42.9	18.2	9.1	26.0	5.2	15.6	7.8	5.2	24.7
80歳以上	56	33.9	—	32.1	30.4	10.7	33.9	8.9	8.9	5.4	5.4	26.8

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	電気・ガス供給施設及び水道施設等のライフラインの破壊	ダムの爆破	大規模店舗、大規模集客施設等の爆破	浄水場等の水道施設での毒素等混入	危険物搭載船への攻撃	駅、列車等の爆破	市街地等におけるサリン等化学剤の散布	航空機等による自爆テロ	弾道ミサイル等の飛来	その他	無回答
桑名圏域	177	20.9	2.8	52.5	11.9	5.6	51.4	15.3	8.5	11.9	5.1	13.6
四日市圏域	304	24.7	2.3	52.0	13.8	5.9	52.6	14.5	14.8	9.5	5.9	10.5
鈴鹿圏域	208	25.0	1.9	55.3	21.2	4.3	46.6	15.4	15.4	10.6	4.3	9.6
津圏域	202	19.8	5.4	53.5	11.4	7.4	58.9	12.9	14.9	17.3	9.4	5.4
松阪圏域	206	20.9	3.9	47.1	18.9	7.8	44.2	11.7	16.0	9.7	5.3	16.5
伊勢圏域	233	25.3	3.4	59.2	15.9	7.3	47.6	10.3	13.7	13.7	6.9	10.7
伊賀圏域	139	23.7	7.9	51.1	18.0	7.2	44.6	12.2	10.1	15.1	4.3	13.7
尾鷲圏域	24	25.0	4.2	58.3	20.8	16.7	45.8	16.7	8.3	4.2	4.2	8.3
熊野圏域	34	29.4	17.6	44.1	20.6	5.9	41.2	20.6	20.6	29.4	8.8	11.8

(7) インターネット犯罪について

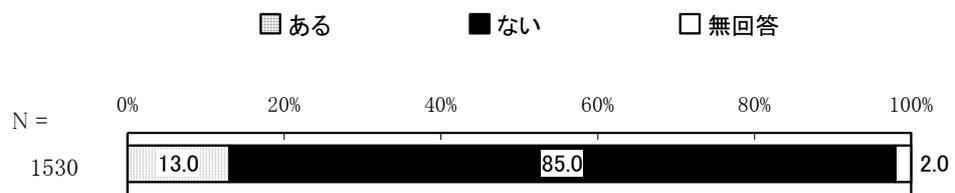
問 27 インターネット上のトラブルに巻き込まれた経験がありますか。
(どちらかあてはまる番号に○をつけてください。)

「ある」の割合が13.0%、「ない」の割合が85.0%となっています。

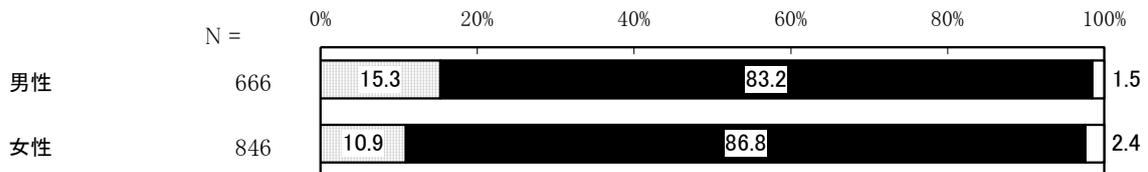
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～39歳、40～49歳で「ある」の割合が高くなっています。

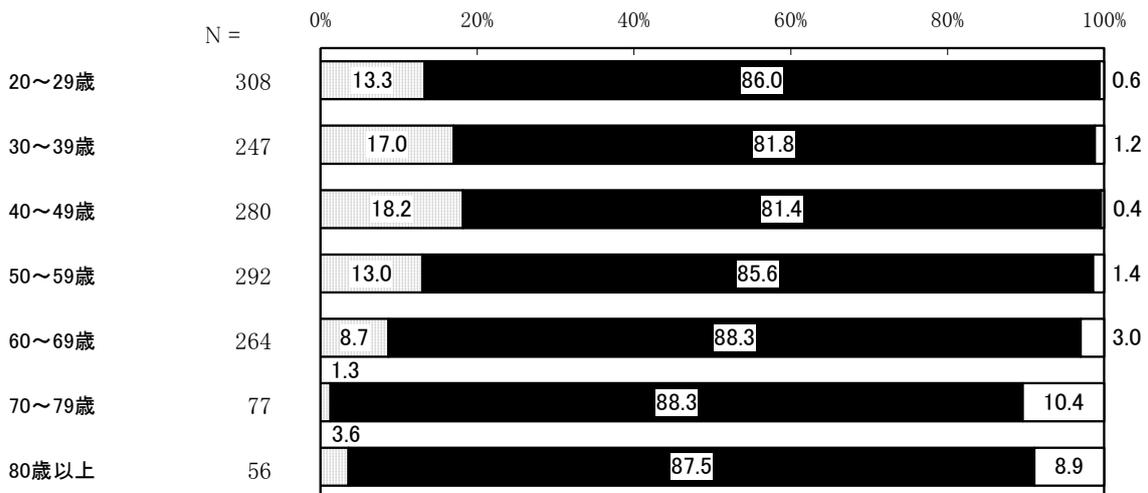
地域別でみると、他の地域に比べ、桑名圏域、松阪圏域で「ない」の割合が高くなっています。



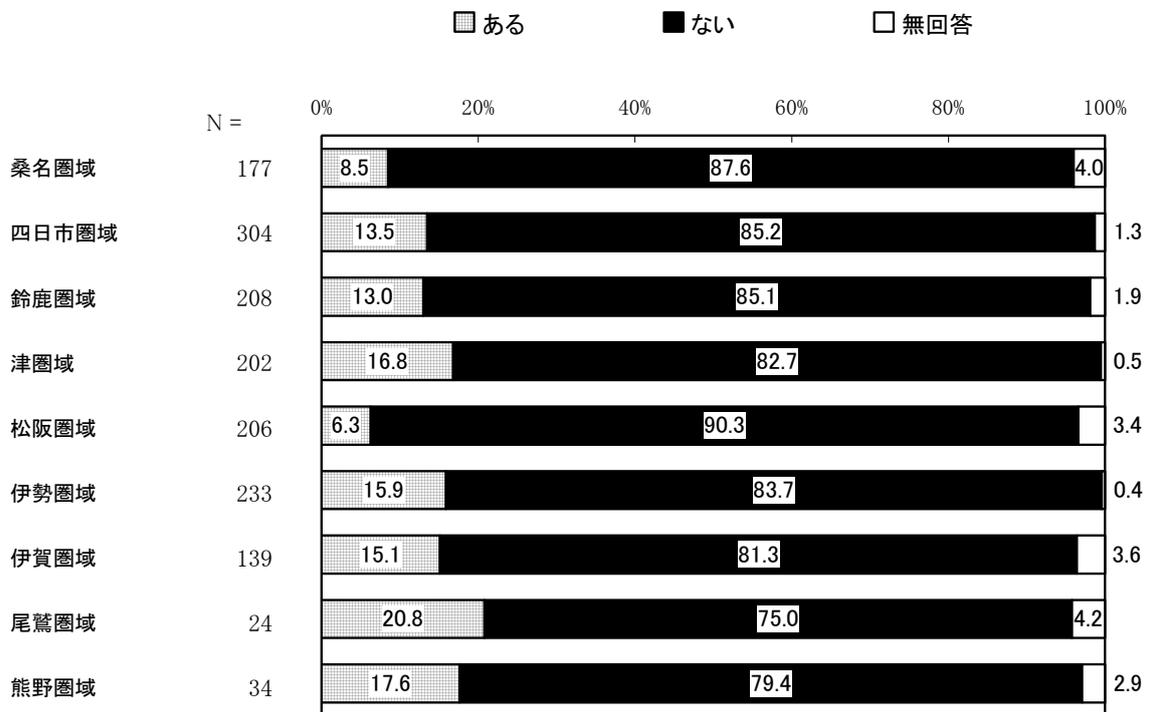
【性別】



【年代別】



【地域別】



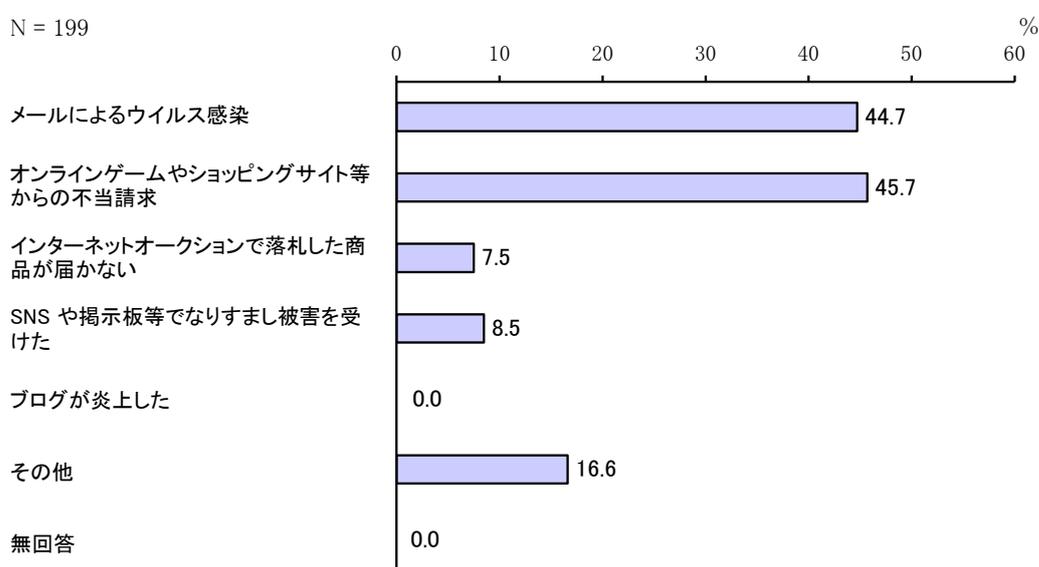
問 27 で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。

問 27-1 どのようなトラブルに巻き込まれましたか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「オンラインゲームやショッピングサイト等からの不当請求」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「メールによるウイルス感染」の割合が 44.7%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「メールによるウイルス感染」の割合が高くなっています。年代別でみると、他の年代に比べ、60～69 歳で「メールによるウイルス感染」の割合が、20～29 歳、40～49 歳で「オンラインゲームやショッピングサイト等からの不当請求」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、桑名圏域で「メールによるウイルス感染」の割合が、松阪圏域で「オンラインゲームやショッピングサイト等からの不当請求」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	メールによるウイルス感染	オンラインゲームやショッピングサイト等からの不当請求	インターネットオークションで落札した商品が届かない	SNS や掲示板等でなりすまし被害を受けた	ブログが炎上した	その他	無回答
男性	102	51.0	49.0	8.8	9.8	—	10.8	—
女性	92	37.0	44.6	6.5	7.6	—	21.7	—

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	染 メールによるウイルス感	オンライ ゲームや ショッピング サイト等 からの 不当請求	イン ター ネッ ト オ ー ク シ ョ ン で 落 札 し た 商 品 が 届 か ない	S N S や 掲 示 板 等 で な り す ま し 被 害 を 受 け た	ブ ロ グ が 炎 上 し た	そ の 他	無 回 答
20～29 歳	41	34.1	56.1	—	17.1	—	17.1	—
30～39 歳	42	38.1	50.0	14.3	7.1	—	19.0	—
40～49 歳	51	31.4	56.9	7.8	9.8	—	17.6	—
50～59 歳	38	60.5	28.9	7.9	2.6	—	15.8	—
60～69 歳	23	82.6	26.1	8.7	4.3	—	4.3	—
70～79 歳	1	—	100.0	—	—	—	—	—
80 歳以上	2	50.0	—	—	—	—	50.0	—

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	染 メールによるウイルス感	オンライ ゲームや ショッピング サイト等 からの 不当請求	イン ター ネッ ト オ ー ク シ ョ ン で 落 札 し た 商 品 が 届 か ない	S N S や 掲 示 板 等 で な り す ま し 被 害 を 受 け た	ブ ロ グ が 炎 上 し た	そ の 他	無 回 答
桑名圏域	15	60.0	26.7	13.3	13.3	—	13.3	—
四日市圏域	41	48.8	46.3	4.9	7.3	—	14.6	—
鈴鹿圏域	27	55.6	44.4	18.5	3.7	—	11.1	—
津圏域	34	38.2	44.1	2.9	11.8	—	17.6	—
松阪圏域	13	38.5	61.5	—	7.7	—	30.8	—
伊勢圏域	37	40.5	51.4	10.8	10.8	—	16.2	—
伊賀圏域	21	33.3	52.4	4.8	4.8	—	9.5	—
尾鷲圏域	5	60.0	20.0	—	—	—	20.0	—
熊野圏域	6	33.3	33.3	—	16.7	—	50.0	—

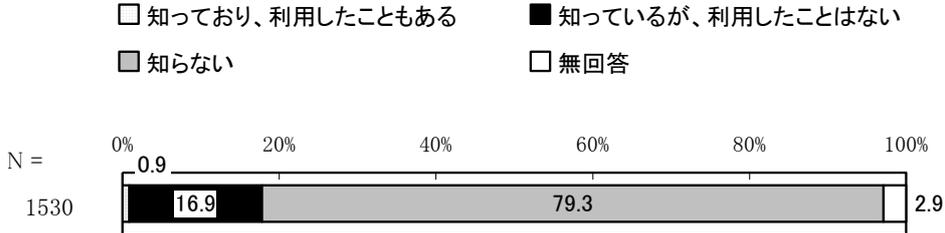
**問 28 インターネット・ホットラインセンターについて知っていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)**

「知らない」の割合が79.3%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」の割合が16.9%となっています。

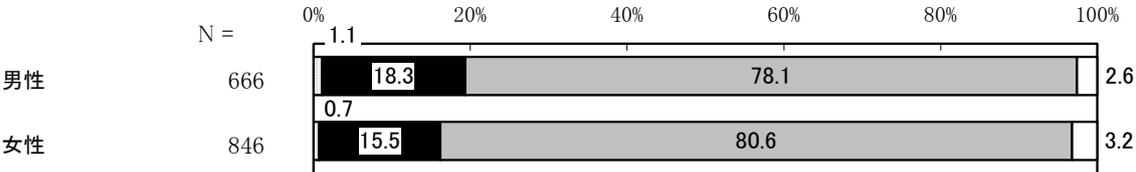
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっています。

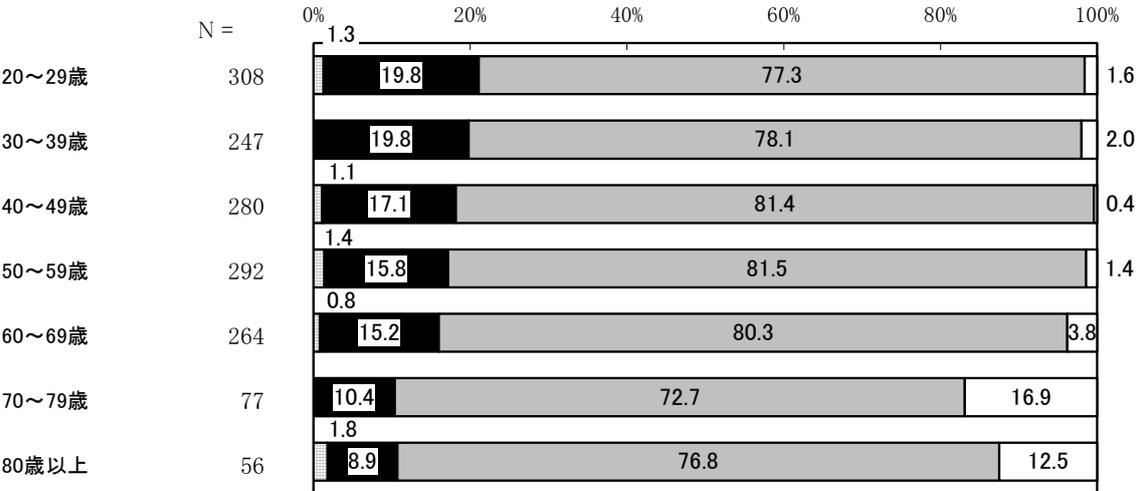
地域別でみると、他の地域に比べ、鈴鹿圏域、伊勢圏域で「知らない」の割合が高くなっています。



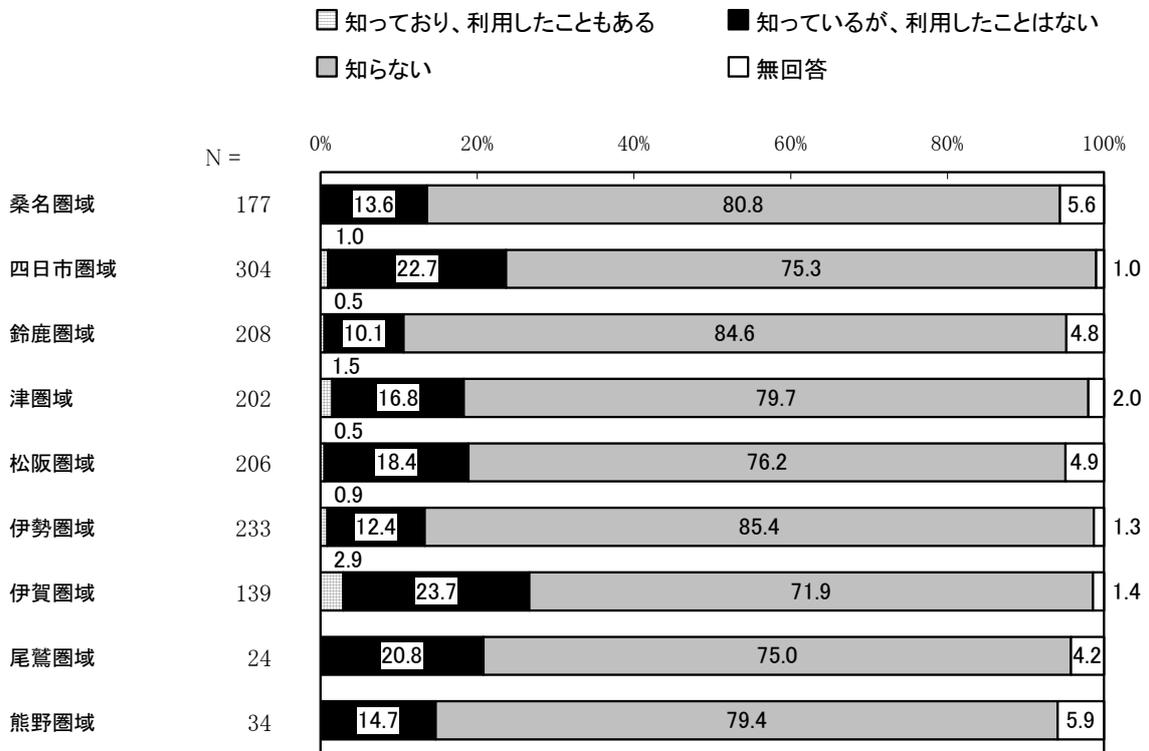
【性別】



【年代別】



【地域別】



(8) 違法薬物・危険ドラッグ等について

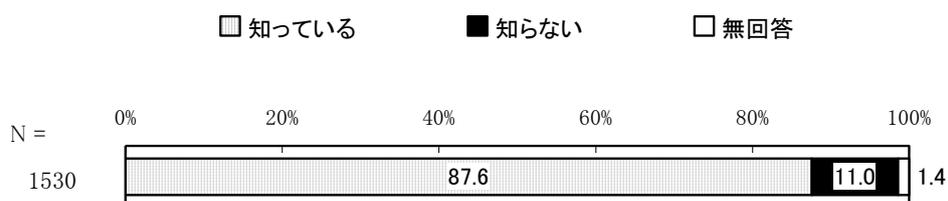
問 29 違法薬物等・危険ドラッグ等の危険性について知っていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「知っている」の割合が87.6%、「知らない」の割合が11.0%となっています。

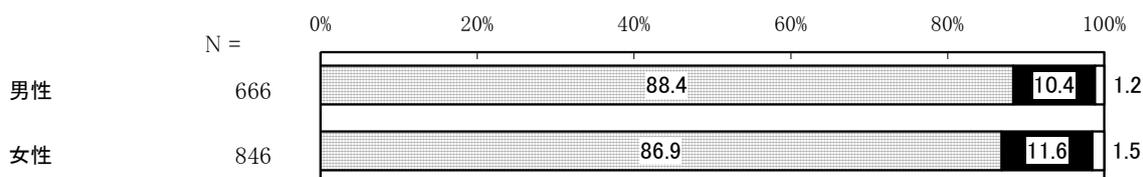
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、70～79歳、80歳以上で「知らない」の割合が高くなっています。

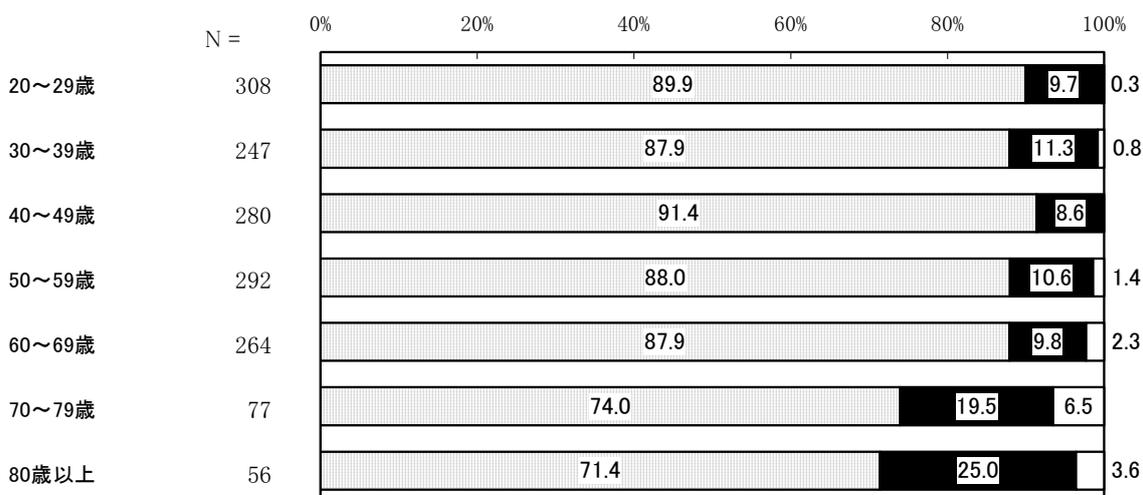
地域別でみると、他の地域に比べ、鈴鹿圏域で「知らない」の割合が高くなっています。



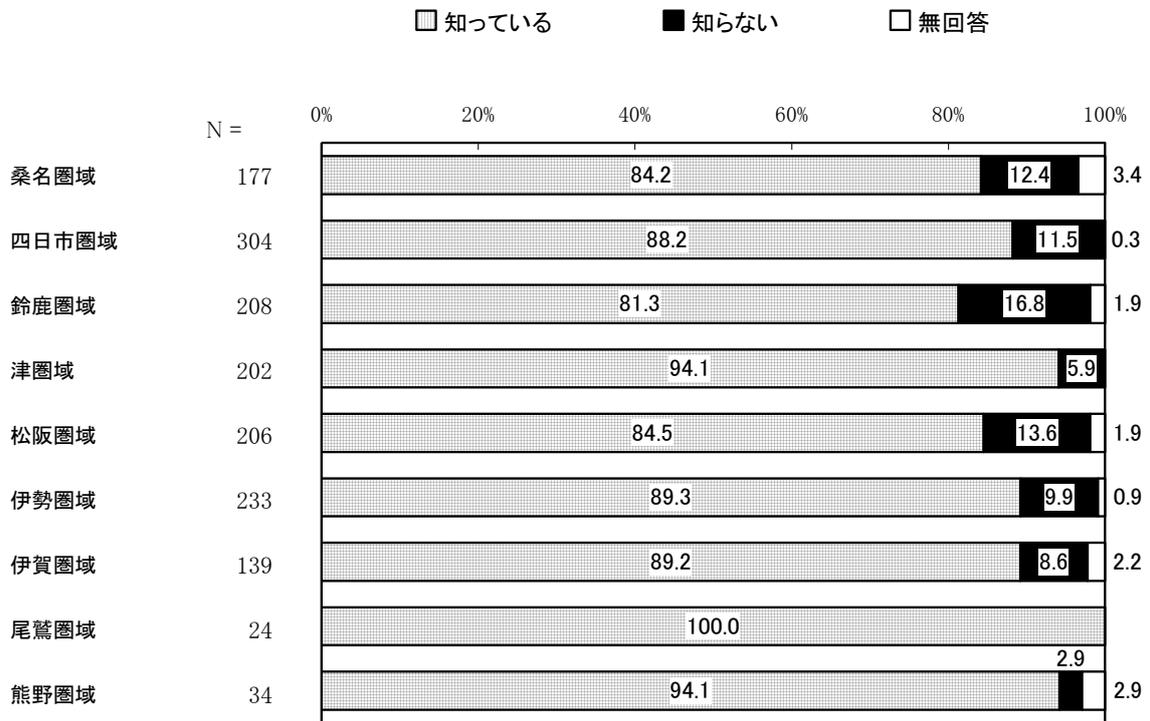
【性別】



【年代別】



【地域別】



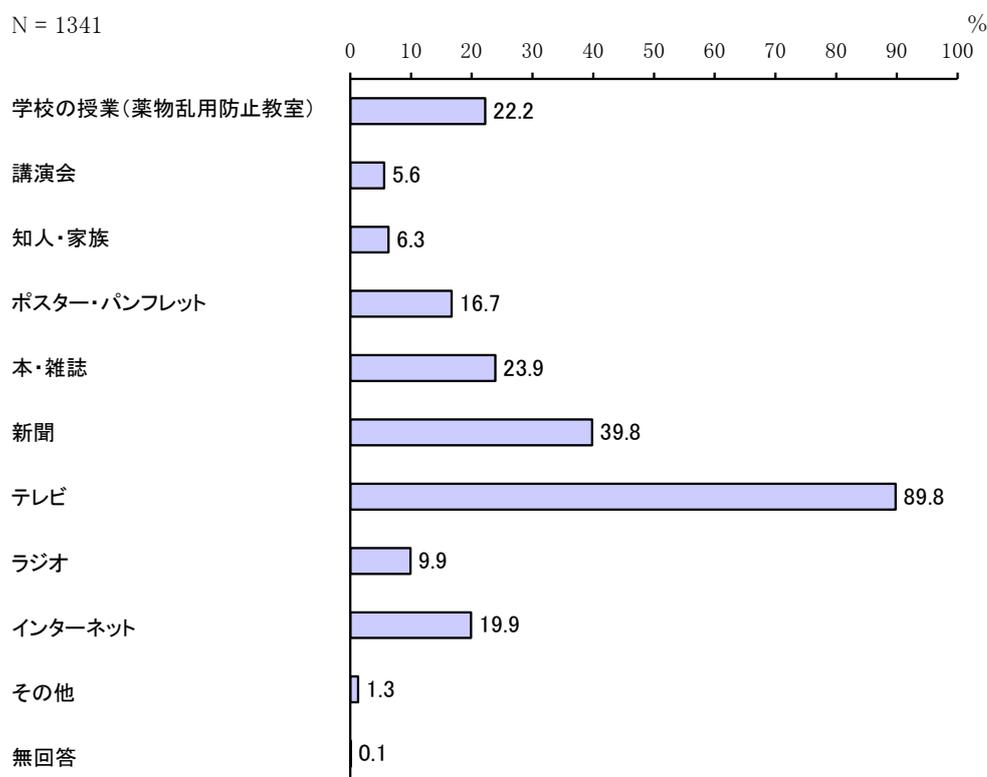
問 29 で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。

問 29-1 違法薬物等・危険ドラッグ等の危険性についてどこで知りましたか。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「テレビ」の割合が 89.8%と最も高く、次いで「新聞」の割合が 39.8%、「本・雑誌」の割合が 23.9%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「新聞」「ラジオ」「インターネット」の割合が高くなっています。
 年代別でみると、他の年代に比べ、80 歳以上で「新聞」の割合が、20～29 歳で「学校の授業(薬物乱用防止教室)」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、尾鷲圏域、熊野圏域で「インターネット」の割合が、尾鷲圏域で「学校の授業(薬物乱用防止教室)」「ポスター・パンフレット」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	学校の授業 (薬物乱用防止教室)	講演会	知人・家族	ポスター・パンフレット	本・雑誌	新聞	テレビ	ラジオ	インターネット	その他	無回答
男性	589	16.5	5.8	7.0	14.3	26.1	45.5	89.6	13.2	25.6	1.4	0.2
女性	735	26.8	5.6	6.0	18.4	22.0	35.2	89.9	7.3	15.0	1.1	0.1

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	学校の授業 (薬物乱用防止教室)	講演会	知人・家族	ポスター・パンフレット	本・雑誌	新聞	テレビ	ラジオ	インターネット	その他	無回答
20～29 歳	277	69.3	9.0	11.9	18.4	17.3	15.9	73.6	3.2	23.1	1.1	—
30～39 歳	217	22.6	3.7	6.5	16.1	19.4	23.5	93.1	7.8	30.0	0.9	—
40～49 歳	256	10.5	4.3	3.9	16.0	24.6	37.1	90.6	8.6	24.6	0.8	—
50～59 歳	257	8.6	6.2	5.4	17.9	27.2	50.6	95.3	12.8	19.8	2.7	0.4
60～69 歳	232	3.0	4.7	3.0	18.5	30.6	61.6	97.0	16.4	8.6	0.9	—
70～79 歳	57	—	1.8	8.8	7.0	21.1	64.9	93.0	12.3	1.8	—	—
80 歳以上	40	—	7.5	5.0	10.0	32.5	75.0	97.5	12.5	2.5	—	2.5

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	学校の授業 (薬物乱用防止教室)	講演会	知人・家族	ポスター・パンフレット	本・雑誌	新聞	テレビ	ラジオ	インターネット	その他	無回答
桑名圏域	149	18.1	4.7	8.1	11.4	26.8	36.9	89.9	8.7	20.1	0.7	0.7
四日市圏域	268	27.6	5.6	6.7	15.7	20.1	39.9	92.2	10.4	22.8	1.9	—
鈴鹿圏域	169	14.8	4.1	7.1	14.8	23.1	43.2	94.1	9.5	15.4	1.2	—
津圏域	190	27.9	5.8	6.3	15.3	22.1	33.7	87.4	7.9	24.7	1.6	—
松阪圏域	174	20.7	6.9	6.3	15.5	25.3	46.0	86.8	14.4	17.8	—	—
伊勢圏域	208	21.6	5.8	6.7	21.6	26.0	38.9	88.0	11.5	14.4	1.4	0.5
伊賀圏域	124	20.2	5.6	4.0	17.7	26.6	40.3	87.9	8.9	19.4	0.8	—
尾鷲圏域	24	33.3	8.3	—	33.3	29.2	41.7	91.7	—	33.3	4.2	—
熊野圏域	32	15.6	6.3	3.1	28.1	21.9	37.5	93.8	3.1	31.3	3.1	—

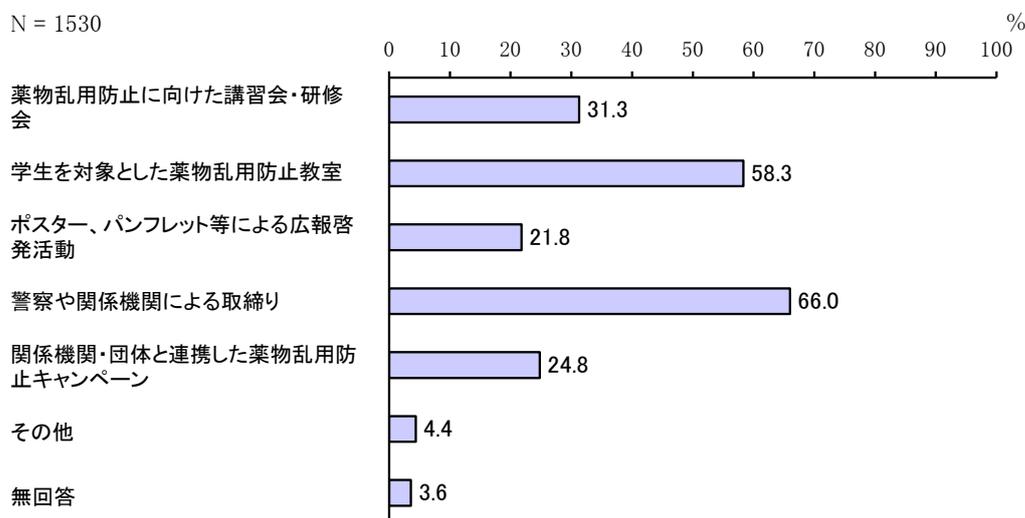
問 30 違法薬物等・危険ドラッグ等による被害を減らすためには、どのようなことを強化する必要があると思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「警察や関係機関による取締り」の割合が 66.0%と最も高く、次いで「学生を対象とした薬物乱用防止教室」の割合が 58.3%、「薬物乱用防止に向けた講習会・研修会」の割合が 31.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「学生を対象とした薬物乱用防止教室」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～39 歳、40～49 歳で「学生を対象とした薬物乱用防止教室」の割合が、80 歳以上で「薬物乱用防止に向けた講習会・研修会」「関係機関・団体と連携した薬物乱用防止キャンペーン」の割合が高くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、尾鷲圏域、熊野圏域で「学生を対象とした薬物乱用防止教室」の割合が、尾鷲圏域で「関係機関・団体と連携した薬物乱用防止キャンペーン」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	薬物乱用防止に向けた講習会・研修会	学生を対象とした薬物乱用防止教室	ポスター、パンフレット等による広報啓発活動	警察や関係機関による取締り	関係機関・団体と連携した薬物乱用防止キャンペーン	その他	無回答
男性	666	29.6	48.9	21.9	68.8	22.5	6.2	2.4
女性	846	32.4	65.8	21.6	64.1	26.7	3.0	4.5

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	薬物乱用防止に向けた 講習会・研修会	学生を対象とした薬物 乱用防止教室	ポスター、パンフレッ ト等による広報啓活 動	警察や関係機関による 取締り	関係機関・団体と連携 した薬物乱用防止キャ ンペーン	その他	無回答
20～29 歳	308	28.2	59.7	14.3	68.8	18.2	5.5	2.6
30～39 歳	247	35.6	67.2	20.6	70.9	22.3	6.9	1.2
40～49 歳	280	26.8	67.1	18.2	71.1	20.0	2.9	0.4
50～59 歳	292	33.2	55.1	25.3	69.2	28.4	3.8	2.7
60～69 歳	264	31.4	53.0	25.4	54.9	32.6	4.5	6.1
70～79 歳	77	32.5	42.9	29.9	54.5	24.7	—	11.7
80 歳以上	56	42.9	32.1	37.5	57.1	41.1	3.6	16.1

【地域別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	薬物乱用防止に向けた 講習会・研修会	学生を対象とした薬物 乱用防止教室	ポスター、パンフレッ ト等による広報啓活 動	警察や関係機関による 取締り	関係機関・団体と連携 した薬物乱用防止キャ ンペーン	その他	無回答
桑名圏域	177	27.7	56.5	17.5	58.8	24.9	5.1	8.5
四日市圏域	304	30.3	63.2	19.4	70.4	20.1	4.6	2.3
鈴鹿圏域	208	31.3	46.6	25.5	64.4	23.6	6.3	4.3
津圏域	202	32.2	59.4	20.3	67.3	19.8	4.5	1.5
松阪圏域	206	33.5	53.4	22.3	63.6	25.7	2.9	5.8
伊勢圏域	233	30.5	65.2	23.6	69.1	30.5	3.4	0.9
伊賀圏域	139	32.4	56.8	25.2	66.2	32.4	2.9	3.6
尾鷲圏域	24	41.7	66.7	12.5	62.5	37.5	4.2	4.2
熊野圏域	34	38.2	70.6	29.4	64.7	23.5	11.8	2.9

三重県「犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）」
に係る県民意識調査 調査結果報告書

平成28年4月

発行：三重県環境生活部 暮らし・交通安全課
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL 059-224-2664
FAX 059-228-4907